

# KINDAI UNIVERSITY HOSPITAL

## 2024 診療案内



近畿大学病院

KINDAI UNIVERSITY HOSPITAL

特定機能病院



患者本位の開かれた病院として、  
安全で質の高い先進医療を提供します。

## 基本方針

- 1 特定機能病院として、医学医療の進歩に関与し、社会に貢献します。
- 2 教育病院として、人に愛され、信頼され、尊敬される医療人を育成します。
- 3 南大阪における基幹病院および救急災害拠点として地域医療に貢献します。
- 4 働きがいのある病院として、チーム医療と環境整備に努力します。

### 受診される皆様の権利

近畿大学病院では受診される皆様が以下に掲げる権利を有することを確認し、尊重します。

1. 人間としての尊厳を尊重されながら医療を受ける権利
2. 病院全機能をあげて最善で安全な医療を受ける権利
3. 自らの心身の状態を理解するために病院から必要な情報を得る権利
4. 病院から必要十分な情報の説明を得た上で、自己の自由な意志に基づいて医療行為を決定する権利
5. プライバシーの保護を受ける権利
6. 必要に応じ、医療費用の内容に関する情報を受ける権利

### 守っていただく事項

近畿大学病院は受診者および病院の双方がお互いに尊敬し、協力し合うことが最善の医療サービスの提供につながるものと考えますので、受診者の皆様には次のような事項を守っていただきますようお願いいたします。

1. 心身の健康状態、その他の必要事項について正確な情報をお伝え下さい。
2. 検査や治療などの医療行為は説明を受け納得の上で受けて下さい。  
合意できない場合はその旨お知らせ下さい。
3. 病状の変化や、治療中に生じた問題についてお知らせ下さい。
4. 病院ではお互いに礼儀正しく思いやりのある態度で接して下さい。
5. 病院内では静粛を保ち、器物は大切に取扱って下さい。
6. 敷地内での禁酒・禁煙を守って下さい。
7. 医療費の支払い請求を受けたときには速やかにお支払い下さい。

# 病院長挨拶



病院長

東田 有智

近畿大学病院は1975年の開院以来、安全で質の高い先進医療を提供すると共に、教育病院として医療者を育成すべく努力を重ねてまいりました。

皆様からの温かいご支援とご協力のおかげで、開院49年目を迎えております。2024年度は、泌尿器科に新教授を迎えることになりました。新たな診療体制の下、南大阪エリア唯一の大学病院として地域における医療機関との相互連携を図るため、連携推進に力を入れ、地域医療のさらなる発展に貢献したいと考えております。

当院は地域がん診療連携拠点病院（高度型）、肝疾患診療連携拠点病院、大阪府アレルギー疾患医療拠点病院、大阪府難病診療連携拠点病院、がんゲノム医療拠点病院に指定を受けており、それぞれ、中心的な機能を担うセンターを配置しております。その他の分野でも診療科の枠を超えて多様な疾患に対応する診療体制を確保しております。

また、病院・診療所間連携の推進に力を入れるべく、診療情報の共有が可能となる「ICTを利用した地域医療連携ネットワーク」の構築を行っており、現在280施設を超える医療機関と連携しております。加えて、厚生労働省からの医療機関の機能分化を進める方針に則り「かかりつけ医紹介窓口」を設け、積極的な逆紹介を推進しております。

2025年11月には医学部と共に堺市泉ヶ丘地区に移転する予定となっております。現地での建設も始まり、移転に向けた準備が順調に進んでおります。最新の機能・設備を兼ね備えた病院となることで医療サービスの向上を実現することはもちろんのこと、今よりもさらに患者さんに近い病院、皆様から信頼される病院を目指してまいります。

2024年6月



# CONTENTS

理念、基本方針	1	19 耳鼻咽喉・頭頸部外科	62
病院長挨拶	2	20 産婦人科	64
目次	3	21 放射線診断科	66
病院概要	4	22 放射線治療科	68
大阪狭山キャンパス/医学部・病院各階配置図	6	23 麻酔科	70
各階ご案内	7	24 歯科口腔外科	72
地域医療連携について	8	25 漢方診療科(東洋医学研究所)	74
連携医登録・ICT地域医療連携について	9	26 リハビリテーション科	75
セカンドオピニオン外来について	10	各種センターのご案内	77
各診療科のご案内	11	27 救急災害センター	78
1 循環器内科	12	救命救急センター／熱傷センター	78
2 内分泌・代謝・糖尿病内科	14	心臓血管センター	80
3 消化器内科(肝臓)	16	脳卒中センター	81
消化器内科(胆膵)	18	28 その他センター	82
消化器内科(消化管)	20	中央手術部(中央手術センター・低侵襲外科センター)	82
4 血液・膠原病内科(血液グループ)	22	光学治療センター	82
血液・膠原病内科(膠原病グループ)	24	PET分子イメージング部(高度先端総合医療センター)	82
5 腎臓内科	26	早期認知症センター	83
6 脳神経内科	28	てんかんセンター	83
7 腫瘍内科	30	アレルギーセンター	83
8 呼吸器・アレルギー内科	32	睡眠センター	84
9 メンタルヘルス科	34	人工関節センター	84
10 小児科・思春期科	36	運動器外傷センター	84
11 外科(上部消化管)	38	リウマチセンター	85
外科(下部消化管)(内視鏡外科)	40	スキャンサージェリーセンター	85
外科(肝胆膵)	42	周産期母子医療センター(NICU・分娩部)	85
外科(呼吸器)	44	がんセンター	86
外科(乳腺・内分泌)	46	ゲノム医療センター	86
12 脳神経外科	48	放射線医学(放射線診断学部門)	86
13 心臓血管外科	50	遺伝子診療部	86
14 整形外科	52	掲載専門医資格について	87
15 皮膚科	54	関連病院紹介	88
16 形成外科	56	交通案内	
17 泌尿器科	58		
18 眼科	60		

# 病院概要

名称 **近畿大学病院**

所在地 〒589-8511 大阪府大阪狭山市大野東377-2

病院長 東田 有智

許可病床数 919床

- 標榜診療科
- 内科
  - 呼吸器内科
  - 小児外科
  - 耳鼻咽喉・頭頸部外科
  - 救急科
  - 循環器内科
  - 腎臓内科
  - 脳神経外科
  - 産婦人科
  - 緩和ケア内科
  - 糖尿病・内分泌内科
  - 感染症内科
  - 心臓血管外科
  - 放射線診断科
  - 漢方内科
  - 消化器内科
  - 精神科
  - 整形外科
  - 放射線治療科
  - 歯科
  - 血液内科
  - 小児科
  - 皮膚科
  - 麻酔科
  - 矯正歯科
  - 脳神経内科
  - 外科
  - 泌尿器科
  - 形成外科
  - 歯科口腔外科
  - 腫瘍内科
  - 消化器外科
  - 眼科
  - リハビリテーション科
  - 病理診断科

## 数字で見る近大病院

2024年6月1日現在

### 【診療】(2023年度実績)

2,201人

一日平均外来患者数

23,833人

年間新入院患者数

10.5日

平均在院日数

91.8%

患者紹介率

10,986件

年間手術件数

6,196件

うち全身麻酔件数



6,723台

救急車搬送台数

10,367台

救急患者数

## 法令による医療機関の指定

- 特定機能病院
- 特定承認保険医療機関
- 臨床研修指定病院
- 地域がん診療連携拠点病院
- 肝疾患診療連携拠点病院
- エイズ拠点病院
- 災害拠点病院
- 治験拠点病院
- 地域周産期母子医療センター
- 三次救急医療機関
- 労働者災害補償保険法による指定医療機関
- 地方公務員災害補償法による指定医療機関
- 生活保護法による指定医療機関
- 原子爆弾被爆者援護法による指定医療機関
- 戦傷病者特別援護法による指定医療機関
- 障害者自立支援法による指定医療機関
- 母子保健法による指定養育医療機関
- 感染症法による結核指定医療機関
- 特定疾患治療研究事業委託医療機関
- 小児慢性特定疾患治療研究事業委託医療機関
- 大阪府アレルギー疾患医療拠点病院
- 大阪府難病診療連携拠点病院
- がんゲノム医療拠点病院

施設基準・  
先進医療の  
情報はこちら



公式 HP



528 件

ハートコール

297 件

卒中コール

127 件

母体搬送

19,145 件

通院治療センター治療実績



3,495 件

院内がん登録件数  
(2022年度実績)

【研究】(2024年4月現在実施中)

21 件

医師主導治験実施数

1,129 件

臨床研究数

154 件

特定臨床研究数

# 医学部・病院MAP



# 院内MAP

## 病院各階配置図

### 病院棟

11F	110病棟	115病棟
10F	100病棟	105病棟
9F	90病棟	95病棟
8F	80病棟	85病棟
7F	70病棟	75病棟
6F	60病棟	65病棟
5F	50病棟	55病棟
4F	手術室、ICU	5F 57病棟
3F	30病棟、外来、NICU、検査室	4F 47病棟
2F	ATM 事務局、看護部、検査室、外来、採血、受付、会計、薬渡し口	3F 外来、東洋医学研究所
1F	ATM 臨床研究センター、外来食堂、外来、入院センター、中央放射線部、薬剤部、コンビニ	2F 事務局、患者支援センター、内科外来、栄養相談室、通院治療センター
B1	栄養部、剖検室	1F 車庫(ドクターカー)、災害・感染治療室
		B1 ランドリー

### 円形棟

大講堂、小講堂	3F
食堂	2F
食堂	1F
	B1

メンタルヘルス科  
シミュレーションセンター

### 救急災害センター

救命救急センター	5F	ラウンジ・会議室、災害備蓄倉庫
心臓血管センター	4F	スタッフステーション、処置室、病室
急性期病棟	3F	スタッフステーション、病室、処置室、ダイニング
脳卒中センター	2F	ドトールコーヒー
救急外来	1F	受付、アンギオ撮影室、診察室、初療室、X線TV室、臨床検査室、CT室

PET分子イメージング部  
(高度先端総合医療センター)



# 地域医療連携について

当院では地域における医療機関との相互連携を図るため、病診・病病連携の推進に力を入れ、地域医療の発展に貢献したいと考えております。患者さんのご紹介につきまして、地域連携課をご利用ください。

## 地域連携課

TEL **072-366-0241** (紹介予約に関するお問い合わせ)  
(受付時間 平日 9:00～20:00)

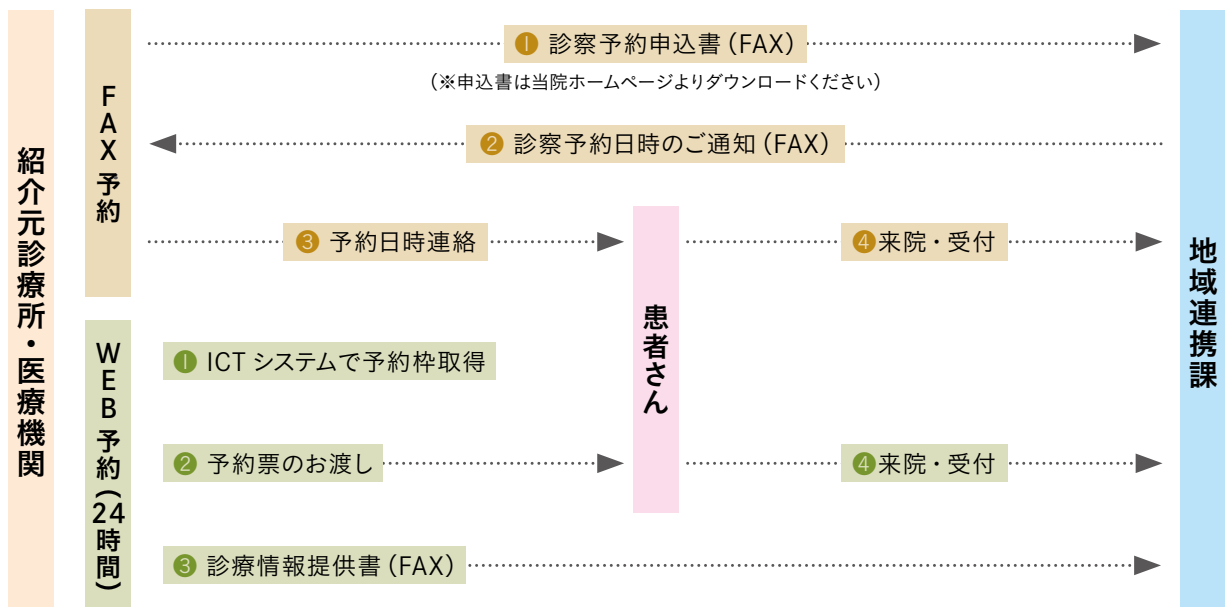
**072-366-0257** (その他お問い合わせ)  
(受付時間 平日 9:00～17:00)

FAX **072-365-7161** (直通)

## 紹介予約の手続きについて

- ① 診察予約申込書を FAX で送信してください。  
(受付時間… 平日9:00～20:00、土曜9:00～12:00) ★祝日、年末年始、創立記念日(11月5日)は除く
- ② 予約日時が決まりましたら「診察予約日時のご通知」を FAX で送信いたします。
- ③ 患者さんに予約日時等をご説明いただき、診察予約日時のご通知・紹介状等をお渡しください。

## 紹介予約患者さんの手続きの流れ





# 連携医登録・ICT地域医療連携について

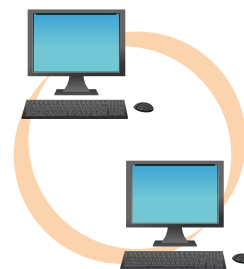
## ● 連携医登録について

地域の医療機関との機能分担を図り、信頼関係のある質の高い病診・病病連携を推進することを目的とした連携医登録の主旨にご賛同いただける場合は、連携医登録させていただきます。

## ● ICT を利用した地域医療連携ネットワークシステムについて

### ■ 概要

地域の医療機関をつなぐ連携ネットワークを構築することにより、診療情報（カルテ情報、画像、レポート等）の閲覧が可能になります。情報提供施設（近畿大学病院）は、「SS-MIX2 標準ストレージ」にデータを出力し、地域連携サーバを経由して連携先の医療機関に診療情報を公開（24時間情報閲覧可）



### ■ セキュリティーについて

情報参照施設や情報提供施設とデータセンター間は IPsec-VPN を利用して高度なセキュリティーが確保された通信網を使用。

### ■ 情報参照施設側に必要なもの

インターネットに接続できるパソコンが1台あれば、地域医療連携システムをご利用いただけます。

【パソコンの環境条件】

① Internet Explorer11.0またはEdgeが動作すること。

※サポート OS についてはお問い合わせください。

② OS の VPN 設定を行うこと。

（VPN (Virtual Private Network) とは、インターネットに接続されている利用者間に、仮想的な通信トンネルを構築したプライベートなネットワーク。通信経路を認証や暗号化を用いて保護することにより、第三者が侵入することのできない、安全なネットワークです。）

③ ウィルス対策の実施や Winny などのファイル共有ソフトを削除すること。

### ■ 情報参照していただけるもの

●病名 ●処方歴 ●検歴 ●各種オーダ情報 ●サマリー ●画像情報 ●各種レポート

### ■ 外来予約取得（新機能）

当院の紹介患者さん用の外来予約枠を WEB で取得することが可能になりました。

その場で予約票を患者さんにお渡しいただけますのでお待たせすることがございません。

### ■ その他

・当院へ通院歴のある患者さんから同意をとっていただき、同意書を近畿大学病院地域連携課まで FAX していただくと、すぐにその患者さんの情報を公開します。

・施設基準に適合しているとして近畿厚生局へ届出されますと、

「電子的診療情報評価料」として30点算定していただけます。

（診療情報提供料（1）を算定する他の保険医療機関からの1回の診療情報提供に対し1回のみ）

・2018年8月よりこのシステムを利用し、常時診察予約を取得いただける機能を追加いたしました。

# セカンドオピニオン外来について

当院では、主治医との良好な関係を保ちながら、診断内容や治療法に関して他の専門医の意見・判断を聞くことにより、患者さんの治療の参考にしていただくことを目的として、セカンドオピニオンを提供しております。主治医から説明を受けたが決定できない、他の治療方法を知りたいなど、判断に迷う患者さんがいらっしゃいましたら、ご紹介ください。診療情報提供書(検査・画像データなどを含む)をもとに当院の専門医が意見を提供させていただき、内容を書面にて主治医へご報告します。

また、来院によるセカンドオピニオンに加えて、オンラインセカンドオピニオンも実施しております。感染症のリスクを避けたい方、遠隔地からお越し頂く負担を軽減したい方、また自宅など落ち着いた環境でセカンドオピニオンを受けたい方などの選択肢としてご案内ください。

## ■ 相談の対象となる方

患者さん本人の相談が原則です。同意書をお持ちの場合はご家族のみでも相談は可能です。なお、患者さんが未成年の場合や来院・対話ができる状態でない場合は、続柄と本人確認できる書類(健康保険証・運転免許証など)をご提示ください。

## ■ 対象とならない場合

1. 患者さん本人と家族以外からの相談
2. 主治医に対する不満、医療事故及び裁判係争中に関する相談
3. 近畿大学病院へ転医希望の場合
4. 医療費の内容、医療給付に関する相談
5. 死亡患者を対象とする場合
6. 診療情報提供書および検査資料を持参できない場合

## 相談日・時間帯

平日 9:00～17:00

完全予約制

(相談時間は主治医への報告書作成を含み60分とさせていただきます。)

## 料金

60分以内(報告書作成を含む)

来院によるセカンドオピニオン 33,000円(消費税込み)

オンラインセカンドオピニオン 44,000円(消費税込み)

※健康保険適用外で、全額自費になります。

## 申込方法

- 「セカンドオピニオン(オンラインセカンドオピニオン)申込書」
- 「セカンドオピニオン同意書」
- 「診療情報提供書、各種検査データ」
- 「セカンドオピニオン外来問診票」

を当院ホームページよりダウンロードいただき、近畿大学病院 地域連携課 セカンドオピニオン外来担当者宛 に郵送、もしくはFAXにてお申込みください。

尚、お返事には1週間程度かかります。当日のお返事はできませんのでご了承ください。

完全予約制となっております。お電話にて予約日をお知らせし、予約票を郵送またはFAXにてお送りいたします。

詳細は当院ホームページをご確認ください。

## 【お申込み・お問合せ先】

近畿大学病院 地域連携課 セカンドオピニオン外来担当

TEL 072-366-0257 (直通)

FAX 072-365-7161 (直通)

受付時間 平日 9:00～17:00

★祝日・年末年始、創立記念日(11月5日)は除く



# KINDAI UNIVERSITY HOSPITAL

## 各診療科のご案内

2024年6月現在

※診療科担当医師は助教以上を掲載しております。

1 循環器内科

2 内分泌・代謝・  
糖尿病内科

3 消化器内科

4 血液・膠原病内科

5 腎臓内科

6 脳神経内科

7 腫瘍内科

8 呼吸器・  
アレルギー内科

9 メンタルヘルス科

10 小児科・  
思春期科

11 外科

12 脳神経外科

13 心臓血管外科

14 整形外科

15 皮膚科

16 形成外科

17 泌尿器科

18 眼科

19 耳鼻咽喉・  
頭頸部外科

20 産婦人科

21 放射線診断科

22 放射線治療科

23 麻酔科

24 歯科口腔外科

25 漢方診療科

26 リハビリテーション科

27 救急災害センター

28 その他センター



責任者／診療部長 中澤 学 主任教授

出身大学 東邦大学

専門分野 心血管カテーテル治療、虚血性心疾患、心臓弁膜症  
心房中隔欠損症、血管病理学

専門医資格 総合内科専門医・循環器専門医

## 特殊〔専門〕疾患

- 心筋梗塞、狭心症などの虚血性心疾患
- 上室性および心室性不整脈
- 心不全、弁膜症、心筋症、成人先天性心疾患
- 急性大動脈解離、動脈瘤などの大動脈疾患
- 急性肺血栓塞栓症、肺高血圧症などの肺循環障害

## 診療内容

疾患名	治療方針
虚血性心疾患	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎治療適応の判断のための心臓核医学検査や冠動脈 CT (画像から機能的評価を行う FFRCT も導入) を用いた非侵襲的画像検査</li> <li>◎心臓カテーテル法を用いた虚血性心疾患の診断および治療</li> <li>◎急性心筋梗塞に対する緊急的心臓カテーテル治療</li> <li>◎血管内超音波、光断層画像法、血管内視鏡を用いた冠動脈病変およびステント治療の正確な病態評価および治療</li> <li>◎EBMに基づいた最適薬物療法を含む治療戦略</li> </ul>
不整脈	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎治療適応判断のためのホルター心電図、植え込み型心電図</li> <li>◎電気生理学的検査法による上室性不整脈および心室性不整脈の診断およびカテーテルアブレーションによる治療</li> <li>◎徐脈性不整脈に対するペースメーカー 植え込み術</li> <li>◎植え込み型除細動器を用いた重症不整脈の治療 (ICD)</li> </ul>
心臓弁膜症	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎心臓超音波、運動負荷エコーによる弁膜症の診断</li> <li>◎心臓カテーテル法を用いた心臓弁膜症の診断</li> <li>◎経カテーテル大動脈弁留置術による低侵襲治療</li> <li>◎手術困難な僧帽弁閉鎖不全症に対するマイトラクリップ術</li> </ul>
成人先天性心疾患	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎心臓超音波を用いた診断</li> <li>◎心臓超音波カテーテル法を用いた診断および重症度の判断</li> <li>◎心房中隔欠損症に対するカテーテル閉鎖術</li> <li>◎動脈管開存症に対するカテーテル閉鎖術</li> </ul>
心不全	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎急性及び慢性心不全に対する入院または外来加療</li> <li>◎低心機能の治療としての心臓再同期療法 (CRT)</li> <li>◎心臓リハビリテーションを中心とした長期的加療戦略</li> </ul>
末梢動脈疾患	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎造影 CT、末梢動脈エコーを用いた末梢動脈疾患の診断</li> <li>◎カテーテルを用いた末梢動脈病変に対する治療</li> </ul>
心筋症	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎心臓超音波、心臓 MRI などのイメージングを用いた診断</li> <li>◎心臓カテーテル検査および心筋生検による病理学的診断</li> </ul>
その他の新しいトピックス： 心原性塞栓症	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎心房細動に対する抗凝固療法不適例に対する経皮的左心耳閉鎖術</li> <li>◎卵円孔開存を介する奇異性塞栓症に対する経皮的卵円孔閉鎖術</li> </ul>
緊急疾患	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎急性心筋梗塞、急性心不全をはじめとする循環器救急への 24 時間対応</li> </ul>

イーヨーゴ ハート  
ハートコール：0120-145-810

## 担当医師

1 役職/職位 2 出身大学 3 専門分野 4 専門医資格



## 栗田 隆志

1 教授 2 福岡大学  
3 不整脈、カテーテルアブレーション、ペースメーカー、ICD、CRT  
4 循環器専門医

## 上野 雅史

1 准教授/医局長 2 近畿大学  
3 心血管カテーテル治療、虚血性心疾患、抗血小板療法  
4 総合内科専門医・循環器専門医

## 水谷 一輝

1 医学部講師 2 大阪市立大学  
3 心血管カテーテル治療、虚血性心疾患、心臓弁膜症、心房中隔欠損症  
4 総合内科専門医・循環器専門医

## 三好 達也

1 医学部講師/外来医長 2 神戸大学  
3 心臓弁膜症、心臓超音波検査、構造的心疾患  
4 循環器専門医・超音波専門医

## 河村 尚幸

1 医学部講師 2 近畿大学  
3 循環器一般、心血管カテーテル治療  
4 循環器専門医

## 笈 和剛

1 医学部講師 2 近畿大学  
3 循環器一般、心血管カテーテル治療  
4 ー

## 松添 弘樹

1 医学部講師 2 関西医科大学  
3 心臓弁膜症、心筋症、心臓超音波、心不全  
4 総合内科専門医・循環器専門医・超音波専門医

## 平野 豊

1 准教授 2 近畿大学  
3 心臓弁膜症、心臓超音波検査、構造的心疾患、運動負荷エコー  
4 総合内科専門医・循環器専門医・超音波専門医

## 安岡 良文

1 講師 2 近畿大学  
3 不整脈、カテーテルアブレーション、ペースメーカー、ICD、CRT  
4 ー

## 丸山 将広

1 医学部講師 2 近畿大学  
3 不整脈、カテーテルアブレーション、ペースメーカー、ICD、CRT  
4 循環器専門医

## 松村 光一郎

1 医学部講師/病棟長 2 金沢医科大学  
3 循環器一般、心不全  
4 総合内科専門医・循環器専門医

## 藤田 晃輔

1 医学部講師 2 近畿大学  
3 循環器一般、心血管カテーテル治療  
4 循環器専門医

## 吉田 彩乃

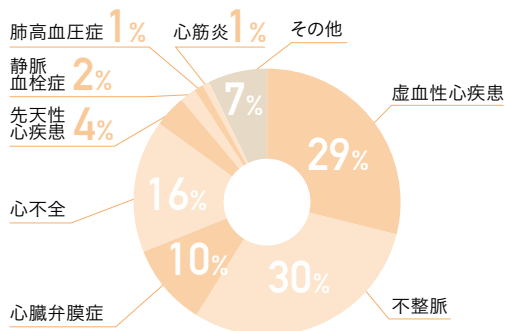
1 医学部講師 2 東京女子医科大学  
3 心臓弁膜症、心臓超音波検査  
4 総合内科専門医・循環器専門医・超音波専門医

## 中村 貴

1 医学部講師 2 近畿大学  
3 循環器一般  
4 総合内科専門医・循環器専門医

医師名	役職/職位	出身大学	専門分野	専門医資格
高橋 邦彰	助教	三重大学	循環器一般、心血管カテーテル治療、臨床研究	ー
大西 教平	助教	近畿大学	循環器一般	循環器専門医
奥根 真楠	助教	近畿大学	循環器一般	ー
杉本 啓史郎	助教	近畿大学	循環器一般	ー
副島 奈央子	助教	近畿大学	循環器一般、心臓超音波検査	ー
船内 陽平	助教	近畿大学	循環器一般	ー
山田 信弘	助教	近畿大学	循環器一般、心血管カテーテル治療	ー
田中 基英	助教	近畿大学	不整脈、カテーテルアブレーション ペースメーカー、ICD、CRT	ー
南 遥香	助教	近畿大学	循環器一般	ー
濱中 慶	助教	近畿大学	循環器一般	ー

## 疾患別診療実績 (患者数割合)



## TOPICS

近畿大学循環器内科では日本国内で行われている、虚血性心疾患、構造的な心疾患、不整脈に対する低侵襲治療のほぼすべてに対応可能です。冠動脈インターベンションはもちろんのこと経カテーテル大動脈弁留置術、僧帽弁クリップ術なども心臓外科医、麻酔科医、コメディカルスタッフとともにハートチームとして積極的に取り組んでおります。また、不整脈に対するカテーテルアブレーション、ペースメーカー留置術に加え、抗凝固薬で出血リスクがある患者さんに対する左心耳閉鎖術も積極的に行っています。日中のみならず、夜間緊急に対応するハートコールは全応需を徹底しておりますので24時間体制で診療に日々励んでおります。



責任者/診療部長 前田 法一 主任教授

出身大学 大阪大学

専門分野 糖尿病、内分泌代謝疾患、動脈硬化、肥満症

専門医資格 糖尿病専門医・内分泌代謝科専門医

## 特殊〔専門〕疾患

- 糖尿病 …… 1型糖尿病、2型糖尿病、妊娠糖尿病、その他の糖尿病（膵性、薬剤性など）
- 低血糖症 …… インスリノーマなど
- 代謝疾患 …… 脂質異常症、高血圧、家族性高コレステロール血症、メタボリックシンドロームなど
- 肥満症
- 内分泌疾患：甲状腺疾患…バセドウ病、橋本病など  
下垂体疾患…先端巨大症、クッシング病、尿崩症など
- 副腎疾患……原発性アルドステロン症、クッシング症候群、褐色細胞腫、副腎偶発腫（インシデンタローマ）など

## 診療内容

疾患名	治療方針
糖尿病	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎個々の症例の病態に応じた個別化医療・テーラーメイド医療の実施</li> <li>◎糖尿病の長期予後を見据えた全人的治療</li> <li>◎糖尿病合併症の発症予防・進展抑制・寛解導入</li> <li>◎1型糖尿病治療の最適化 (持続皮下インスリン注入療法(CSII)・強化インスリン療法)</li> <li>◎2型糖尿病治療の最適化 (自分自身のインスリン分泌を温存する治療)</li> <li>◎持続血糖モニタリング(CGM・FGM)による24時間血糖プロフィール検査とその正常化</li> <li>◎糖尿病合併症の発症予防・進展抑制・寛解導入</li> <li>◎早期腎症に対する改善、透析予防外来</li> <li>◎糖尿病合併症チェック外来(動脈硬化評価外来)</li> <li>◎糖尿病合併症評価入院(6日間クリニカルパス入院)</li> <li>◎インスリン導入パス入院</li> <li>◎血糖コントロール入院(14日間クリニカルパス入院)</li> <li>◎糖尿病強化治療外来</li> <li>◎糖尿病療養指導士による糖尿病療養指導外来</li> <li>◎糖尿病透析予防外来</li> <li>◎充実した糖尿病教室カリキュラムを実施</li> </ul>
代謝疾患	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎動脈硬化性疾患の診断と内科的治療</li> <li>◎家族性高コレステロール血症の診断と治療</li> </ul>
内分泌疾患	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎バセドウ病や橋本病などの甲状腺疾患、副腎疾患、下垂体疾患の診断と治療</li> </ul>
肥満症	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎二次性肥満の除外・診断・治療</li> <li>◎高度肥満症に対する院内診療チームによる治療介入</li> </ul>

担当医師

1 役職/職位 2 出身大学 3 専門分野 4 専門医資格



能宗 伸輔

- 1 准教授/医局長 2 宮崎医科大学
- 3 糖尿病、内分泌代謝疾患、老年病医学
- 4 総合内科専門医・糖尿病専門医  
内分泌代謝科専門医・老年科専門医



馬場谷 成

- 1 講師 2 近畿大学
- 3 糖尿病、内分泌代謝疾患、老年病医学
- 4 総合内科専門医・糖尿病専門医  
内分泌代謝科専門医・老年科専門医



廣峰 義久

- 1 講師/病棟医長 2 大阪大学
- 3 糖尿病、内分泌疾患、老年病医学
- 4 総合内科専門医・糖尿病専門医・老年科専門医



武友 保憲

- 1 医学部講師/外来医長 2 近畿大学
- 3 糖尿病、内分泌代謝疾患、老年病医学
- 4 総合内科専門医・糖尿病専門医  
内分泌代謝科専門医・老年科専門医

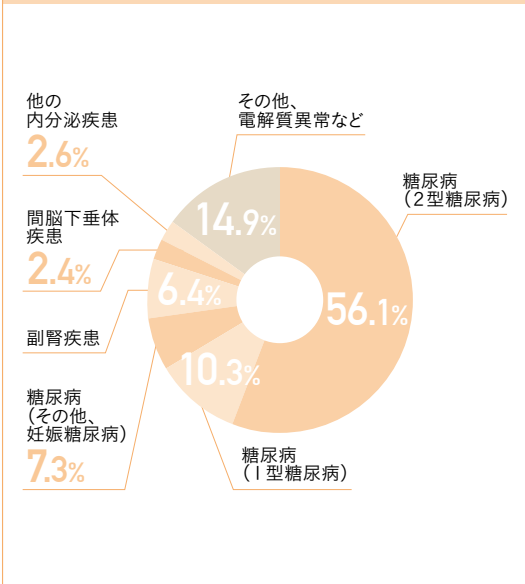


吉田 左和

- 1 医学部講師 2 近畿大学
- 3 糖尿病、内分泌疾患、老年病医学
- 4 糖尿病専門医・老年科専門医

医師名	役職/職位	出身大学	専門分野	専門医資格
池田 守	助教	近畿大学	糖尿病、内分泌疾患	糖尿病専門医・内分泌代謝科専門医
蓑原 達郎	助教	近畿大学	糖尿病、内分泌疾患	—
今村 修三	助教	日本大学	糖尿病、内分泌疾患	糖尿病専門医・内分泌代謝科専門医
奥田 祐輝	助教	近畿大学	糖尿病、内分泌疾患	内分泌代謝科専門医
小川 誠人	助教	島根大学	糖尿病、内分泌疾患	—

疾患別診療実績 (患者数割合)



TOPICS 1

一人一人の糖尿病の病態に応じて治療を最適化する「テーラーメイド医療」

全国81の糖尿病専門施設が参画した国家プロジェクト「糖尿病予防のための戦略研究 J-DOIT3」において5期連続総合評価一位の実績をもつ当科では、糖尿病の診断・治療を個々の病態に応じて最適化し、患者さんの一生を見据えたテーラーメイド医療を進めています。

最も症例数が多い2型糖尿病治療の最適化はもちろんですが、より治療が難しい1型糖尿病の診療にも力を入れています。1型糖尿病の中でもインスリン分泌が枯渇した症例は、専門医でも血糖コントロールに難渋する「不安定型糖尿病」となります。当科では内因性インスリン分泌を正確に評価し、持続血糖モニタリングシステム (CGM・FGM) や最新のインスリンポンプ機器 (持続皮下インスリン注入療法) を駆使して最適な治療を構築します。また近年、手術件数が増えている膵切除後糖尿病 (その他の糖尿病) についても、術前・術後から術後の慢性期に渡って外科と緊密に連携することで万全の体制で安心して手術に望めるよう注力しています。

TOPICS 2

副腎性高血圧・副腎偶発腫、甲状腺疾患や下垂体疾患の診断と治療

近年増加しているのは高血圧のスクリーニング検査により、レニン・アルドステロン値の異常を発見されご紹介いただく二次性高血圧除外目的の症例です。原発性アルドステロン症・クッシング症候群・褐色細胞腫などの副腎性高血圧症の診断と治療だけでなく、CT等でたまたま発見された副

腎偶発腫の診断も積極的におこなっています。またパセドウ病や橋本病などの甲状腺疾患、先端巨大症などの下垂体疾患についても多くの症例について診断と治療をおこなっています。お困りの症例がありましたら是非ご紹介ください。



責任者/診療部長 工藤 正俊 主任教授

出身大学 京都大学

専門分野 肝疾患(特に肝細胞がんの診断と治療)、B型肝炎、C型慢性肝炎、肝硬変、門脈圧亢進症、消化器疾患全般

専門医資格 総合内科専門医・消化器内視鏡専門医・肝臓専門医  
超音波専門医・消化器病専門医・核医学専門医



## 特殊[専門]疾患

- 肝細胞がん  
(特に肝細胞癌の診断と治療)
  - 急性肝炎(A・B・C型)
  - 慢性肝炎(B・C型)
  - 自己免疫性肝炎
  - 転移性肝がん
  - 肝硬変
  - 門脈圧亢進症
  - 代謝障害関連脂肪性肝炎(MASH)
  - 脂肪肝
- など

## 診療内容

疾患名	検査手技と治療方針
びまん性肝疾患 (B型肝炎・C型肝炎・肝硬変)	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎C型肝炎に対して、経口薬によるウイルス排除を目指した治療</li> <li>◎B型肝炎に対して、核酸アナログ製剤(エンテカビル・テノホビル・TAF)によるウイルス増殖抑制・肝線維化進展抑制および発がん抑制を目指した治療</li> <li>◎肝硬変に対する薬物治療(アミノ酸製剤・利尿薬・カルニチン・リファキシミン・合成二糖類など)</li> </ul>
肝悪性腫瘍 (肝細胞がん・肝内胆管がん・転移性肝がん)	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎造影超音波を用いた肝腫瘍の鑑別診断</li> <li>◎肝腫瘍に対する精密画像検査(造影超音波、肝特異性造影剤によるMR(I EOB-MRI)など)</li> <li>◎肝がんに対する肝動脈塞栓療法及び局所治療 特にラジオ波焼灼術(RFA)を全国に先駆けて取り入れ実績を上げている。症例数は8,000例以上と全国2位</li> <li>◎Fusion画像や造影超音波を用いて精緻にラジオ波焼灼術(RFA)を実施し、局所再発は極めて少ない</li> <li>◎肝がん根治療法後の再発抑制治療</li> <li>◎進行肝がんに対するリザーバー動注化学療法</li> <li>◎進行肝がんに対する分子標的治療及び免疫療法</li> <li>◎肝細胞癌に対する分子標的治療・免疫療法とTACEとの併用療法</li> <li>◎転移性肝がんや肝内胆管がんに対するラジオ波焼灼術(RFA)</li> <li>◎肝内胆管がんに対する全身化学療法</li> </ul>
その他の肝疾患 (症候性肝嚢胞・難治性腹水・肝性脳症・代謝障害関連脂肪性肝障害)	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎症候性肝嚢胞に対する特殊治療(EO注入療法)</li> <li>◎難治性腹水に対する薬物療法(トルバプタン)</li> <li>◎難治性腹水に対するシャント形成術(デンバーシャント)や腹水濾過濃縮再静注法(CART)</li> <li>◎肝性脳症に対するバルーン下逆行性経静脈的塞栓術を用いた門脈一大循環シャント閉塞(BRTO)</li> <li>◎非アルコール性脂肪性肝疾患(NAFLD・NASH)に対する治療</li> </ul>

担当医師

1 役職/職位 2 出身大学 3 専門分野 4 専門医資格



西田 直生志

- 1 教授 2 大阪医科大学
- 3 消化器全般、肝疾患、ウイルス性肝炎、代謝性肝疾患、肝がんの診断と治療
- 4 総合内科専門医・消化器病専門医・肝臓専門医



上嶋 一臣

- 1 特命准教授 2 神戸大学
- 3 肝疾患、肝細胞がんの診断と治療、肝がん化学療法、ウイルス肝炎治療
- 4 総合内科専門医・消化器病専門医・肝臓専門医・消化器内視鏡専門医・救急科専門医・がん治療専門医



萩原 智

- 1 特命准教授/外来医長 2 近畿大学
- 3 消化器全般、肝疾患、肝炎、肝細胞がんの診断と治療
- 4 消化器病専門医・肝臓専門医



南 康範

- 1 医学部講師/医局長 2 近畿大学
- 3 消化器全般、肝疾患、肝がんの診断と治療、内視鏡診断と治療
- 4 外科専門医・超音波専門医・消化器病専門医・肝臓専門医・消化器内視鏡専門医



田北 雅弘

- 1 医学部講師 2 近畿大学
- 3 肝がんの診断と治療、肝炎の診断と治療
- 4 消化器病専門医・肝臓専門医・消化器内視鏡専門医

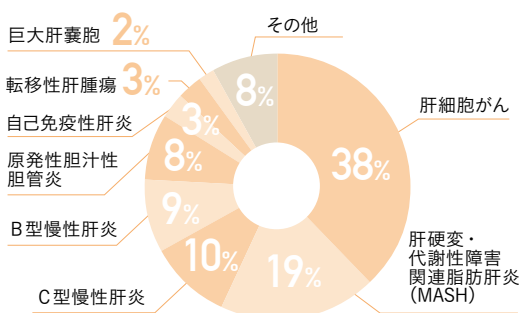


依田 広

- 1 医学部講師 2 京都大学
- 3 肝がんの診断と治療、肝炎の診断と治療
- 4 消化器病専門医・肝臓専門医

医師名	役職/職位	出身大学	専門分野	専門医資格
盛田 真弘	助教	富山大学	肝がんの診断と治療、肝炎の診断と治療	消化器病専門医・肝臓専門医
松原 卓哉	助教	兵庫医科大学	肝疾患と消化器疾患	—
岡井 夏樹	助教	近畿大学	肝疾患と消化器疾患	—
大丸 直哉	助教	近畿大学	肝疾患と消化器疾患	—
瀬海 郁衣	助教	久留米大学	肝疾患と消化器疾患	—

疾患別診療実績 (患者数割合)



TOPICS 1 ABC コンバージョン療法

切除不能な肝細胞がんに対して、私たちのグループを含む国際的な臨床試験により、免疫チェックポイント阻害剤であるアテゾリズマブと、血管新生阻害効果を有するベバシズマブを併用する治療が2020年に承認されました。私たちは、多結節癒合型・低分化型・肝内多発などの、予後が悪いとされる肝細胞がん症例に対しては、まずアテゾリズマブ・ベバシズマブ併用療法を先行しておこない、腫瘍の縮小を図ります。その後、分子標的薬レンパチニブ先行投与・肝動脈化学塞栓療法 (LEN-TACEシーケンシャル療法) やラジオ波焼灼療法をおこなうことで、がんの存在しない状態 (cancer-free)、すなわち根治を目指します。このアテゾリズマブ・ベバシズマブ根治的 (ABC) コンバージョン療法というコンセプトを私たちは世界にさがかけて提唱し、その効果を国内外で発表しています。進行肝細胞がんの治療法につき、私たちは多くの選択肢を有しています。お気軽にご相談ください。

TOPICS 2 肝細胞がんの国内有数の治療拠点病院

肝細胞がんの内科的治療はラジオ波治療、肝動脈化学塞栓療法 (TACE)、リザーバー留置による肝動注化学療法および分子標的薬、免疫チェックポイント阻害剤など、多数ありますが、近畿大学消化器内科はどの治療法においても患者数は国内随一、また治療成績においても高い実績を有する国内有数の治療拠点病院であるといえます。実際、日本の肝がん治療の学会である「日本肝がん研究会」の事務局は当院の消化器内科の中に設置されており、2年に1度、国内約500~600病院にわたる全国から年間2万例以上の治療や予後の情報が匿名化されて集積されており、2年に1回「全国原発性肝がん追跡調査報告」として日本語および英語で日本の National data として発刊および論文発表されています。また当院が中心になって行った世界における臨床試験も多数存在します。そのうち分子標的薬レンパチニブは、当大学が製薬メーカーとともに主導権を持ってグローバル治験を行って開発し、現在、世界中で使われている分子標的薬となっております。また、「分子標的薬と肝動注化学療法との組み合わせ治療」や、「分子標的薬と TACE との組み合わせ治療」あるいはレンパチニブを先行投与して TACE を行う「LEN-TACE シーケンシャル治療」などの医師主導型臨床試験も当院消化器内科が全国の30施設以上の協力を頂いて、成果を出し、一流の英文雑誌に掲載されたうえで新しい治療法として確立されました。現在、これらの新規に近畿大学において開発された治療は、国内外の実臨床に幅広く定着しております。また、日本肝臓学会発刊の「肝がん診療ガイドライン」や「肝がん診療マニュアル」にもこれらの治療法が取り入れられています。いわば、世界の肝がんの新しい治療が当院消化器内科によって開発され、確立されたといっても過言ではありません。当院には全国の都道府県およびアジア、イタリア、米国など海外からも肝がん患者さんの紹介が多く、治療を受けられています。その意味で、肝がん患者さんに対しては当院におきましては世界一の診療を受けることができると自負しております。



責任者/診療部長 工藤 正俊 主任教授

出身大学 京都大学

専門分野 肝疾患(特に肝細胞がんの診断と治療)、B型肝炎、C型慢性肝炎、肝硬変、門脈圧亢進症、消化器疾患全般

専門医資格 総合内科専門医・消化器内視鏡専門医・肝臓専門医  
超音波専門医・消化器病専門医・核医学専門医

## 特殊〔専門〕疾患

- 総胆管結石
- 閉塞性黄疸
- 胆管細胞がん

- 胆道がん
- 膵がん
- 自己免疫性膵炎

- 慢性膵炎
- 急性膵炎

など

## 診療内容

疾患名	検査手技と治療方針
胆膵疾患	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎胆膵腫瘍に対する造影超音波診断法による早期診断、鑑別診断</li> <li>◎胆膵疾患に対する超音波内視鏡下生検及び造影による診断と治療</li> <li>◎胆膵疾患に対する超音波内視鏡下瘻孔形成術</li> <li>◎膵がんに対する放射線併用化学療法や Gemcitabin少量長期投与と S1 による抗がん剤治療は好成績を収めており最新の化学療法(アブラキサン治療/FOLFILINOX)も積極的に行っている</li> <li>◎微小膵がん(上皮内がんや腫瘍径 10mm 以下の膵がん)の発見および治療についての豊富な診療実績がある</li> <li>◎胆道がんに対する分子標的治療(治験)、胆道がんに対する免疫療法を積極的に実施</li> <li>◎閉塞性黄疸に対する経皮的並びに内視鏡的胆汁ドレナージ術、ステント留置術</li> <li>◎最先端の ERCP 技術を有し、治療難渋症例の紹介を積極的に受け入れている</li> <li>◎南大阪膵炎連携システムを用いた地域としての急性膵炎対策を主導している</li> </ul>

### TOPICS 1

#### 微小膵がん 早期診断への取り組み

膵がんは小さな病変でも根治治療が難しく、予後不良ながん腫であります。膵がんの予後を改善するためには、微小膵がん(上皮内がんや10mm以下膵がん)の診断が重要とされています。しかしながら、腫瘍径の小さい病変は各種検査で直接検出することが困難であるため、上腹部痛や背部痛を有する患者さんおよび膵がんのリスクファクター(膵管拡張や膵嚢胞、慢性膵炎、膵がんの家族歴、糖尿病の悪化、急性膵炎の既往)などを有する患者さんに、積極的に膵がんの存在を疑って、専門施設での積極的な検査が望ましいとされています。当院ではこのようなリスク因子を持った患者さんに超音波内視鏡検査や内視鏡的膵管造影精査(ERCP)を積極的に行うことで多くの微小膵がんの診断実績を上げています(上皮内がん:10例、10mm以下膵がん:15例(2021年2月現在))。該当する症状や所見のある患者さん、御不安な患者さんがいらっしゃいましたら、是非とも当科へご受診ください。また地域の先生方にも積極的に御紹介をお願いします。

### TOPICS 2

#### 免疫学の理解に基づいた慢性膵炎・自己免疫性膵炎の診断と治療

膵臓の慢性炎症は慢性膵炎と自己免疫性膵炎に分類されます。慢性膵炎はアルコールの過剰摂取を背景に発症し、自己免疫性膵炎は自分の免疫システムが自分の膵臓を攻撃して発症します。慢性膵炎と自己免疫性膵炎の患者数は増加しており、この2つの疾患は膵臓がんの危険因子であることがわかっています。慢性膵炎と自己免疫性膵炎がどのようなメカニズムで生じるのか?その謎は解明されていませんでした。最近、私たちのグループは腸内細菌に対する免疫異常が慢性膵炎・自己免疫性膵炎を引き起こすことを世界に先駆けて、明らかにしました。また、近畿大学消化器内科では慢性膵炎・自己免疫性膵炎の診断に役立つ新たな免疫分子の同定にも成功しています。このように、近畿大学消化器内科では免疫学の理解に基づいた慢性膵炎・自己免疫性膵炎の診断と治療を展開しておりますので、お気軽にご相談ください。



担当医師

1 役職/職位 2 出身大学 3 専門分野 4 専門医資格



竹中 完

- 1 特命准教授/病棟医長 2 近畿大学
- 3 消化器全般、胆・膵疾患の診断と治療
- 4 消化器内視鏡専門医・消化器病専門医・肝臓専門医



鎌田 研

- 1 特命准教授 2 近畿大学
- 3 消化器全般、胆・膵疾患の診断と治療
- 4 総合内科専門医・消化器病専門医  
消化器内視鏡専門医・超音波専門医・肝臓専門医



三長 孝輔

- 1 特命准教授 2 京都大学
- 3 消化器全般、胆・膵疾患の診断と治療
- 4 総合内科専門医・消化器病専門医  
消化器内視鏡専門医・肝臓専門医



大本 俊介

- 1 医学部講師 2 近畿大学
- 3 消化器全般、胆・膵疾患の診断と治療
- 4 消化器病専門医・消化器内視鏡専門医

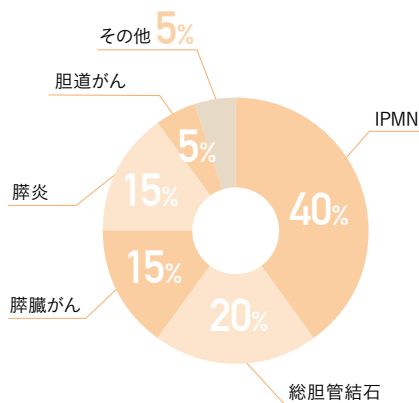


山崎 友裕

- 1 医学部講師 2 和歌山県立医科大学
- 3 消化器全般、胆・膵疾患の診断と治療
- 4 消化器病専門医・消化器内視鏡専門医

医師名	役職/職位	出身大学	専門分野	専門医資格
中井 敦史	助教	徳島大学	消化器一般	消化器内視鏡専門医
吉田 晃浩	助教	近畿大学	消化器一般	消化器内視鏡専門医 消化器病専門医
田中 秀和	助教	近畿大学	消化器全般、胆・膵疾患の診断と治療	—
大塚 康生	助教	島根大学	消化器全般、胆・膵疾患の診断と治療	—
益田 康弘	助教	近畿大学	消化器一般	総合内科専門医・消化器病専門医
栗本 真之	助教	近畿大学	消化器一般	—
原 茜	助教	近畿大学	消化器一般	—

疾患別診療実績 (患者数割合)



TOPICS 3

南大阪地域連携システムを用いた急性膵炎への対策

急性膵炎は重症では未だ約10%程度の高い死亡率を有する病気です。我々は、2015年より南大阪地域での膵炎患者さんの転送がスムーズになされるような情報の共有のために、南大阪地域で急性膵炎を診療している南大阪地域の施設へ治療実態のアンケート調査を実施し、アンケートに返答頂いた各病院（地域連携課事務、急性膵炎に携わる医師）とともに急性膵炎地域連携構築会議を立ち上げました。そしてこの会議を定期的に行い、地域における搬送の問題点を抽出することにより、南大阪地域の膵炎MAPを作成しております。結果として搬送困難な患者さんが2017年に39.4%であったものが、2018年度の地域連携構築会議のアンケートでは13.3%まで大きく改善していることがわかりました。

超重症例である局所合併症（被包化壊死など）を合併した患者さんや治療に難渋する膵炎患者さんも当院では多く受け入れております。該当する患者さんがいらっしゃいましたら、是非とも当院へご紹介ください。



責任者/診療部長 工藤 正俊 主任教授

出身大学 京都大学

専門分野 肝疾患(特に肝細胞がんの診断と治療)、B型肝炎、C型慢性肝炎、肝硬変、門脈圧亢進症、消化器疾患全般

専門医資格 総合内科専門医・消化器内視鏡専門医・肝臓専門医  
超音波専門医・消化器病専門医・核医学専門医

## 特殊[専門]疾患

- 食道がん
- 大腸がん
- 逆流性食道炎
- ヘリコバクターピロリ菌感染症
- 潰瘍性大腸炎
- 胃がん
- 大腸ポリープ
- 胃潰瘍・十二指腸潰瘍
- クロウン病
- など

## 診療内容

疾患名	検査手技と治療方針
消化管疾患 (がん、潰瘍、静脈瘤など)	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎上部消化管内視鏡検査</li> <li>◎下部消化管内視鏡検査</li> <li>◎経鼻内視鏡や鎮静下内視鏡検査</li> <li>◎拡大内視鏡、超拡大内視鏡(エンドサイト)、画像強調内視鏡</li> <li>◎食道静脈瘤に対する食道静脈瘤硬化療法(EIS)・食道静脈瘤結紮術(EVL)及び両者の併用(EISL)</li> <li>◎消化管出血に対する内視鏡的止血術(クリップ止血・止血鉗子・アルゴンプラズマ)</li> <li>◎消化管異物摘出術</li> <li>◎早期がん(食道・胃・十二指腸・大腸)に対する粘膜下層剥離術(ESD)や粘膜切除術(EMR)</li> <li>◎大腸ポリープ切除術、粘膜切除術(EMR)</li> <li>◎早期がんや消化管粘膜下腫瘍に対する超音波内視鏡検査</li> <li>◎消化管狭窄に対する内視鏡的治療(バルーン拡張術・ステント留置術)</li> <li>◎経皮内視鏡的胃瘻造設術(PEG)</li> <li>◎バルーン小腸内視鏡(シングルバルーン・ダブルバルーン)</li> <li>◎カプセル内視鏡</li> <li>◎経口および経肛門的イレウス管挿入</li> <li>◎化学療法(分子標的薬や免疫チェックポイント阻害薬などを含む最近のレジメンを実施)</li> </ul>
炎症性腸疾患 (クロウン病、潰瘍性大腸炎)	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎炎症性腸疾患の診断と治療、生物学的製剤治療、免疫調節薬治療、クロウン病、潰瘍性大腸炎に対して白血球やリンパ球除去療法などの特殊療法にも取り組んでいる。新薬の臨床治験にも多数参加</li> </ul>

### TOPICS 1

## 免疫学の理解に基づいた炎症性腸疾患の診断と治療

私たちの腸管には100兆個もの腸内細菌が存在します。これらの腸内細菌の乱れはクロウン病や潰瘍性大腸炎に代表される炎症性腸疾患を引き起こします。私たちのグループは「腸内細菌に対する免疫反応がなぜ、炎症性腸疾患を引き起こすのか?」そのメカニズムの解明に取り組み、国際的な業績を挙げてきました。現在、炎症性腸疾患には様々な免疫制御療法が用いられていますが、治療に難渋する症例も数多く存在します。炎症性腸疾患の免疫制御療法はサイトカインなどの免疫分子を標的としており、使いこなすには免疫学の理解が欠かせません。私たちのグループでは患者さんの炎症部位で起こっている免疫反応を個別に解析し、「患者さんひとりひとりにあったテーラーメイドな免疫制御療法」を提案しています。このように、近畿大学消化器内科では免疫学の理解に基づいた炎症性腸疾患の診断と治療を実践しておりますので、お気軽にご相談ください。

### TOPICS 2

## 人工知能(Artificial Intelligence, AI)を用いた内視鏡診断

内視鏡は消化管(食道、胃、十二指腸、空腸、回腸、大腸)の疾患の診断に大きな威力を発揮します。しかしながら、内視鏡診断には内視鏡術者の経験や技術に大きく依存することは否めません。近畿大学消化器内科には内視鏡診断に豊富な経験を有する医師が多数在籍しています。その一方で、医師の技術や経験に左右されない内視鏡診断技術の開発が期待されています。人工知能(Artificial Intelligence, AI)を用いた診断方法が様々な医療分野で応用されつつあります。近畿大学消化器内科では、本学理工学部と共同でAIを用いた内視鏡診断技術の開発に取り組んでいます。最近、我々のグループはResidual Networkという新たなAI技術を内視鏡診断に応用することに成功しました。AIを用いた内視鏡診断技術を上部・下部内視鏡検査に応用し、医師の経験や技術に左右されることなく、すべての患者さんが正確な内視鏡診断を受けることができるシステムを開発しています。AIを用いた内視鏡診断にご興味がある方はお気軽にご相談ください。

- 1 循環器内科
- 2 内分泌・代謝・糖尿病内科
- 3 消化器内科
- 4 血液・膠原病内科
- 5 腎臓内科
- 6 脳神経内科
- 7 腫瘍内科
- 8 呼吸器・アレルギー内科
- 9 メンタルヘルス科
- 10 小児科・思春期科
- 11 外科
- 12 脳神経外科
- 13 心臓血管外科
- 14 整形外科
- 15 皮膚科
- 16 形成外科
- 17 泌尿器科
- 18 眼科
- 19 耳鼻咽喉・頭頸部外科
- 20 産婦人科
- 21 放射線診断科
- 22 放射線治療科
- 23 麻酔科
- 24 歯科口腔外科
- 25 漢方診療科
- 26 リハビリテーション科
- 27 救急災害センター
- 28 その他センター

## 担当医師

1 役職/職位 2 出身大学 3 専門分野 4 専門医資格



### 榎田 博史

- 1 教授 2 京都大学
- 3 消化器全般、消化管内視鏡診断と治療
- 4 総合内科専門医・肝臓専門医・超音波専門医  
消化器病専門医・消化器内視鏡専門医



### 辻 直子

- 1 教授 2 京都市立医科大学
- 3 消化器全般、上・下部消化管
- 4 総合内科専門医・消化器病専門医・臨床検査専門医  
消化器内視鏡専門医・肝臓専門医



### 渡邊 智裕

- 1 特命教授 2 京都大学
- 3 消化器全般、消化器免疫疾患
- 4 総合内科専門医・肝臓専門医・消化器病専門医  
消化器内視鏡専門医



### 松井 繁長

- 1 特命准教授 2 近畿大学
- 3 食道胃静脈瘤、門脈圧亢進症、早期食道がんの内視鏡治療
- 4 消化器病専門医・消化器内視鏡専門医



### 米田 頼晃

- 1 特命准教授 2 北里大学
- 3 消化器全般、内視鏡診断と治療(特に下部消化管)、炎症性腸疾患
- 4 総合内科専門医・消化器内視鏡専門医  
消化器病専門医・大腸肛門病専門医



### 永井 知行

- 1 医学部講師 2 近畿大学
- 3 消化器全般、内視鏡診断と治療
- 4 総合内科専門医・消化器病専門医  
消化器内視鏡専門医・肝臓専門医

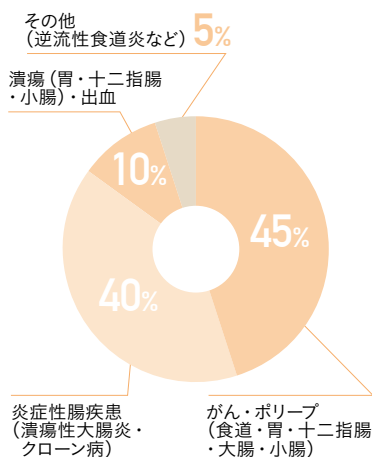


### 河野 匡志

- 1 医学部講師 2 近畿大学
- 3 消化器全般、内視鏡診断と治療
- 4 消化器病専門医・消化器内視鏡専門医・肝臓専門医

医師名	役職/職位	出身大学	専門分野	専門医資格
正木 翔	助教	川崎医科大学	消化器全般、内視鏡診断と治療	消化器病専門医・消化器内視鏡専門医
半田 康平	助教	近畿大学	消化器一般	—
吉田 早希	助教	近畿大学	消化器一般	—

## 疾患別診療実績 (患者数割合)



## TOPICS 3

### 「光学治療センターは ONE TEAM, 24時間内視鏡のとどかない所はない！」

光学治療センターは内視鏡検査に関連する内科系・外科系医師、看護師、内視鏡検査技師、放射線技師、洗浄スタッフ、事務が共同で運営する中央部門で、消化器内科、呼吸器内科、腫瘍内科、消化器外科、呼吸器外科などの専門家が最先端の機器を用い高度かつ特殊な内視鏡診断・治療を協力・連携して行っています。

バルーン内視鏡や超音波気管支鏡などの導入で、のどから肛門までの全消化管、肺の中枢から末梢まで今や内視鏡のとどかない所はありません。全内視鏡診療に対応しています。

リカバリールームを増設し、鎮静剤や鎮痛剤を用いた苦痛の少なくやさしい内視鏡検査を、超高齢者から小児まで老若男女を問わず行っています。

また、大学病院ではありますが、地域の救急医療も担っており、緊急止血なども24時間対応で行っています。大腸がん、肺がん、胃がんなど内視鏡診療と関連するがんは日本人の大きな死因であり、早期発見治療により治すことができる腫瘍でもあります。検査予約待ちも以前に比し、大幅に縮小できましたので、是非一度内視鏡検査を受けていただくことをおすすめします。

# 血液・膠原病内科 (血液グループ)



責任者/診療部長 松村 到 主任教授

出身大学 大阪大学

専門分野 造血器腫瘍、造血幹細胞疾患、造血幹細胞移植、貧血疾患、白血球系疾患、出血性疾患

専門医資格 総合内科専門医・がん薬物療法専門医・血液専門医

## 特殊〔専門〕疾患

- 造血器腫瘍（白血病、骨髄異形成症候群、骨髄増殖性腫瘍、悪性リンパ腫、多発性骨髄腫など）
- 骨髄不全（再生不良性貧血、発作性夜間ヘモグロビン尿症など）
- 赤血球系疾患（鉄欠乏性貧血、溶血性貧血、巨赤芽球性貧血など）
- 白血球系疾患（好中球減少症、ウイルス感染症、免疫不全症など）
- 血栓・止血疾患（免疫性血小板減少性紫斑病、播種性血管内凝固、凝固因子異常症など）

## 診療内容

### 治療方針

血液内科で扱う疾患の多くは、造血器腫瘍を含む難治性疾患であり、その診断や治療には専門的な知識と経験が必要とされます。当科は、日本血液学会認定血液専門医 18 名を含む 27 名の医師が在籍し、日本血液学会認定血液研修施設に認定されています。外来は、一般血液疾患、造血器腫瘍を専門とする医師 2 名、初診対応医師 1 名の 3 診体制で、病棟は、無菌室 13 床を含む 58 床を有しており、数名のチーム体制で診療を行っております。

- ◎ 各種血液疾患に対する正確な診断、エビデンスに基づいた最新治療（抗がん剤治療、分子標的治療、免疫調節治療、がん免疫療法、輸血療法など）の実践  
当科は、日本成人白血病治療共同研究グループ (JALSOG)、日本臨床腫瘍研究グループ (JCOG) の他、全国の共同研究グループに多数所属し、活動しています。
- ◎ 造血器腫瘍、骨髄不全などの適応症例に対する積極的な造血幹細胞移植の施行  
当院は、日本造血細胞移植学会より「日本骨髄バンク及び公的さい帯血バンクから提供される造血幹細胞を用いて移植を施行する施設」として認定されています。2023 年度は同種移植 24 件、自家移植 8 件実施しました。
- ◎ 各科との連携による全身性疾患や合併症に対する質の高い診療の提供
- ◎ 多職種との連携による患者のライフステージに応じた切れ目のない医療の提供  
緩和ケアセンター、がん相談支援センターと連携し、思春期・若年成人 (AYA) 世代の造血器腫瘍患者への対応、移植後長期フォローアップ、及び終末期医療への対応を行なっています。
- ◎ 患者さんやご家族との間での適切なインフォームドコンセントの追求
- ◎ 患者さんのご希望を尊重したアドバンス・ケア・プランニングの実践
- ◎ 他院からのセカンドオピニオンへの対応

### 輸血・細胞 治療センターの ご案内

- ◎ 当院は、日本輸血・細胞治療学会が定める「各施設において、適切な輸血管理が行われているか否かを第三者によって点検し、安全を保証する制度 (I&A 制度)」に準拠した輸血機能評価認定施設です。
- ◎ 内科系、外科系診療科において、血液製剤および血漿分画製剤が必要な症例に対し、安全かつ適正な製剤を提供し、副作用などを管理しています。
- ◎ 造血器腫瘍や固形腫瘍治療などに用いる自家末梢血幹細胞の採取や保管管理、成人や小児の造血器疾患に対する同種造血幹細胞移植（骨髄、末梢血、臍帯血）や CAR-T 細胞療法 (TOPICS2) などの治療用細胞製剤に用いる細胞の処理や保管管理などを行っています。



担当医師

1 役職/職位 2 出身大学 3 専門分野 4 専門医資格



辰巳 陽一

- 1 教授 2 近畿大学
- 3 白血球系疾患、造血器腫瘍、出血性疾患、造血幹細胞疾患
- 4 血液専門医



田中 宏和

- 1 教授 2 浜松医科大学
- 3 造血器腫瘍、造血幹細胞移植
- 4 総合内科専門医・血液専門医



森田 泰慶

- 1 准教授/医局長・病棟医長 2 近畿大学
- 3 造血器腫瘍、造血幹細胞疾患
- 4 総合内科専門医・血液専門医



平瀬 主税

- 1 講師 2 近畿大学
- 3 造血器腫瘍
- 4 総合内科専門医・血液専門医



芹澤 憲太郎

- 1 講師/外来医長 2 近畿大学
- 3 造血器腫瘍、造血幹細胞移植
- 4 総合内科専門医・がん薬物療法専門医・血液専門医



口分田 貴裕

- 1 医学部講師 2 近畿大学
- 3 造血器腫瘍、造血幹細胞移植
- 4 総合内科専門医・がん薬物療法専門医・血液専門医

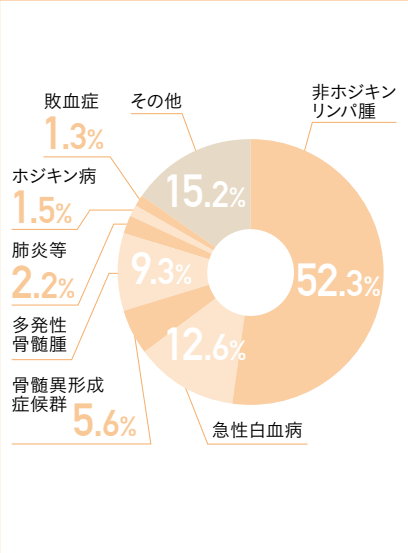
医師名	役職/職位	出身大学	専門分野	専門医資格
角谷 宏明	助教	近畿大学	造血器腫瘍、造血幹細胞移植	血液専門医
藤井 晶	助教	近畿大学	造血器腫瘍、造血幹細胞移植	血液専門医
藤本 昂	助教	川崎医科大学	造血器腫瘍、造血幹細胞移植	血液専門医
波江野 高大	助教	近畿大学	造血器腫瘍、造血幹細胞移植	血液専門医
井上 舞子	助教	近畿大学	造血器腫瘍、造血幹細胞移植	—
三宅 義昭	助教	近畿大学	造血器腫瘍、造血幹細胞移植	—

TOPICS 1 最良で最先端の医療の追求

これまで造血器腫瘍の多くは難治性疾患とされてきました。しかし、近年の分子生物学、分子遺伝学における技術革新により、疾患の原因となる遺伝子異常などの分子病態が明らかにされ、これら異常に対する分子標的薬、抗体薬、細胞製剤など新たな治療薬が数多く開発されています。腫瘍特異的で、副作用の少ない治療薬の登場は、従来の抗がん剤中心の造血器腫瘍の治療方針を大きく変え、治療成績は大きく改善してきています。また、ゲノム情報などの解析

結果を元にした個別化医療への応用も試みられています。当院の血液内科では、新規治療薬の有効性や安全性を明らかにするための治験や臨床研究に積極的に参加し、最良で最先端の医療の追求に取り組んでいます(2024年4月時点の治験数：急性白血病6件、骨髄異形成症候群/骨髄増殖性腫瘍12件、慢性白血病5件、悪性リンパ腫26件、骨髄腫3件、その他3件 (<https://www.med.kindai.ac.jp/gancenter/cts.html> に一部掲載))。

疾患別診療実績 (患者数割合)



TOPICS 2 革新的治療法の実践

近年、急性リンパ性白血病、悪性リンパ腫、慢性リンパ性白血病などのB細胞性腫瘍や多発性骨髄腫に対する新規治療法として、「キメラ抗原受容体 (Chimeric antigen receptor : CAR-) T細胞療法」が注目されています。CAR-T細胞療法は、CAR遺伝子導入T細胞によりがん抗原を特異的に認識し、抗腫瘍効果を発揮させる養子免疫細胞療法の一つです。特にCD19抗原を標的としたCAR-T療法は、再発・難治性B細胞性腫瘍に対して、これまでの治療法をはるかに上回る成績をもたらすことが報告されています。2019年5月本邦でもCD19 CAR-T細胞療法が再発・難治性の急性リンパ性白血病、およびびまん性大細胞型B細胞性リンパ腫に承認され、公的医療保険の適応となりました。当科は、輸血・細胞治療センター、臨床検査部、再生医療部や病院事務部門と連携し、2021年8月治療提供可能施設としての認定を受けました。その後適応の異なる2製剤についても認定を受け、これまで自施設および近隣の病院から紹介いただいた悪性リンパ腫症例を対象に、2024年4月時点で39例にCAR-T細胞療法を実施しております。

# 血液・膠原病内科 (膠原病グループ)



責任者 木下 浩二 教授  
 出身大学 近畿大学  
 専門分野 リウマチ・膠原病一般、腎臓病一般、アレルギー性疾患  
 専門医資格 総合内科専門医・リウマチ専門医・腎臓専門医・アレルギー専門医

## 特殊〔専門〕疾患

### ● リウマチ科一般

関節リウマチ、成人スティル病、リウマチ性多発筋痛症、脊椎関節炎(強直性脊椎炎、乾癬性関節炎、掌蹠膿疱症、反応性関節炎、炎症性腸疾患に伴う関節炎)など

### ● 膠原病内科一般

全身性エリテマトーデス、シェーグレン症候群、ベーチェット病、強皮症、多発性/皮膚筋炎、混合性結合組織病、高安動脈炎、結節性多発動脈炎、顕微鏡的多発血管炎、多発血管炎性肉芽腫症、好酸球性多発血管炎性肉芽腫症、IgG4関連疾患、IgA血管炎、再発性多発軟骨炎など

## 診療内容

疾患名	治療方針
リウマチ疾患	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎リウマチの診断と治療</li> <li>◎生物学的製剤・分子標的薬によるリウマチの治療</li> </ul>
膠原病疾患	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎膠原病の診断と治療</li> <li>◎生物学的製剤・分子標的薬による膠原病の治療</li> <li>◎血液浄化療法(血漿交換療法・免疫吸着療法、白血球除去療法)による膠原病の治療</li> <li>◎膠原病に伴う合併症(ネフローゼ症候群、肺高血圧症、中枢神経及び末梢神経障害、蛋白漏出性胃腸症など)の治療</li> <li>◎膠原病性腎障害の治療経験が豊富である。</li> <li>◎膠原病性肺高血圧症の治療経験が豊富である。</li> <li>◎多彩な合併症を伴う膠原病症例の治療経験が豊富である。</li> <li>◎個々の障害の治療を専門とする院内多職種と緊密に連携をとって診療にあたる。</li> </ul>

## 担当医師

1 役職/職位 2 出身大学 3 専門分野 4 専門医資格



## 野崎 祐史

1 准教授/医局長 2 近畿大学  
3 リウマチ・膠原病一般、腎臓病一般、  
アレルギー性疾患  
4 総合内科専門医・リウマチ専門医・腎臓専門医  
アレルギー専門医



## 岸本 和也

1 医学部講師/病棟長 2 近畿大学  
3 リウマチ・膠原病一般  
4 リウマチ専門医

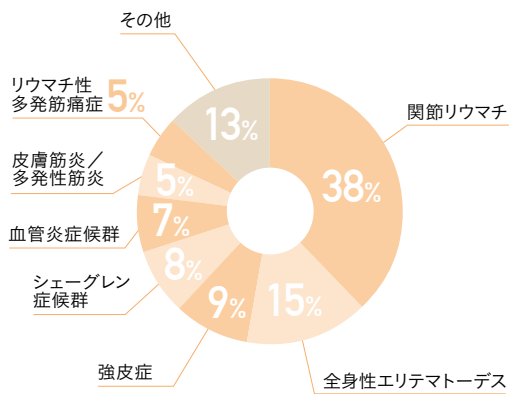


## 志賀 俊彦

1 医学部講師/外来医長 2 近畿大学  
3 リウマチ・膠原病一般、腎臓病一般  
4 総合内科専門医・リウマチ専門医・腎臓専門医

医師名	役職/職位	出身大学	専門分野	専門医資格
伊丹 哲	助教	近畿大学	リウマチ・膠原病一般	リウマチ専門医
富田 大介	助教	近畿大学	リウマチ・膠原病一般	リウマチ専門医
芦田 千聖	助教	近畿大学	リウマチ・膠原病一般	リウマチ専門医
石村 香織	助教	近畿大学	リウマチ・膠原病一般	—
山澤 広嵩	助教	近畿大学	リウマチ・膠原病一般	—
福田 里香	助教	兵庫医科大学	リウマチ・膠原病一般	リウマチ専門医
森本 祐美	助教	川崎医科大学	リウマチ・膠原病一般	—

## 疾患別診療実績 (患者数割合)



## TOPICS 1

リウマチのトータル・マネージメント  
を实践します

関節リウマチになると関節の痛みや変形が起こるだけでなく、関節以外にも内臓に様々な障害（間質性肺炎、胸膜炎、腎機能障害ほか）が出現するため、できるだけ早く適切な治療を受けなければなりません。さらに薬の合併症にも常に目を配る必要があります。当科では、近年、整形外科と協力して設立した「リウマチセンター」を通じて、看護部、薬剤部ならびに他の専門領域の診療科やリハビリテーション部、歯科などの多職種のスタッフと連携し、社会福祉制度の相談などを含むリウマチのトータル・マネージメントを遅滞なく行うことをモットーにしています。さらに、これまでのリウマチ診療と同時に、患者さんの状態に応じたケースバイケースの相談を受けるのに最適の部署への橋渡しを行う窓口として、諸問題に取り組んで参りますので、何なりとご要望下さい。

## TOPICS 2 全身性エリテマトーデス (SLE) について

関節リウマチの治療では、ピンポイントに病因物質を狙い撃ちにする「生物学的製剤」が使用され、劇的に症状を改善することがよく知られていますが、SLEでも同様に有効性が期待できる「生物学的製剤」が開発され使用できるようになってきました。SLEの病態にかかわる免疫細胞であるBリンパ球を標的としたベリムマブや炎症性サイトカインの一つであるインターフェロンαの受容体を標的とし

たアニフロルマブなどですが、いずれも疾患活動性、再発率が改善されステロイド使用量が減らせたという報告が出ています。当科ではこれらの薬剤の使用経験が豊富であり、また新規治療薬の治験や臨床研究にも積極的に取り組んでおります。診断や治療にお困りの症例がございましたらお気軽にご相談ください。



責任者／診療部長 有馬 秀二 主任教授

出身大学 東北大学

専門分野 腎臓病一般、血液浄化療法、高血圧

専門医資格 総合内科専門医・腎臓専門医・老年科専門医

## 特殊〔専門〕疾患

### 腎臓内科一般

- 急性糸球体腎炎
- 慢性糸球体腎炎
- IgA腎症
- ネフローゼ症候群
- ループス腎炎
- 急速進行性糸球体腎炎

- 糖尿病性腎症
- 間質性腎炎
- 急性腎不全
- 慢性腎不全
- 遺伝性腎疾患
- ANCA関連血管炎 など

### 高血圧内科一般

- 二次性高血圧症
- 治療抵抗性・難治性高血圧症
- 高血圧緊急症
- 妊娠高血圧症候群 など

## 診療内容

疾患名	治療方針
腎臓・高血圧疾患	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎腎臓病、二次性高血圧症・難治性高血圧症の診断と治療</li> <li>◎血液浄化療法（血液透析・腹膜透析・血漿交換療法・免疫吸着療法）による腎疾患・代謝性疾患の治療</li> <li>◎合併症や他臓器障害を伴う腎臓病、高血圧の治療</li> <li>◎糖尿病、脳心血管疾患、膠原病など、種々の基礎疾患を持つ腎臓障害の治療経験が豊富である。</li> <li>◎脳心血管リスクを考慮した慢性腎不全患者（透析患者を含む）の治療経験が豊富である。</li> <li>◎他院で治療に難渋する高血圧患者を積極的に受け入れている。</li> <li>◎循環器内科、内分泌・代謝・糖尿病内科、心臓血管外科、泌尿器科、産婦人科、放射線科など、多くの診療科と密に連携をとって診療にあたっている。</li> </ul>
多発性嚢胞腎	<p>多発性嚢胞腎は、腎臓に液体のたまった袋（嚢胞）が多数できる遺伝性の疾患です。決して珍しい病気ではなく、患者数は1000～2000名に1人と推測され、我が国では約1万人が本疾患が原因で慢性腎不全に至り透析治療を受けています。嚢胞は年齢とともに徐々に大きくなり、腎機能が悪化します。最終的には透析治療が必要な慢性腎不全に至ります。難病に指定されており、直接的な治療法はありませんが、嚢胞が大きくなることを抑えたり、腎機能悪化速度を低下させる可能性のあるトルバブタンという薬剤が保険適用になっています。この薬剤を内服すると尿量が非常に多くなりますので（1日7リットル程度）、脱水にならないよう気をつける必要があります。そのため、トルバブタンによる治療を行う場合には、治療開始の際に3泊4日程度の入院が必要となります。難病指定やトルバブタンによる治療に興味をお持ちの方は、お気軽に受診して下さい。また、ご家族に腎不全や透析を受けている方が多い場合には、本疾患を含めた遺伝性腎疾患（アルポート症候群、ファブリ病）の可能性もあります。早期介入により治療できる遺伝性腎疾患もありますので、心配されている方はお気軽にご相談ください。</p>



- 1 循環器内科
- 2 内分泌・代謝・糖尿病内科
- 3 消化器内科
- 4 血液・膠原病内科
- 5 腎臓内科
- 6 脳神経内科
- 7 腫瘍内科
- 8 呼吸器・アレルギー内科
- 9 メンタルヘルス科
- 10 小児科・思春期科
- 11 外科
- 12 脳神経外科
- 13 心臓血管外科
- 14 整形外科
- 15 皮膚科
- 16 形成外科
- 17 泌尿器科
- 18 眼科
- 19 耳鼻咽喉・頭頸部外科
- 20 産婦人科
- 21 放射線診断科
- 22 放射線治療科
- 23 麻酔科
- 24 歯科口腔外科
- 25 漢方診療科
- 26 リハビリテーション科
- 27 救急災害センター
- 28 その他センター

## 担当医師

1 役職/職位 2 出身大学 3 専門分野 4 専門医資格



### 中谷 嘉寿

- 1 准教授/医局長 2 大阪医科大学
- 3 腎臓病一般、血液浄化療法、糖尿病
- 4 総合内科専門医・腎臓専門医・糖尿病専門医



### 坂口 美佳

- 1 講師 2 近畿大学
- 3 腎臓病一般、血液浄化療法
- 4 総合内科専門医・腎臓専門医・透析専門医



### 村島 美穂

- 1 講師 2 京都大学
- 3 腎臓病一般、血液浄化療法
- 4 総合内科専門医・腎臓専門医・透析専門医



### 渡瀬 謙仁

- 1 医学部講師/病棟医長 2 徳島大学
- 3 腎臓病一般、血液浄化療法
- 4 総合内科専門医・腎臓専門医・透析専門医  
老年科専門医



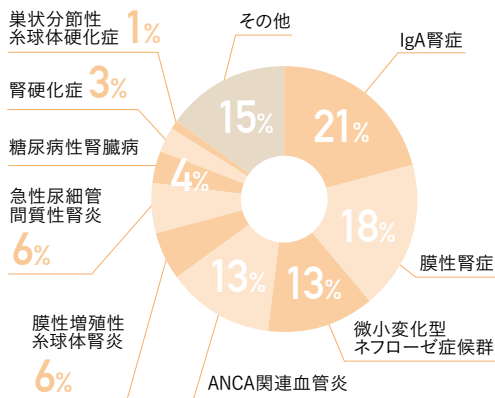
### 中野 志仁

- 1 医学部講師/外来医長 2 近畿大学
- 3 腎臓病一般、血液浄化療法
- 4 総合内科専門医・腎臓専門医

医師名	役職/職位	出身大学	専門分野	専門医資格
古林 法大	助教	近畿大学	腎臓病一般、血液浄化療法	腎臓専門医・透析専門医
清水 和幸	助教	近畿大学	腎臓病一般、血液浄化療法	総合内科専門医・腎臓専門医・透析専門医
高橋 実代	助教	愛知医科大学	腎臓病一般、血液浄化療法	腎臓専門医・透析専門医
岡田 宜孝	助教	近畿大学	腎臓病一般、血液浄化療法	—
三木 美帆	助教	愛知医科大学	腎臓病一般、血液浄化療法	—
福田 雄基	助教	近畿大学	腎臓病一般、血液浄化療法	—

## 腎生検による組織学診断を行った実績

2023年 症例数 100例



## CKD連携 紹介基準



\*尿蛋白/クレアチニン比  
\*\*年齢を考慮し、40歳未満はGFR60未満  
上記以外でも、新たに蛋白尿が検出された場合、比較的短期間に腎機能が悪化傾向を示した場合（1〜2月以内に30%あるもしくはそれ以上）などについても、ご紹介ください。  
また、尿疾患に隠れ腎臓病がある場合には、要に糖尿病専門医・専門医連携への紹介を考慮して下さい。  
\*CKD診療ガイドライン2018に基づいて作成しています  
制作：大阪府内科医会  
監修：大阪慢性腎臓病対策協議会 (O-CKD)

## TOPICS

### 大阪府における慢性腎臓病対策 (CKD 連携/専門医への紹介基準)

慢性腎臓病 (Chronic Kidney Disease: CKD) は慢性に経過する腎疾患の全てを含めた概念で、腎障害の存在 (尿蛋白など) と腎機能 (糸球体濾過値 GFR) の低下という2つの要素のいずれか、または両方が3か月以上持続する疾患です。極めて頻度が高く、国内の成人 CKD 患者数は約 1300 万人と推計されています。原因としては慢性糸球体腎炎などの原発性腎疾患に加えて、生活習慣病である糖尿病性腎症、高血圧性腎障害 (腎硬化症) の増加が目立ちます。CKD が進行して腎不全に至ってしまうと透析や腎移植が必要になっていくとともに、心筋梗塞や脳梗塞などの心血管病の合併リスクが高まります。大阪府ではかかりつけ医と専門医、および行政が診療連携ネットワーク (上図) を構築して積極的な CKD 対策を行っています。当院も基幹病院としてネットワーク作成に関与して参りました。腎臓病について疑問などがありましたら、ご紹介ください。



責任者/診療部長 永井 義隆 主任教授

出身大学 大阪大学

専門分野 神経内科一般、神経変性疾患

## 特殊〔専門〕疾患

### ● 変性疾患

パーキンソン病、脊髄小脳変性症、多系統萎縮症（シャイドレーガー症候群、線条体黒質変性症など）、ハンチントン病、眼瞼痙攣、ジストニア、本態性振戦、アルツハイマー病、筋萎縮性側索硬化症、筋ジストロフィー症など

### ● 免疫性疾患

多発性硬化症、視神経脊髄炎、自己免疫性脳炎、ADEM、神経ベーチェット病、ギラン・バレー症候群、フィッシャー症候群、慢性炎症性脱髄性多発根神経炎（CIDP）、重症筋無力症、多発性筋炎など

### ● 脳血管障害

脳梗塞、脳出血、一過性脳虚血発作、脳動脈硬化症、脳動脈瘤、高血圧性脳症など

### ● 感染性疾患

髄膜炎、脳炎、クロイツフェルトヤコブ病など

### ● 機能的疾患

頭痛（片頭痛、群発頭痛、筋緊張性頭痛など）、てんかん、腰痛症、三叉神経痛など

### ● その他

ミトコンドリア脳筋症、ATTRアミロイドーシス、周期性四肢麻痺、ベル麻痺など

### 〈下記の症状があればご紹介下さい。〉

頭痛、めまい、ふらつき、立ち眩み、ふるえ、脱力、けいれん、顔・手足の疼痛や感覚鈍麻、動作の不自由、歩行障害、眼瞼下垂、物忘れ、失神、意識障害など

（精神的な異常や心理的な障害などを中心とする場合は、当科の適応ではありません。）

## 診療内容

疾患名	治療方針
脳神経内科疾患全般	◎専門の神経内科医による病歴の聞き取りおよび詳しい神経学的診察を行い、MRIなどの画像診断、筋電図などの電気生理学的検査、自己抗体や遺伝子検査などの血液学的検査の結果をふまえて診断。その上で最新の知見に基づいた適切な治療を行います。また QOLを高めるよう日常生活指導も行います。入院症例については、毎週医局員全員が揃うカンファレンスで検討のうえ、診療方針を決定している。
変性疾患	◎最新の研究成果に基づく遺伝子診断を行っている。 また、顔面痙攣、痙攣斜頸などに、ボツリヌス注射を使用した治療を行っている。
免疫性疾患	◎ギラン・バレー症候群の診断に有用な「抗グングリオンド抗体」を教室内で測定し、早期の診断と治療開始をしている。また、新規治療薬候補の治験を行っている。

担当医師

1 役職/職位 2 出身大学 3 専門分野 4 専門医資格



三井 良之

- 1 教授 2 和歌山県立医科大学
- 3 神経内科一般、神経難病診療
- 4 総合内科専門医・神経内科専門医



西郷 和真

- 1 教授 2 近畿大学
- 3 神経内科一般、遺伝診療
- 4 神経内科専門医・臨床遺伝専門医



寒川 真

- 1 講師/病棟医長 2 近畿大学
- 3 神経内科一般、神経免疫疾患
- 4 総合内科専門医・神経内科専門医



福本 雄太

- 1 医学部講師/外来医長 2 近畿大学
- 3 神経内科一般
- 4 神経内科専門医



平野 牧人

- 1 教授 2 大阪大学
- 3 神経内科一般、遺伝診療
- 4 総合内科専門医・神経内科専門医・臨床遺伝専門医



桑原 基

- 1 講師/医局長 2 近畿大学
- 3 神経内科一般、神経免疫疾患
- 4 総合内科専門医・神経内科専門医



田港 朝也

- 1 医学部講師 2 東北大学
- 3 神経内科一般
- 4 神経内科専門医

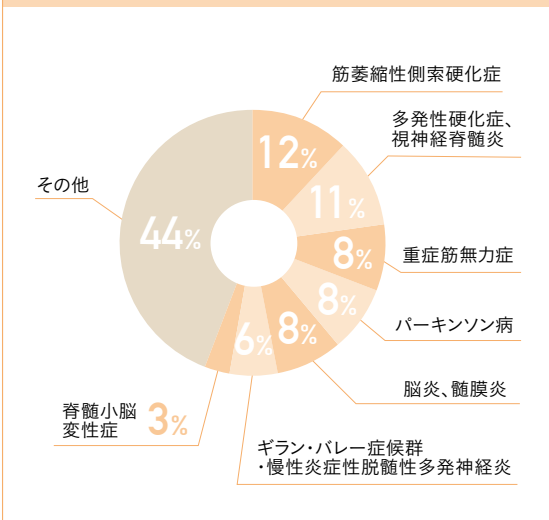


吉川 恵輔

- 1 医学部講師 2 近畿大学
- 3 神経内科一般
- 4 神経内科専門医

医師名	役職/職位	出身大学	専門分野	専門医資格
坂田 花美	助教	福岡大学	神経内科一般	—
森田 顕	助教	近畿大学	神経内科一般	—
名村 仁志	助教	近畿大学	神経内科一般	—
道浦 徹	助教	近畿大学	神経内科一般	—
久富 隆寛	助教	近畿大学	神経内科一般	—
平井 敦樹	助教	川崎医科大学	神経内科一般	—

疾患別診療実績 (患者数割合)



TOPICS

脳神経内科領域では、いわゆる「難病」とされる疾患が多く、従来は治療薬も限られておりました。しかし、近年では、稀少難病と言われる患者さんの数が少ない疾患でも、核酸医療 (ATTR アミロイドーシスなど)、酵素補充療法 (Fabry 病など) などの新規治療薬が導入されています。患者さんの多いパーキンソン病においても、新しい治療薬が続々と登場しており、近畿大学病院脳神経内科は、関西地区は言うに及ばず、全国の大学病院でもトップクラスの治療実績を有しております。また、神経免疫疾患でも、多発性硬化症における疾患修飾薬の充実、重症筋無力症、視神経脊髄炎などに対する生物学的製剤などが使用可能となりました。このほかの疾患でも、新たな治療薬、治療方法が導入され、治療の可能性が膨らんでいます。私たちも、治療の可能性を探求する診療を目指したいと考えておりますので、地域連携課を通じて、どうぞお問い合わせ下さい。



責任者／診療部長 林 秀敏 主任教授

出身大学 大阪大学

専門分野 肺がん、頭頸部がん、原発不明がん、薬物療法、免疫チェックポイント阻害薬、分子標的治療薬、新規抗がん剤の臨床試験

専門医資格 総合内科専門医・がん薬物療法専門医・呼吸器専門医

## 特殊〔専門〕疾患

- 肺がん、胸膜中皮腫、縦隔腫瘍
- 食道がん、胃がん、大腸がん
- 乳がん
- 頭頸部（咽喉頭・舌など）がん
- 肉腫、原発不明がん、その他希少がん
- その他全ての固形がんの薬物療法対象例

## 診療内容

### 治療方針

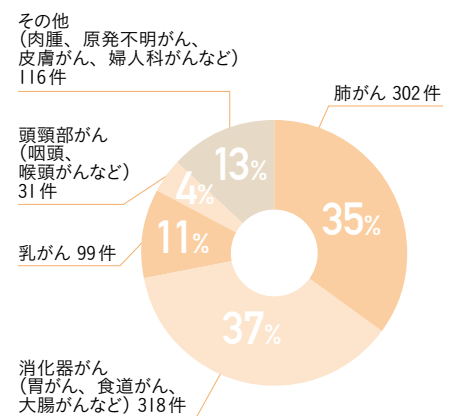
- ◎ 肺がん、食道がん、胃がん、結腸直腸がん、乳がん、頭頸部がん、肉腫、希少がん、その他固形がんに対する薬物療法
- ◎ 専門外来の設置
- ◎ 新規抗がん剤の使用、免疫チェックポイント阻害薬、分子標的治療薬を用いた治療など、がんの先端治療臨床試験（治験）への参加が可能
- ◎ 腫瘍外科医、放射線腫瘍医との密接な連携（カンサーボード）による集学的治療
- ◎ 薬物療法と並行した緩和ケア
- ◎ 気管支鏡、胸腔鏡、針生検などの検査による迅速な診断
- ◎ 遺伝子パネル検査とエキスパートによる解析、ゲノム診断
- ◎ 免疫チェックポイント阻害薬、分子標的治療薬等の副作用に対する専門的なマネジメント
- ◎ AYA世代や高齢者医療に関してもサポートチームを形成し、包括的に診療

### TOPICS |

現在がんの薬物治療は従来の抗がん剤に加えて、ある特殊ながん遺伝子の変化（変異）に対して効果を持つ分子標的治療薬や、患者さんの免疫を利用してがんを攻撃する免疫チェックポイント阻害薬の3本柱で行われています。特に近年では免疫チェックポイント阻害薬の治療範囲が拡大しており、現在では肺がん、胃がん、食道がん、頭頸部がん、乳がん、原発不明がん等様々ながん種で多くの患者さんが免疫チェックポイント阻害薬治療を受けられるようになりました。一方で免疫による特殊な副作用（免疫関連有害事象；肺炎や肝炎、皮膚炎、筋炎、糖尿病など多くのタイプの副作用があります）の対策も必要です。また、今後は新たなタイプの様々な免疫療法も登場することが予想されます。近畿大学病院腫瘍内科はいろいろな種類のがん患者さんの治療を行う腫瘍内科単科としては日本最大規模であり、数百件以上の免疫チェックポイント阻害薬による治療これまでに行っております。これらの治療経験や実績を生かし、さまざまな内科的疾患のトレーニングを受けた内科的治療の専門医師が免疫関連有害事象についても迅速に対応します。

### 疾患別診療実績（患者数割合）

#### 2023年新規患者数





担当医師

1 役職/職位 2 出身大学 3 専門分野 4 専門医資格



中川 和彦

- 1 特任教授 2 熊本大学
- 3 肺がんの早期診断・治療、固形がんの薬物療法、がんの分子標的治療、新規抗がん剤臨床試験、縦隔腫瘍の診断治療
- 4 -



米阪 仁雄

- 1 准教授 2 近畿大学
- 3 肺がんの診断、固形がんの薬物療法、呼吸器内視鏡、新規抗がん剤の臨床試験
- 4 がん薬物療法専門医



川上 尚人

- 1 特命准教授 2 熊本大学
- 3 消化器がん・固形がんの診断、薬物療法(免疫チェックポイント阻害剤、分子標的薬) 新規抗がん剤の臨床試験
- 4 総合内科専門医・消化器病専門医・がん薬物療法専門医



田中 薫

- 1 講師/外来医長 2 近畿大学
- 3 肺がん・頭頸部がん・固形がんの薬物療法、肺がんの診断(気管支鏡、CTガイド下肺生検)、新規抗がん剤の臨床試験
- 4 総合内科専門医・気管支鏡専門医・がん薬物療法専門医



吉田 健史

- 1 講師 2 近畿大学
- 3 固形がんの薬物療法、緩和ケア、新規抗がん剤の臨床試験
- 4 総合内科専門医・がん薬物療法専門医



岩朝 勤

- 1 講師/医局長 2 近畿大学
- 3 薬物療法、乳がんの薬物療法、肺がんの診断、呼吸器内視鏡、抗がん剤の臨床試験
- 4 がん薬物療法専門医



谷崎 潤子

- 1 医学部講師/病棟医長 2 近畿大学
- 3 肺がん・頭頸部がん・原発不明がんの薬物療法、薬物療法(免疫チェックポイント阻害剤、分子標的薬)、新規抗がん剤の臨床試験
- 4 総合内科専門医・がん薬物療法専門医



高濱 隆幸

- 1 医学部講師 2 香川大学
- 3 固形がんの診断・薬物療法、がんゲノム医療、新規抗がん剤の臨床試験
- 4 呼吸器専門医・がん薬物療法専門医



三谷 誠一郎

- 1 医学部講師 2 奈良県立医科大学
- 3 消化器がん・固形がんの薬物療法、新規抗がん剤(免疫チェックポイント阻害剤、分子標的薬)の臨床試験、消化器内視鏡
- 4 消化器内視鏡専門医・消化器病専門医・がん薬物療法専門医・総合内科専門医



稲垣 千晶

- 1 医学部講師 2 千葉大学
- 3 消化器がん・固形がんの薬物療法、新規抗がん剤(免疫チェックポイント阻害剤、分子標的薬)の臨床試験、消化器内視鏡
- 4 総合内科専門医・消化器病専門医・がん薬物療法専門医



渡邊 諭美

- 1 医学部講師 2 大阪市立大学
- 3 薬物療法、乳がんの薬物療法、肺がんの診断、呼吸器内視鏡、抗がん剤の臨床試験
- 4 がん薬物療法専門医

医師名	役職/職位	出身大学	専門分野	専門医資格
磯本 晃佑	助教	大阪市立大学	肺がんの診断、固形がんの薬物療法、新規抗がん剤の臨床試験、呼吸器内視鏡	呼吸器専門医・がん薬物療法専門医
金村 宙昌	助教	熊本大学	肺がんの診断、固形がんの薬物療法 新規抗がん剤の臨床試験、呼吸器内視鏡	呼吸器専門医・がん薬物療法専門医
鈴木 慎一郎	助教	金沢医科大学	肺がんの診断、固形がんの薬物療法 新規抗がん剤の臨床試験、呼吸器内視鏡	-
川中 雄介	助教	近畿大学	固形がんの薬物療法、固形がんの薬物療法 抗がん剤の臨床試験	総合内科専門医
黒崎 隆	助教	筑波大学	固形がんの薬物療法、固形がんの薬物療法 抗がん剤の臨床試験	総合内科専門医
土肥 和佳	助教	琉球大学	肺がんの診断、固形がんの薬物療法 抗がん剤の臨床試験	総合内科専門医
大倉 将生	助教	近畿大学	固形がんの薬物療法、固形がんの薬物療法 抗がん剤の臨床試験	-

TOPICS 2

がんの持つ分子を攻撃する有効な分子標的治療薬使用の機会を増やすためには適切ながんゲノム診断 (Comprehensive Genomic Profiling: CGP) が必要であり、迅速に腫瘍組織採取を行うことで腫瘍の DNA や RNA を使用して検査します。ただしゲノム情報はいわゆるビッグデータであり膨大なデータの専門家による解釈が重要です。腫瘍内科では腫瘍組織採取からゲノムデータの解釈まで一連の流れを全て行うことが可能であり、近畿大学ゲノムセンターおよび医学部ゲノム生物学教室と共同して多数の解析経験を有しております。加えて、

あらたながん遺伝子に対しての新薬を皆様が使用できるようにするための治験も多くのがん腫の患者さんに対して積極的に行っておりますのでお気軽にご相談ください。最近では新たなタイプの薬剤である抗体薬物複合体 (ADC、抗体薬に既存の抗がん剤が結合することでがん細胞を選択的に攻撃する) が開発され、既に乳がん、胃がん、肺がんで広く使用されています。近畿大学はこれらの臨床開発にも初期から関わっており今後患者さんに新たな治療を提供できると考えております。

責任者/診療部長 松本 久子 主任教授

出身大学 京都大学

専門分野 呼吸器疾患、重症喘息、気管支拡張症・難治性気道疾患、COPD、慢性咳嗽、アレルギー内科

専門医資格 総合内科専門医・呼吸器専門医・アレルギー専門医・感染症専門医  
気管支鏡専門医

## 特殊 [専門] 疾患

## ● 呼吸器疾患

気管支喘息、COPD(慢性閉塞性肺疾患)、慢性咳嗽  
間質性肺疾患(特発性間質性肺炎など)、サルコイドー  
シス、気管支拡張症、呼吸器感染症、肺非結核性抗酸  
菌症・肺結核、急性(ARDS)・慢性呼吸不全、睡眠時無  
呼吸症候群、肺高血圧症、職業性肺疾患(じん肺、ア  
スベスト肺など)、肺がん、胸膜炎、気胸など

## ● アレルギー性疾患(含 好酸球性疾患)

アレルギー性気管支肺真菌症、好酸球性多発血管炎  
性肉芽腫症、好酸球性肺炎・好酸球增多症  
過敏性肺炎、薬剤性肺炎など

ハチアレルギー、食物アレルギー、花粉症など

## Q 診療内容

疾患名	治療方針
呼吸器疾患	<p>幅広い呼吸器疾患に対応し高度かつ専門的な医療を提供できるように体制を整えています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◎気管支喘息の診断と治療(Topics 1参照)</li> <li>◎COPD(慢性閉塞性肺疾患)の診断と治療・禁煙指導</li> <li>◎吸入薬に対する正しい知識の提供と適切な吸入指導</li> <li>◎慢性咳嗽をきたす疾患の鑑別と治療(Topics 1参照)</li> <li>◎睡眠時無呼吸症候群に対するポリソムノグラフィーを用いた診断と治療(持続陽圧呼吸、歯科口腔外科連携で口腔内装置作成など)・睡眠相後退症候群などの概日リズム睡眠障害</li> <li>◎間質性肺疾患の診断と治療(Topics 2参照)</li> <li>◎気管支拡張症・呼吸器感染症の診断と治療</li> <li>◎慢性呼吸器疾患患者の運動耐用能の評価・包括的呼吸リハビリテーション(リハビリテーション科と連携)</li> <li>◎急性呼吸不全・慢性呼吸器疾患の急性増悪に対する集学的治療</li> <li>◎慢性呼吸不全患者に対する在宅酸素療法、在宅人工呼吸療法</li> <li>◎肺高血圧症の診断(右心カテーテル検査)と選択的肺血管拡張薬による治療</li> <li>◎呼吸器系難病に対する評価と治療・管理</li> </ul>
アレルギー性疾患	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎好酸球性多発血管炎性肉芽腫症に対する分子標的(抗IL-5抗体)治療</li> <li>◎スギ花粉症、ダニアレルギーに対する舌下免疫療法(アレルギーセンターと連携)</li> <li>◎ハチアレルギーに対する免疫療法・食物アレルギー患者に対する食物負荷テスト(アレルギーセンターと連携)</li> </ul>

## TOPICS 1

吸入ステロイド薬や種々の併用薬の開発により、多くの喘息患者さんのコントロールは良好になってきましたが、5～10%にコントロール不良で、経口ステロイド薬を長期に必要とする重症喘息の方がおられます。この重症喘息に対しても生物学的製剤である抗IgE、IL-5、IL-5受容体、IL-4受容体、TSLP抗体が使える様になり、経口ステロイドから離脱できる方が増えています。また日常生活のQOLを障害する難治性慢性咳嗽に対しても新薬

が使えるようになりました。さらに湿性咳嗽で消耗する気管支拡張症に対しては、呼吸リハビリを含めた集学的治療をおこなっています。またこれらの疾患に対して新薬が開発されており、当科でも治験に参加しています。重症喘息、慢性難治性咳嗽、気管支拡張症でお困りの場合は是非ご紹介ください。

担当医師

1 役職/職位 2 出身大学 3 専門分野 4 専門医資格



東田 有智

- 1 特任教授 2 近畿大学
- 3 呼吸器内科、アレルギー内科
- 4 アレルギー専門医・呼吸器専門医  
気管食道科専門医



原口 龍太

- 1 教授 2 近畿大学
- 3 喘息の診断と治療、アレルギー性呼吸器疾患の診断と治療、慢性閉塞性肺疾患の診断と治療、呼吸器リハビリテーション他
- 4 アレルギー専門医・呼吸器専門医



吉田 耕一郎

- 1 教授 2 川崎医科大学
- 3 呼吸器感染症、院内感染対策、深在性真菌症
- 4 総合内科専門医・感染症専門医



岩永 賢司

- 1 教授 2 近畿大学
- 3 気管支喘息、呼吸器疾患、アレルギー性肺疾患、成人アレルギー、ハチアレルギー
- 4 総合内科専門医・アレルギー専門医・気管支鏡専門医  
呼吸器専門医



佐野 博幸

- 1 教授 2 鳥取大学
- 3 気管支喘息の診断と治療、アレルギー性肺疾患の診断と治療、COPDの診断と治療
- 4 アレルギー専門医・呼吸器専門医  
呼吸器内視鏡専門医



西山 理

- 1 准教授 2 名古屋大学
- 3 間質性肺炎、慢性閉塞性肺疾患、びまん性肺疾患、呼吸リハビリテーション、肺高血圧症、肺感染症
- 4 総合内科専門医・アレルギー専門医・気管支鏡専門医  
呼吸器専門医・感染症専門医・がん薬物療法専門医  
気管食道科専門医



佐野 安希子

- 1 医学部講師/病棟医長 2 鳥取大学
- 3 気管支喘息の診断と治療、アレルギー性疾患の診断と治療
- 4 総合内科専門医・アレルギー専門医・呼吸器専門医  
気管支鏡専門医・感染症専門医



西川 裕作

- 1 医学部講師/医局長 2 近畿大学
- 3 呼吸器疾患、アレルギー疾患
- 4 総合内科専門医・アレルギー専門医・呼吸器専門医



大森 隆

- 1 医学部講師/外来医長 2 近畿大学
- 3 呼吸器疾患、アレルギー疾患
- 4 -

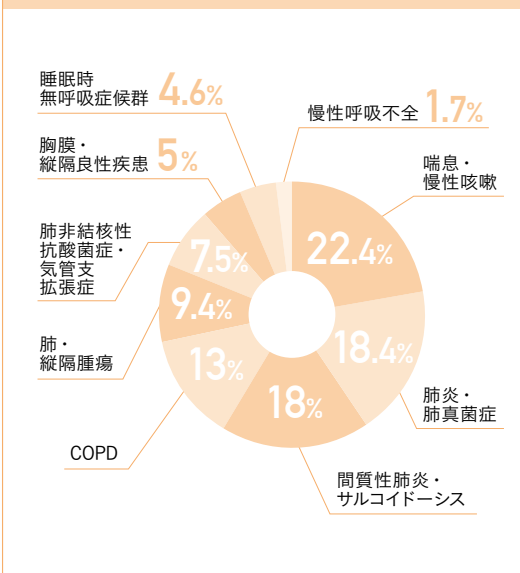


山崎 亮

- 1 医学部講師 2 近畿大学
- 3 呼吸器疾患、アレルギー疾患、間質性肺炎、びまん性肺疾患、呼吸リハビリテーション、肺高血圧症
- 4 呼吸器専門医

医師名	役職/職位	出身大学	専門分野	専門医資格
御勢 久也	助教	近畿大学	呼吸器疾患、アレルギー疾患	呼吸器専門医・アレルギー専門医
白波瀬 賢	助教	近畿大学	呼吸器疾患、アレルギー疾患	呼吸器専門医・アレルギー専門医
吉川 和也	助教	近畿大学	呼吸器疾患、アレルギー疾患	呼吸器専門医・アレルギー専門医
國田 裕貴	助教	近畿大学	呼吸器疾患、アレルギー疾患	-

外来疾患別診療実績 (患者数割合)



TOPICS 2

間質性肺疾患には、特発性間質性肺炎、膠原病関連肺疾患、薬剤性肺疾患、過敏性肺炎、職業関連肺疾患、リンパ増殖性肺疾患、サルコイドーシスなど、多くが含まれます。診断には肺の組織所見が重要ですが、近年経気管支凍結生検法(クライオ肺生検)が可能となりました。気管支鏡によって大きな肺組織の採取ができ、外科的肺生検に代わる手技として期待されています。また、診断精度向上のため呼吸器内科医、放射線科医、病理医による合議(MDD: multidisciplinary discussion)も重要とされています。私たちも、クライオ肺生検、MDDを取り入れ、間質性肺疾患の診断を積極的に行っています。

治療も近年大きく進歩しました。従来のステロイド薬や免疫抑制薬に加えて抗線維化薬が使用可能となっており、ほぼすべての間質性肺疾患でいずれかの薬剤治療が可能となっています。新薬の開発に伴い、当科でも治験に参加していますので、間質性肺疾患でお困りの場合は、是非ご紹介ください。



責任者／診療部長 橋本 衛 主任教授

出身大学 大阪大学

専門分野 精神科全般、老年期精神医学（認知症、うつ病）、高次脳機能障害

専門医資格 精神科専門医・（※）

## 特殊〔専門〕疾患

児童期、思春期、青年期、成人期、老年期におけるこころの病を幅広く扱っています。

- 児童期……注意欠如・多動症や自閉スペクトラム症、チック症といった神経発達症や不安症、不登校など
- 思春期、青年期……不登校、不安症、うつ病や双極性障害などの気分障害、統合失調症など
- 成人期……うつ病や双極性障害などの気分障害、統合失調症、不安症、ストレス関連障害など
- 老年期……認知症、うつ病、不安症など

## 診療内容

### 治療方針

- ◎精神疾患全般についての外来診療
- ◎専門外来……児童期、統合失調症、認知症など
- ◎難治性うつ病、双極性障害に対する無けいれん通電治療
- ◎治療抵抗性統合失調症に対するクロザピン治療
- ◎コンサルテーション・リエゾン精神医療
- ◎光トポグラフィー検査を用いた抑うつ症状の鑑別診断補助

### 特色

- ◎認知症の早期診断、早期治療・精神症状・行動障害の治療
- ◎高次脳機能障害の評価と診断
- ◎最新の薬物療法と心理社会的アプローチによる統合的診療
- ◎うつ状態の鑑別診断と治療
- ◎双極性障害（躁うつ病）の薬物療法とサイコエデュケーション
- ◎身体因性精神障害（症状精神病・器質性精神障害）、認知症の鑑別診断と治療
- ◎児童思春期の精神疾患・発達障害の診断評価と治療
- ◎自殺企図者のケア
- ◎緩和ケア



担当医師

1 役職/職位 2 出身大学 3 専門分野 4 専門医資格



柳 雅也

- 1 准教授/医局長
- 2 神戸大学
- 3 精神科全般、気分障害(双極性障害・うつ病)
- 4 精神科専門医・(※)



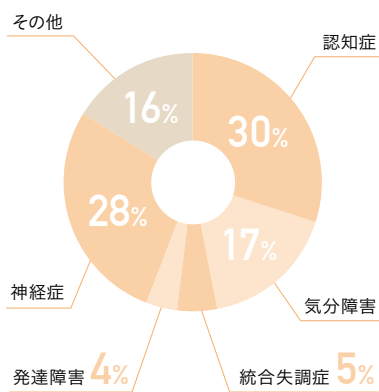
佐久田 静

- 1 医学部講師
- 2 熊本大学
- 3 精神科全般
- 4 精神科専門医・(※)

医師名	役職/職位	出身大学	専門分野	専門医資格
安達 融	助教/病棟医長	近畿大学	精神科全般	精神科専門医・(※)
山形 祥礼	助教/外来医長	川崎医科大学	精神科全般	精神科専門医・(※)
森本 拓頌	助教	近畿大学	精神科全般	(※)
林 宏樹	助教	近畿大学	精神科全般	—
瀧川 清統	助教	近畿大学	精神科全般	—
中田 翼	助教	近畿大学	精神科全般	—

(※)…精神保健指定医

疾患別診療実績 (患者数割合)



TOPICS 1 認知症専門医療

当科では、南大阪地域にお住いの認知症患者さんに対して、脳神経内科、リハビリテーション科、放射線診断科の医師と協働で、認知症診断外来を実施しております。この外来では、初期の認知症なのかそれとも老化の範囲なのかの判断が難しい患者さんや、他院では診断できなかったような難しい患者さんを、地域の先生方からご紹介いただき、詳細な認知機能検査や、最先端の脳画像検査を活用して診断を行っています。診断後は詳細な検査結果や今後の治療方針などをご紹介くださった先生方にお伝えし、その後の治療については原則として地域のかかりつけの先生方をお願いしております。

ただ認知症の患者さんの中には、妄想や不安、怒りっぽさなどの精神症状を伴う方もおられます。このような患者さんに対しては、メンタルヘルス科に所属する認知症専門医が適切に対応しますので、安心して受診ください。認知症は10年以上もの長期に亘って経過する慢性疾患です。認知症患者さんが住み慣れた地域でその人らしい生活を送ることができるよう、当科では院内だけではなく、院外のさまざまな医療機関や福祉施設とも連携しながら、患者さんとご家族を支えていきたいと思っております。

TOPICS 2 アルツハイマー病の新規治療薬について

アルツハイマー病は脳の中にアミロイドβと呼ばれるたんぱく質が異常に蓄積し、神経細胞が障害されることによって記憶や判断力などの認知機能が低下し、日常生活に支障が生じる病気です。従来の治療薬は病気の原因であるアミロイドβを取り除くことができず、病気の進行を遅らせることはできませんでした。しかし令和5年12月に、本邦で初めてアミロイドβを取り除き、認知症の進行を遅らせる薬剤(レカネマブ)が発売されました。当科では、このレカネマブ治療を令和6年3月から開始しています。しかしながら、レカネマブの対象となる患者さんは、軽度認知障害または軽度認知症であること、その原因がアルツハイ

マー病であることが必要です。また投薬は2週間に1回の点滴静注であり、1年半の期間、治療を続ける必要があります。さらにこの治療を安全に受けていただくため、頭部MRIで出血や浮腫がないことを確認し、投与開始後もMRI検査を繰り返し行い、副作用の有無を確認する必要があります。このようにレカネマブの治療については多くの制約があるため、地域からの治療のご要望に対して十分にこたえることができておりません。できるだけ多くの患者さんにレカネマブ治療を提供するためには、地域の医療機関と連携して治療に取り組む必要がありますので、皆様のご協力を期待しております。



責任者／診療部長 杉本 圭相 主任教授

出身大学 近畿大学

専門分野 腎臓疾患、ネフローゼ症候群、膠原病、リウマチ性疾患、夜尿症

専門医資格 小児科専門医・腎臓専門医

## 特殊〔専門〕疾患

- 腎臓病・腎不全
- 夜尿症
- 血液疾患（白血病、再生不良性貧血など）
- 内分泌（低身長症・甲状腺疾患など）
- 悪性新生物（神経芽細胞腫、悪性リンパ腫など）
- アレルギー疾患（アトピー性皮膚炎、喘息、食物アレルギー）
- 先天性免疫不全症
- 膠原病（全身性エリテマトーデス）、リウマチ性疾患
- 神経（主にてんかん）・筋疾患
- 糖尿病
- 感染症
- 発達障害
- 消化器疾患
- ワクチン外来

## 診療内容

疾患名	治療方針
NICU	・新生児診療相互援助システム（NMCS）の機関病院としての低出生体重児・ハイリスク新生児の治療と発達管理
腎・膠原病	・腎生検による組織診断に基づいた腎疾患・ネフローゼ症候群の治療方針の決定 ・難治性ネフローゼ症候群に対するリツキシマブによる治療や LDL 吸着療法 ・難治性 IgA 腎症に対する扁桃腺摘出療法 ・透析、移植を含めた慢性腎不全の管理 ・小児リウマチ性疾患・膠原病に対する生物学的製剤の使用 ・難治性夜尿症に対するアラーム療法を含めた集学的治療
アレルギー	・小児気管支喘息、アトピー性皮膚炎の治療と管理 ・難治性気管支喘息に対する生物学的製剤の使用 ・食物アレルギーに対する診断と食物経口負荷試験
血液腫瘍	・白血病・難治性血液疾患に対する幹細胞移植療法、生物学的製剤治療、生体外での腫瘍細胞の薬剤感受性検査に基づいた化学療法
代謝・内分泌	・成長ホルモン分泌不全症に伴う低身長症や思春期早発症などに対する成長ホルモン療法
発達障害・心身症など	・発達障害児に対する各種検査に基づく診断と治療 ・心身症、神経性やせ症などに対する検査やカウンセリングに基づく診断と治療 ・起立性調節障害の診断と治療
心臓	・先天性心疾患の診断および術前・術後の管理…心エコー、心臓カテーテル、多列 CT、MRIなどを用いての診断。手術に向けての内科治療。手術後の運動・生活管理。成人期に達した場合も小児循環器成人外来で治療を続けます。 ・カテーテル治療（カテーテル・インターベンション）…不整脈に対するカテーテル・アブレーション、肺動脈および大動脈狭窄（縮窄）に対する血管拡張術、肺動脈弁・大動脈弁狭窄に対する弁形成術、動脈管開存に対するコイル閉鎖術、術後病変のステント治療などを年間 50 件以上行っている。 ・川崎病の急性期治療および心後遺症を持つ児の長期管理（バイパス手術後の管理も含む） ・遠隔診断を含めた胎児心エコーにての先天性心疾患の出生前診断と管理

担当医師

1 役職/職位 2 出身大学 3 専門分野 4 専門医資格



和田 紀久

- 1 教授 2 愛知医科大学
- 3 新生児疾患
- 4 小児科専門医・周産期(新生児)専門医



稲村 昇

- 1 教授 2 旭川医科大学
- 3 先天性心疾患、成人先天性心疾患、胎児心臓病学、カテーテルインターベンション、画像診断
- 4 小児科専門医・小児循環器専門医



坂田 尚己

- 1 准教授 2 和歌山県立医科大学
- 3 血液疾患・悪性腫瘍
- 4 小児科専門医・血液専門医



丸谷 怜

- 1 講師/医局長 2 近畿大学
- 3 先天性心疾患、川崎病心病変
- 4 小児科専門医・小児循環器専門医



平松 英文

- 1 講師 2 京都大学
- 3 血液疾患・悪性腫瘍
- 4 小児科専門医・血液専門医



竹村 豊

- 1 医学部講師/病棟医長 2 近畿大学
- 3 アレルギー疾患
- 4 小児科専門医・アレルギー専門医



宮崎 紘平

- 1 医学部講師/外来医長 2 近畿大学
- 3 腎疾患・ネフローゼ症候群、膠原病、感染症
- 4 小児科専門医・腎臓専門医

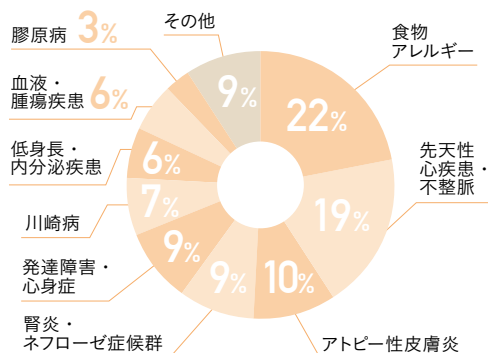


小西 悠平

- 1 医学部講師 2 近畿大学
- 3 新生児疾患
- 4 小児科専門医・周産期(新生児)専門医

医師名	役職/職位	出身大学	専門分野	専門医資格
今岡 のり	助教	近畿大学	先天性心疾患、胎児心臓病学、川崎病心病変	小児科専門医・小児循環器専門医
長井 恵	助教	近畿大学	アレルギー疾患	小児科専門医・アレルギー専門医
益海 大樹	助教	近畿大学	アレルギー疾患	小児科専門医・アレルギー専門医
西 孝輔	助教	近畿大学	先天性心疾患	小児科専門医・小児循環器専門医
龍神 雅子	助教	近畿大学	小児一般、心身症、発達障害	小児科専門医
森本 優一	助教	川崎医科大学	腎疾患・ネフローゼ症候群、膠原病	小児科専門医
益海 英樹	助教	近畿大学	小児一般、先天性心疾患、	小児科専門医
久家 沙希那	助教	近畿大学	小児一般、新生児疾患	小児科専門医
上原 悠	助教	川崎医科大学	小児一般	小児科専門医
笹井 美伶	助教	近畿大学	小児一般、新生児疾患	小児科専門医

疾患別診療実績(患者数割合)



TOPICS 近隣医療機関の皆様へのメッセージ

当科では、幅広い年齢層への幅広い診療が求められる新生児・小児医療に可能な限り対応すべく、各領域のスペシャリストを配置しております。また、小児期を越えた思春期では不定愁訴や、心の問題を抱える患者さんが多いことから新規患者さんご紹介年齢も18歳未満とし、思春期、若年成人にわたる診療を心がけております。その他、私たちの主な取り組みとして、患者さんの紹介依頼に迅速に対応すべくダイレクトコールを開始したことや、ドクターカーによる新生児受け入れ搬送がございます。医学部・大学病院として、重要な使命である教育・研究領域の発展には、大学病院への患者さん・ご家族の受診があって成り立つものであり、ひいては近隣医療機関の皆様からのご紹介、ご支援があつてのことです。少しでも気になる症状がある、検査と診断のみのご依頼なども含め、ご遠慮なくご相談ください。子どもたちの成長と大阪南部の小児医療を守るため、今後もより一層の連携をお願いいたします。



スクナビ(ブログ)



KINDAI\_SUKUNABI



責任者/診療部長 安田 卓司 主任教授

出身大学 大阪大学

専門分野 食道がん・胃がんに対する外科治療を中心とした集学的治療

専門医資格 外科専門医・消化器外科専門医・気管食道科専門医

消化器内視鏡専門医・消化器病専門医

## 特殊[専門]疾患

食道がん・胃がんに対する高度医療を提供する専門施設で、外科・内科・放射線科の密な連携の基に最先端で最良の治療を提供しています。また、良性腫瘍や機能性疾患ならびに緊急性疾患にも幅広く対応しています。

- 食道がん（当院は南大阪唯一の食道外科専門医認定施設です）
- 食道胃接合部がん
- 胃がん（日本胃癌学会施設認定 A施設）
- その他の悪性疾患または良性腫瘍疾患
- 食道運動機能性疾患または憩室・ヘルニア
- 食道または胃の緊急性疾患
- 術後再建困難症例など（いつでもご相談ください）

## 診療内容

疾患名	治療方針
頸部食道がん	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎「導入化学療法または導入化学放射線療法+手術」による喉頭温存手術～“声を残してがんを治す”</li> <li>◎独自に開発した嚥下補助術式の追加で術後の誤嚥を防止し、喉頭温存手術の質と安全性を向上</li> <li>◎高度進行がん（気管や血管に浸潤、気管瘻形成、頸胸境界部進行症例）に対する拡大手術（縦隔気管孔手術など）</li> </ul>
胸部食道がん	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎全ての進行度に対して胸腔鏡および腹腔鏡の拡大視効果を駆使した精緻で確実・安全な切除</li> <li>◎手術の低侵襲化を目指した腹臥位による完全胸腔鏡下食道切除術の積極導入</li> <li>◎超進行がんでも胸腔鏡で完全切除</li> <li>◎再発予防による根治性の大幅な向上を目指した強力かつ最新の術前化学療法の積極的導入</li> <li>◎嚥下機能を考慮した再建術式の選択</li> <li>◎術中迅速免疫組織診断に基づく頸部郭清の省略</li> <li>◎気管や大動脈浸潤が疑われる切除困難症例に対する集学的治療</li> <li>◎根治的放射線療法後のサルベージ手術</li> <li>◎胃切除の既往のある症例に対する有茎空腸または結腸再建術</li> </ul>
食道胃接合部がん	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎早期例に対する機能温存を目指した「腹腔鏡下（胃噴門側+下部食道）切除術」</li> <li>◎進行例における成績向上を目指した術前化学療法</li> <li>◎進行例に対する胃管高位胸腔内吻合による嚥下機能の温存と手術の低侵襲化</li> </ul>
胃がん	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎早期例では腹腔鏡下胃切除術の積極的適応</li> <li>◎ロボット支援下手術も積極的導入</li> <li>◎胃噴門部早期がんに対する我々独自開発の逆流防止機構付腹腔鏡下胃噴門側切除術</li> <li>◎スキルスまたは大型胃がんに対する術前化学放射線療法+手術</li> <li>◎腹膜播種陽性胃がんに対する腹腔内化学療法</li> </ul>
良性粘膜下腫瘍	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎鏡視下核出術または部分切除術</li> </ul>
悪性粘膜下腫瘍	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎平滑筋肉腫に対する切除術</li> <li>◎GISTに対する分子標的薬および切除術</li> </ul>
食道アカラシア	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎食道内圧測定などの機能検査および腹腔鏡下根治術（Heller-Dor手術）</li> </ul>
食道裂孔ヘルニア・逆流性食道炎	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎腹腔鏡下ヘルニア修復術</li> <li>◎腹腔鏡下 Nissenまたは Toupet法による逆流防止手術</li> </ul>
食道咽頭憩室（Zenker 憩室）	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎稀な疾患だが比較的豊富な経験あり</li> <li>◎輪状咽頭筋切離+憩室切除術</li> </ul>
食道破裂または胃・十二指腸穿孔	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎積極的に緊急対応</li> </ul>

✓ 高齢または多くの併存疾患を有したハイリスク症例にも対応します。

✓ 治療方針は外科、消化器内科、腫瘍内科、放射線治療科で構成するカンサーボードで検討し、最良の治療を提供します。

✓ 口腔ケア、呼吸リハビリ、運動リハビリ、嚥下機能評価など多職種によるチーム医療で入院から退院までを積極的にサポートします。



担当医師

1 役職/職位 2 出身大学 3 専門分野 4 専門医資格



今野 元博

- 1 教授 2 近畿大学
- 3 胃がん・食道がん全般、腹膜播種胃がんに対する腹腔内化学療法
- 4 気管支鏡専門医・外科専門医・消化器外科専門医  
消化器病専門医・細胞診専門医



新海 政幸

- 1 准教授 2 神戸大学
- 3 胃がん・食道がん全般
- 4 外科専門医・消化器外科専門医・消化器病専門医



安田 篤

- 1 准教授 2 山梨医科大学
- 3 胃がん・食道がん全般、胃がんに対する腹腔鏡下手術
- 4 外科専門医・消化器外科専門医・消化器病専門医



白石 治

- 1 准教授/外来医長 2 近畿大学
- 3 食道がん・胃がん全般、食道がんに対する胸腔鏡下手術
- 4 外科専門医・消化器外科専門医・消化器病専門医  
消化器内視鏡専門医



加藤 寛章

- 1 講師 2 近畿大学
- 3 食道がん・胃がん全般、胃がんに対する腹腔鏡下手術
- 4 外科専門医・消化器外科専門医・消化器病専門医

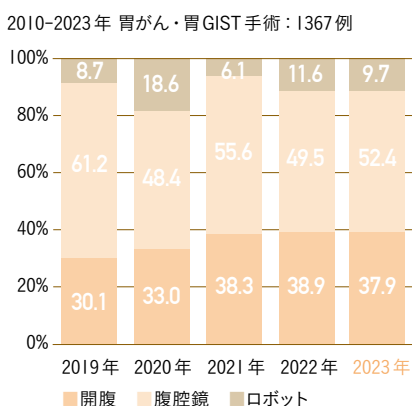
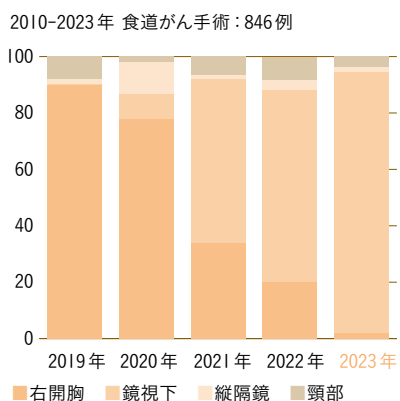


平木 洋子

- 1 医学部講師 2 近畿大学
- 3 食道がん・胃がん全般
- 4 外科専門医

医師名	役職/職位	出身大学	専門分野	専門医資格
萩 隆臣	医学部講師	大阪大学	食道がん・胃がん全般	外科専門医・消化器外科専門医

疾患別診療実績 (患者数割合)



TOPICS 1 食道がん

- 機能温存手術 頸部食道がんに対する喉頭温存手術
- 低侵襲手術 完全鏡視下食道切除
- 超高難易度手術 抗がん剤および放射線との集学的治療



開胸手術



胸腔鏡手術

TOPICS 2 胃がん腹膜播種に対する腹腔内化学療法

スキルス胃がんや高度進行胃がん腹膜転移が生じていたとしても、腹腔内化学療法を含む集学的治療を積極的に行ない、良好な成績を得ています。



治療前

治療後→胃切除



da Vinciによるロボット手術



胸腔鏡手術



# 外科(下部消化管)(内視鏡外科)

責任者／  
診療部長 川村 純一郎 主任教授

出身大学 京都大学  
専門分野 下部消化管、内視鏡外科  
専門医資格 外科専門医・消化器外科専門医



責任者 上田 和毅 教授

出身大学 近畿大学  
専門分野 内視鏡外科、下部消化管  
専門医資格 外科専門医・大腸肛門病専門医  
消化器外科専門医



## 特殊〔専門〕疾患

- 大腸がん（結腸がん、直腸がん）
- 炎症性腸疾患（潰瘍性大腸炎、クローン病）
- 小腸腫瘍（悪性リンパ腫、消化管間質腫瘍[GIST]）
- 副腎腫瘍（原発性アルドステロン症、クッシング症候群、褐色細胞腫、非機能性偶発腫瘍など）
- 後腹膜、腸間膜脂肪肉腫
- ヘルニア疾患（鼠径ヘルニア、大腿ヘルニア、腹壁瘢痕ヘルニア）
- 病的肥満、肥満を伴う糖尿病（減量・代謝改善手術）

## 診療内容

疾患名	治療方針
下部消化管疾患 内視鏡外科疾患	<p>●対象疾患 （初発・再発）結腸がん、直腸がん（開腹・腹腔鏡手術 / ロボット支援下手術） 炎症性腸疾患（潰瘍性大腸炎、クローン病）、家族性大腸ポリポーシス 副腎腫瘍（原発性アルドステロン症、クッシング症候群、褐色細胞腫、傍神経節腫） ヘルニア疾患（鼠径部（鼠径・大腿）ヘルニア、腹壁瘢痕ヘルニア） 病的肥満、糖尿病に対する外科治療（減量・代謝改善手術） 腹腔内腫瘍性病変（後腹膜脂肪腫・脂肪肉腫、リンパ節腫大） 人工肛門ケア（造設・閉鎖）</p> <p>●特色 ◎結腸がん、直腸がんに対し、進行度とQOLを考慮し集学的治療を行います。 ◎結腸がんに対しては約90%に腹腔鏡手術 / ロボット支援下手術を行っています。 ◎直腸がんに対しては約90%にロボット支援下手術を行っています。またそれ以外の症例でもできる限り腹腔鏡手術で行っています。どちらの手術法も排尿・性功能温存に努めています。 ◎肛門近傍の下部直腸がんに対しては、括約筋間切除（究極の肛門温存手術）により肛門温存を目指します。また進行直腸がんに対しては、抗がん剤治療や放射線治療を組み合わせること（術前化学放射線治療などの集学的治療）により根治を目指します。 ◎再発直腸がんに対しても可能な限り腹腔鏡手術で行っています。 ◎大腸がん（結腸がん、直腸がん）に対する治療方針は、最適な治療方針を提供するために、消化器内科・腫瘍内科・放射線診断科との合同カンファレンスで症例検討を行っています。 ◎炎症性腸疾患（潰瘍性大腸炎、クローン病など）は消化器内科と連携し、最適な手術時期を決定しています。 ◎人工肛門を要する患者さんのケアに関しては、皮膚・排泄ケア認定看護師（WOCナース）と連携を取りながら実践しています。 ◎副腎腫瘍に対しては、内分泌・代謝内科と連携を密に取り、手術適応を決定し、より低侵襲に手術を行えるよう心がけています。 ◎ヘルニア疾患に対してはヘルニア外来を設置し、腹腔鏡手術を中心に個々の症例に応じた治療法を検討しています。また鼠径部ヘルニアに対してはロボット支援下ヘルニア修復術による治療も自費診療にておこなっています。 ◎病的肥満や肥満を伴う2型糖尿病に対して、外科手術による治療を開始しています。関係各科（部門）や多職種（栄養課、リハビリテーション、ソーシャルワーカー）と情報共有をしつつ体質改善を図り、腹腔鏡による胃縮小手術を行います（減量・代謝改善手術）。</p>

- 1 循環器内科
- 2 内分泌・代謝・糖尿病内科
- 3 消化器内科
- 4 血液・膠原病内科
- 5 腎臓内科
- 6 脳神経内科
- 7 腫瘍内科
- 8 呼吸器・アレルギー内科
- 9 メンタルヘルス科
- 10 小児科・思春期科
- 11 外科
- 12 脳神経外科
- 13 心臓血管外科
- 14 整形外科
- 15 皮膚科
- 16 形成外科
- 17 泌尿器科
- 18 眼科
- 19 耳鼻咽喉・頭頸部外科
- 20 産婦人科
- 21 放射線診断科
- 22 放射線治療科
- 23 麻酔科
- 24 歯科口腔外科
- 25 漢方診療科
- 26 リハビリテーション科
- 27 救急災害センター
- 28 その他センター

## 担当医師

1 役職/職位 2 出身大学 3 専門分野 4 専門医資格



### 所 忠男

- 1 准教授 2 近畿大学
- 3 下部消化管、内視鏡外科
- 4 外科専門医・大腸肛門病専門医・消化器内視鏡専門医・消化器外科専門医



### 安田 篤

- 1 准教授 2 山梨医科大学
- 3 内視鏡外科・上部消化管
- 4 外科専門医・消化器外科専門医・消化器病専門医



### 岩本 哲好

- 1 准教授 2 浜松医科大学
- 3 下部消化管、内視鏡外科
- 4 外科専門医・消化器外科専門医



### 大東 弘治

- 1 医学部講師/医局長 2 近畿大学
- 3 内視鏡外科、下部消化管
- 4 外科専門医



### 和田 聡朗

- 1 医学部講師 2 浜松医科大学
- 3 下部消化管、内視鏡外科
- 4 外科専門医・消化器外科専門医



### 吉岡 康多

- 1 医学部講師 2 近畿大学
- 3 下部消化管、内視鏡外科
- 4 外科専門医・消化器外科専門医・消化器病専門医・大腸肛門病専門医・胃腸科専門医

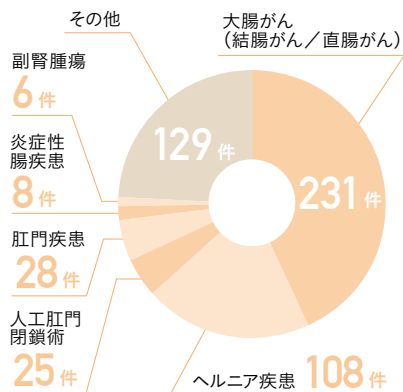


### 尾川 諒太郎

- 1 医学部講師 2 滋賀医科大学
- 3 内視鏡外科、下部消化管
- 4 外科専門医

医師名	役職/職位	出身大学	専門分野	専門医資格
幕谷 悠介	助教	近畿大学	下部消化管、内視鏡外科	外科専門医・消化器外科専門医・大腸肛門病専門医
梅田 一生	助教	近畿大学	下部消化管	外科専門医
波江野 真大	助教	近畿大学	内視鏡外科	外科専門医

## 疾患別診療実績(年間手術件数)



### TOPICS 1

## 手術支援ロボット ダヴィンチ (da Vinci) を用いた大腸がん手術【下部消化管】

ロボット支援下手術は、2018年4月から直腸がんに対する直腸切除・切断術で保険適用となりました。直腸周囲には重要な神経が走行し、これらを損傷すると性機能障害・排尿障害などが引き起こされます。狭くて深い骨盤内でこれらの神経を温存することは従来の開腹手術では容易ではありませんでしたが、腹腔鏡下手術の進歩により、飛躍的に改善されました。しかし、BMI(肥満の指数)の大きい患者さん、骨盤の狭い患者さん(主に男性)、腫瘍の大きい患者さん、腫瘍が肛門に近い下部直腸がんの患者さんでは、腹腔鏡をもってしても機能を温存することは簡単ではありません。ロボット支援下手術では、人間以上の可動域のある関節機能や手ぶれ補正機能によって、腹腔鏡下手術以上に繊細な手術が可能となり、がんの根治性に加えて機能温存率が向上することが期待されています。当院では現在ほとんどの直腸がんに対してロボット支援下手術を行っており、2023年3月までに170例のロボット支援下直腸手術を事故なく安全に施行しております。また、2022年4月の診療報酬改

定で、ロボット支援下手術の適応が結腸がんにも拡大されました。当院でも、これまでの豊富な経験をもとにロボット支援下結腸切除術を開始しております。どの部位の大腸がんに対してもロボット支援下手術を受けていただくことができるようになりましたが、実際の大腸がん診療は多岐にわたります。治療方針に迷われる症例などお気軽にご相談ください。

### TOPICS 2

## ロボット支援下鼠径部ヘルニア修復術の開始について(自費診療)【内視鏡外科】

令和4年度より成人鼠径部ヘルニアに対して、自費診療によるロボット支援下鼠径部ヘルニア修復術を開始いたします。ロボット支援下手術は一般的に、①自由度の高い多関節鉗子、②高解像3D画像、③鉗子手ブレ防止機能、④モーションスケール(動かした手の幅を縮小して伝える機能)を有しており、内視鏡外科手術にも関わらず、あたかもおなかに手を入れて手術を行っているかのように精緻な手術を可能にしています。このことから従来の腹腔鏡手術と比べて、低侵襲かつ精度の高い手術が可能となり、鼠径部ヘルニア特有の慢性疼痛が起りにくく、再発率も低いという結果も報告されています。

当部門では、2018年からヘルニアグループを立ち上げ、専門診療ならびに手術を開始しており、鼠径部ヘルニア手術に必要な診療知識、外科解剖、手術手技を兼ね備えており、ロボット支援下手術でもその経験が十分に生かされると考えております。現時点でロボット支援下鼠径部ヘルニア修復術は保険収載不可能な手技ですが、日本ヘルニア学会からの提言もなされており、自費診療による手術が国内複数の施設で開始されています。また当院臨床倫理委員会、高難度新規医療技術として申請を行い、承認を得ています。ご希望の患者さんがおられましたら、詳細に説明させていただきますので、当院外科、ヘルニア外来までお問い合わせください(上田)。



責任者/診療部長 **松本 逸平 主任教授**  
 出身大学 大阪医科大学(現大阪医科薬科大学)  
 専門分野 肝胆膵  
 専門医資格 外科専門医・消化器外科専門医・消化器病専門医  
 肝胆膵外科高度技能専門医

### 特殊[専門]疾患

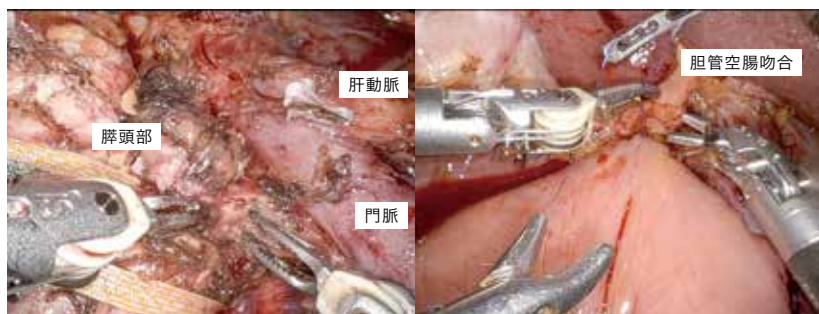
肝がん、胆道がん、膵がんをはじめとする、あらゆる肝胆膵疾患に先進的高度医療を提供します。消化器内科、腫瘍内科、放射線科とも連携し、個々の患者さんに、最良の医療を提供いたします。

- 膵がん
- 急性・慢性膵炎
- 十二指腸がん
- 膵管内乳頭粘液性腫瘍 (IPMN)
- 胆道がん
- 胆石症などの良性疾患
- 膵神経内分泌腫瘍
- 原発性肝がん
- 転移性肝がん
- 膵嚢胞性疾患

### 診療内容

疾患名	治療方針
肝胆膵疾患	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎全国屈指の手術件数を誇り、あらゆる肝胆膵疾患の高難度手術に対応可能</li> <li>◎日本肝胆膵外科学会修練施設 Aに認定</li> <li>◎年間の高難度肝胆膵外科手術症例数 120-130 例</li> <li>◎他診療科・部門との十分な連携のもと、個々の患者さんに最新かつ最良な治療を提供</li> <li>◎肝がん、胆道がん、膵がんに対する予後改善を目指した外科治療を軸とした集学的治療</li> <li>◎新規治療開発を目指した肝胆膵がんに対する多くの臨床試験</li> <li>◎進行肝胆膵がんに対する他臓器合併切除・血管合併切除再建を伴う拡大手術</li> <li>◎初診時切除不能胆膵がんに対する化学療法・化学放射線療法奏功例に対する外科切除 (conversion surgery)</li> <li>◎肝胆膵疾患に対するロボット支援下手術および腹腔鏡下低侵襲手術</li> <li>◎膵良性・低悪性度腫瘍に対する QOL を重視した機能温存・縮小手術</li> <li>◎膵全摘術の積極的適応と術後生活の質改善に向けた取り組み</li> <li>◎術後膵内外分泌機能不全対策を中心とする周術期管理</li> <li>◎慢性膵炎に対する積極的外科治療</li> <li>◎その他、肝胆膵良性疾患に対する外科治療</li> </ul>

ロボット支援下膵頭十二指腸切除術



開腹手術

腹腔鏡下手術





担当医師

1 役職/職位 2 出身大学 3 専門分野 4 専門医資格

**中居 卓也**  
 1 教授 2 近畿大学  
 3 肝胆膵  
 4 外科専門医・消化器外科専門医・肝臓専門医

**武部 敦志**  
 1 講師/病棟医長 2 神戸大学  
 3 肝胆膵  
 4 外科専門医・消化器外科専門医・肝臓専門医

**亀井 敬子**  
 1 講師 2 金沢医科大学  
 3 肝胆膵  
 4 外科専門医・消化器外科専門医・消化器病専門医

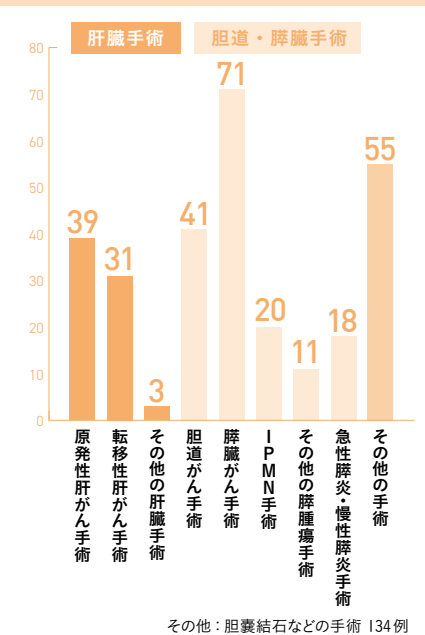
**村瀬 貴昭**  
 1 医学部講師 2 近畿大学  
 3 肝胆膵  
 4 外科専門医

**吉田 雄太**  
 1 医学部講師 2 近畿大学  
 3 肝胆膵  
 4 外科専門医

**李 東河**  
 1 医学部講師 2 宮崎大学  
 3 肝胆膵  
 4 外科専門医・消化器外科専門医

医師名	役職/職位	出身大学	専門分野	専門医資格
登 千穂子	助教	香川大学	肝胆膵	外科専門医・消化器外科専門医
阿見 勝也	助教	神戸大学	肝胆膵	外科専門医・消化器外科専門医
中野 大哉	助教	近畿大学	肝胆膵	外科専門医

疾患別診療実績 (2023年手術件数)



TOPICS 1

あきらめない膵がん治療  
～外科治療を軸とした集学的治療～

膵がんは消化器がん中最も難治であり、増加傾向にあります。しかし、近年の手術手技、化学療法、放射線治療の進歩により治療成績の改善が認められています。外科切除は根治を唯一可能とする治療ですが、切除のみでの治療成績には限界があります。現在では切除可能膵がんに対しては、術後補助化学療法に加え術前化学療法の有効性が示され、標準治療となっています。さらに進行した症例では術前の化学療法や化学放射線治療と拡大手術により治療成績の向上を認めています。特に初診時切除不能であったものが化学療法や化学放射線療法の著明な奏功により、切除可能となり長期生存する症例も増加しています。一方、早期診断例も増加傾向にあり、前がん病変として重要な膵管内乳頭粘液性腫瘍や慢性膵炎に対する手術も積極的に行っています。これらの治療を可能とするため、当院では各診療科・部門横断的な診療体制を構築し、個々の病態、進行度に応じ、あきらめない膵がん治療、最適な膵がん治療の提供に努めています。進行例には血管・他臓器合併切除を含む拡大手術を、早期から低悪性度病変には臓器機能温存手術やロボット支援下手術・腹腔鏡下手術を積極的に行っています。

TOPICS 2

膵疾患に対する低侵襲手術 ～ロボット支援下手術・腹腔鏡膵手術～

本邦における腹腔鏡下胆嚢摘出術を除く肝胆膵疾患に対する腹腔鏡下手術は、その解剖学的複雑性と手術難度より、他臓器に比べ最も遅れて導入されました。現在では、全国の high volume center を中心に普及しつつあります。当院では2014年より腹腔鏡下膵体尾部切除術を導入し、現在まで腹腔鏡下膵体尾部切除術91例、腹腔鏡下膵頭十二指腸切除術31例を施行し、その成果を国内外に報告してきました。2020年にはロボット支援下膵切

除術が保険収載され、当院でもロボット支援下膵頭十二指腸切除術13例、ロボット支援下膵体尾部切除術38例を施行しています。これら低侵襲手術は、言うまでもなく創が小さく、術後の早期回復が可能で、患者さんのニーズが高い術式です。高難度手術を要する肝胆膵疾患に対しても、安全性と根治性を担保しつつ、今後も積極的に施行していきたいと考えています。



責任者/診療部長 津谷 康大 主任教授  
 出身大学 広島大学  
 専門分野 呼吸器(肺、縦隔)  
 専門医資格 外科専門医・呼吸器外科専門医

## 特殊[専門]疾患

原発性肺がん・転移性肺腫瘍などの肺悪性腫瘍、胸腺がん・胸腺腫などの縦隔腫瘍を代表とする胸部腫瘍に対して高度医療を提供する専門施設で、外科・内科・放射線科と連携して、個々の患者さんに最適と思われる最先端の治療を提供しています。気胸・膿胸などの良性疾患を含めて、様々な胸部疾患に幅広く対応しています。

- 原発性肺がん
- 胸腺腫
- 気胸などの嚢胞性肺疾患
- 転移性肺腫瘍
- その他の肺腫瘍・縦隔腫瘍
- 膿胸
- 胸腺がん
- 胸壁腫瘍・胸膜腫瘍
- その他の胸部良性疾患

## 診療内容

疾患名	治療方針
胸部疾患	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎ 小型肺がんに対しては根治性を保った機能温存手術(区域切除)を積極的に行います。</li> <li>◎ 胸腔鏡手術を中心として、創が一つの単孔式手術やロボット支援下手術などの様々な低侵襲アプローチを提供いたします。</li> <li>◎ 治療の困難な局所進行肺がん・縦隔腫瘍などに対しては、外科、内科、放射線科で構成する Cancer Board (カンサーボード) で最新の知見を基に治療方針を決定し、最適と思われる治療法を提案いたします。</li> <li>◎ 局所進行肺がん・縦隔腫瘍に対する拡大手術では、がんの根治性と QOL に配慮し、高度な機能温存手術(血管形成、気管支形成)を積極的に行います。</li> <li>◎ 術前・術後薬物療法や術後再発に対する治療も最適な治療法を提供いたします。</li> <li>◎ 外科治療の臨床試験や周術期治療の臨床試験・治験に参加しており、数多くの治療選択肢を提供可能です。</li> <li>◎ 積極的な術前・術後のリハビリに取り組み、退院後も身体機能回復のサポートを行っています。</li> <li>◎ 転移性肺腫瘍に対する外科治療も行います。</li> <li>◎ 気胸などの嚢胞性肺疾患、膿胸などの感染症、胸部外傷などの良性呼吸器疾患に対する外科治療も積極的に取り組んでいます。</li> </ul>

### TOPICS 1 根治性と機能温存の両立を目指したハイレベルな治療の実施

本邦の大規模臨床試験の結果から、小型肺がんに対してはこれまでの標準治療であった肺葉切除よりも機能温存手術である区域切除の方が生存を延長するということが報告され、今後は根治性と機能温存を保った区域切除が普及していきます。当科はこの区域切除を得意としており、安全で確実な手術を提供いたします。進行期の肺がん・縦隔腫瘍では、手術だけでは治療が困難であり、薬物療法・放射線療法などを組み合わせた集学的治療が必要となります。腫瘍内科・呼吸器内科・放射線科との

Cancer Board を定期的に開催し、最新の知見を基に、様々な病期の肺がんに対して最適と思われる治療を提供できる体制を構築しています。

切除不能肺がんに対する分子標的治療や免疫チェックポイント阻害剤などの薬物療法の進歩から、術前・術後の薬物療法の開発も進んでいます。当科は周術期の薬物療法の臨床試験・治験にも数多く関わっており、患者さんには多くの治療選択肢を提供可能です。



担当医師

1 役職/職位 2 出身大学 3 専門分野 4 専門医資格



須田 健一

- 1 特命准教授 2 九州大学
- 3 呼吸器(肺、縦隔)
- 4 外科専門医・呼吸器外科専門医



下治 正樹

- 1 医学部講師 2 近畿大学
- 3 呼吸器(肺、縦隔)
- 4 外科専門医・呼吸器外科専門医



小原 秀太

- 1 医学部講師 2 近畿大学
- 3 呼吸器(肺、縦隔)
- 4 外科専門医・呼吸器外科専門医



武本 智樹

- 1 講師 2 近畿大学
- 3 呼吸器(肺、縦隔)
- 4 外科専門医・呼吸器外科専門医

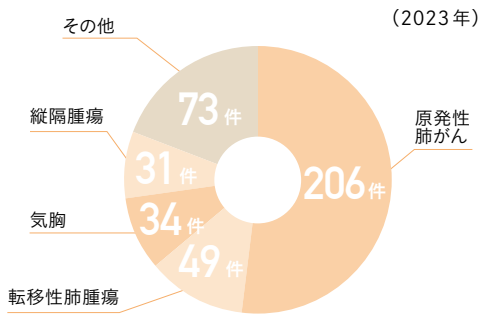


千葉 真人

- 1 医学部講師 2 山形大学
- 3 呼吸器(肺、縦隔)
- 4 外科専門医・呼吸器外科専門医

医師名	役職/職位	出身大学	専門分野	専門医資格
伊藤 正興	医学部講師	広島大学	呼吸器(肺、縦隔)	外科専門医
瀧田 顕	医学部講師	山形大学	呼吸器(肺、縦隔)	外科専門医・呼吸器外科専門医・気管支鏡専門医
福田 祥大	助教	近畿大学	呼吸器(肺、縦隔)	外科専門医
老木 華	助教	川崎医科大学	呼吸器(肺、縦隔)	外科専門医
深見 朋世	助教	山形大学	呼吸器(肺、縦隔)	外科専門医

疾患別診療実績(年間手術件数)



TOPICS 2

最先端の胸腔鏡手術の導入  
—更なる低侵襲手術を目指して

近年、体に優しい低侵襲手術が注目されています。胸腔鏡手術は、術後早期のQOLの維持を目的とした低侵襲手術で、進行がんなどの特殊な状況を除いた多くの胸部疾患に対して行っています。2018年度よりロボット支援下手術も保険収載され、当院でも肺がん、縦隔腫瘍に対して行っております。最近では、小さな一つの手術創で胸腔鏡手術を行う単孔式手術が最先端技術として注目されており、積極的に行っています。当科は小さな傷で小さく肺を切つてがんを治すことを目標として最先端の技術を提供できる体制を整えています。

胸腔鏡手術による区域切除術



単孔式手術





責任者 菰池 佳史 教授  
 出身大学 大阪大学  
 専門分野 乳腺・内分泌、二次性リンパ浮腫  
 専門医資格 外科専門医・乳腺専門医

### 特殊〔専門〕疾患

- 初発乳がん
- 再発乳がん
- 遺伝性乳がん卵巣がん症候群
- 鑑別困難な乳腺疾患の診断
- 甲状腺がん
- Basedow病その他甲状腺良性疾患の外科治療
- 副甲状腺疾患の外科治療

### 診療内容

疾患名	治療方針
基本方針 乳腺・内分泌疾患	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎乳がん、甲状腺がんに対する進行度とQOLを考慮した集学的治療</li> <li>◎世界標準、および先端医療の導入、チーム医療の実践</li> <li>◎乳がんの維性(サブタイプ)と進行度に応じた診断・治療・フォローアップ</li> <li>◎正確な画像診断に基づいた乳がん手術(TOPICS 2)</li> <li>◎腋窩リンパ節郭清省略の適応拡大</li> <li>◎早期乳がんに対する非切除ラジオ波焼灼療法(TOPICS 3)</li> <li>◎早期乳がんに対する縮小治療</li> <li>◎進行・再発乳がんに対する集学的治療</li> <li>◎腫瘍内科との連携による最新の薬物療法</li> <li>◎形成外科との連携による乳房再建手術</li> <li>◎遺伝性乳がんやゲノム医療を視野に入れた乳がんマネジメント</li> <li>◎遺伝性乳がんに対するリスク低減手術とカウンセリング</li> <li>◎甲状腺腫瘍の診断・治療・術式・フォローアップ</li> </ul>
病態別方針 非浸潤性乳がん	◎正確な診断のもと、低悪性度の非浸潤がんに対しては、手術省略のオプションにも取り組んでいます(臨床試験 JCOG1505として実施)
HER2陽性乳がん	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎術前化学療法、抗HER2療法を行い、治療効果に合わせた手術を実施</li> <li>◎術前治療で腫瘍が消失しなければ、治療効果に合わせて術後に抗HER2療法の種類を変更して追加治療を行います</li> </ul>
Triple Negative乳がん	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎Triple Negative乳がんは生物学的悪性度が高く、集学的治療がより重要です。</li> <li>◎基本的にはしっかりと術前化学療法を行い、治療効果に合わせた適切な手術と、術後には治療効果に応じた術後薬物療法等を行います。</li> <li>◎術前化学療法の適応や、術後追加治療については、ボードカンファレンスで症例毎に十分に検討して決定しています。</li> <li>◎進行したTriple Negative乳がんに対しては、最新の免疫チェックポイント機構阻害薬を含めた術前薬物療法を行っています。</li> </ul>
Luminalタイプ(HER2陰性)乳がん	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎ステージに応じた術式選択、術前化学療法の適応を決定</li> <li>◎術後ホルモン療法を5～10年</li> <li>◎リンパ節転移や腫瘍径等に応じて悪性度の高い症例ではCDK4/6阻害剤の併用を行っています。</li> </ul>
遺伝性乳がん(TOPICS 1)	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎遺伝カウンセラーによるカウンセリング実施体制</li> <li>◎リスク低減乳房切除術の実施(希望される方のみ)</li> <li>◎婦人科との連携(遺伝性卵巣卵管がんに対する対応)</li> </ul>
*進行再発乳がん	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎腫瘍内科等と連携して、毎週ボードカンファレンスでテーラーメイドの治療方針を検討</li> <li>◎新規薬剤の治験も行っていきます</li> <li>◎がんゲノム医療(BRCAAnalysis遺伝子検査、MSI検査、各種遺伝子パネル検査)に基づいた最適治療や、PDL-1発現等に基づいた免疫チェックポイント阻害剤による薬物療法にも数多く取り組んでいます</li> <li>*進行再発乳がんについては、主に腫瘍内科で行っています。腫瘍内科のページもご参照下さい。</li> </ul>

## 担当医師

1 役職/職位 2 出身大学 3 専門分野 4 専門医資格



## 位藤 俊一

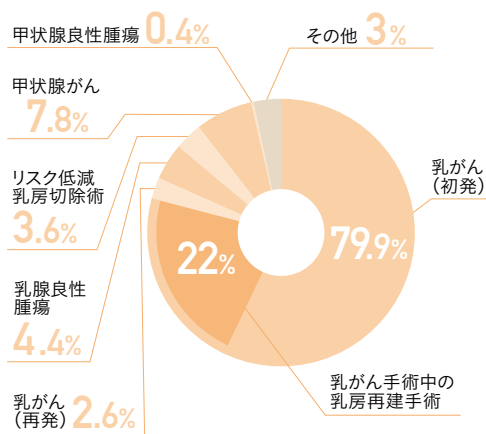
1 特任准教授 2 兵庫医科大学  
3 乳腺・内分泌、超音波診断  
ラジオ波凝固治療・甲状腺疾患  
4 外科専門医・乳腺専門医・超音波専門医

## 久保田 倫代

1 医学部講師 2 近畿大学  
3 乳腺・内分泌  
4 外科専門医・乳腺専門医

医師名	役職/職位	出身大学	専門分野	専門医資格
眞鍋 弘暢	助教	近畿大学	乳腺・内分泌	—

## 疾患別診療実績 (患者数割合)



## TOPICS 1 遺伝性乳がん卵巣がん症候群

全乳がんのうち、5～10%が遺伝性とされており、その中でBRCA1/2 遺伝子の病的バリエーションによって発生する乳がん(および卵巣卵管がん)のマネジメントが話題になっています。片側乳がん患者さんで BRCA1/2 遺伝子の病的バリエーションを持つ方には、もう片側(健常側)の乳房を予防的に切除することが予後改善につながる事が示され、2020年4月からは保険診療で行う事ができるようになりました。また、未発症者においても両側の予防的乳房切除(リスク低減乳房切除)を行う選択肢があります。当施設では認定遺伝カウンセラーによる遺伝カウンセリングと遺伝子検査を行っています。また、リスク低減乳房切除術にも取り組んでいます。2023年度は49例のリスク低減乳房切除術を施行いたしました。今後、がんゲノム医療に向けて、ますます遺伝カウンセリングの必要性が増すことが確実ですが、当科では遺伝性乳がんに対する予防的乳房切除術と術後フォローの体制づくりにも積極的に取り組んでいます。毎年乳がん患者さんに対して、専門の遺伝カウンセラーによる多数の遺伝カウンセリングを行っています。

## TOPICS 2 乳房造影超音波検査による診断

乳房腫瘍性病変に対する造影超音波検査は通常の超音波検査や造影MRIに比較し正診率で有意に優れるため、乳房腫瘍やリンパ節転移診断をはじめ術式決定や薬物療法効果判定において保険診療として積極的に行っています。術式決定には乳がんの広がり診断が重要ですが、広がり診断においてもMRIを凌駕する診断の向上が期待されています。診断精度が向上するため不要な生検を減らすことにも役立っています。CTやMRIの造影剤アレルギーのある患者さんにも安全に施行可能であることも有利な点です。肝腫瘍の診断においても診断精度が高く、患者さんへの負担が少ないため、乳がん肝転移診断や治療効果判定でも活躍しています。

## TOPICS 3 乳腺悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法

2023年12月に乳腺悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法(RFA)が保険収載となり、当科でも2024年4月から腫瘍径15mm以下の乳がんに対してRFAを施行できるようになりました。当科位藤が同治療において既に約300例の臨床経験があり、わが国10施設での多施設共同研究のデータを筆頭著者として発信し、国際的にも本治療の第一人者として認知されています。本治療は整容性において切除に比較し優れているだけでなく、手術時間、入院期間が短いことも特徴です。今後、検診発見等の小型乳がんに対して本治療希望者の増加とともに、わが国の乳がん検診受診者の増加および乳がん死の減少に繋がる可能性が期待されています。そのような意味合いからも当科がさらに社会貢献できることを願っています。

## TOPICS 4 院内外連携

当科では院内外連携にも力を入れています。院内の連携では、外科・腫瘍内科・放射線治療科・形成外科など多くの診療科と常に話し合っ診断や乳房再建、薬物療法や放射線療法を行っています。また、外来・病棟ナース、通院治療センター、薬剤師の連携、がん相談支援センター(がん専門ナース、ソーシャルワーカー)、緩和ケアチーム、リンパ浮腫チームとの連携にも力を入れており、診断時から一貫して患者さんを多方面

から支えています。院外連携については、乳がん地域連携パスを利用して、患者さんの便を図っています。地域連携パスを利用することで、患者さんにとっては専門外の疾患に関するマネジメントが可能であり、大学病院の外来の混雑も解消され待ち時間の短縮等のメリットがあります。また、連携医の先生と当科のスタッフとの関係もより強固になることで、地域全体の医療の質の向上に大きく貢献していると感じています。



責任者／診療部長 高橋 淳 主任教授

出身大学 京都大学

専門分野 脳血管障害の外科治療（脳動脈瘤、脳動静脈奇形、もやもや病）

専門医資格 脳神経外科専門医・脳卒中専門医

## 特殊〔専門〕疾患

- 急性期脳卒中
- 脳腫瘍
- てんかん外科
- 神経外傷
- 脳血管障害
- 機能的脳神経外科
- 脊椎・脊髄疾患

## 診療内容

疾患名	治療方針
脳血管障害	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎脳卒中（くも膜下出血、脳出血、脳梗塞）急性期の集学的治療</li> <li>◎脳動脈瘤・脳動静脈奇形・硬膜動静脈瘻に対する外科的治療</li> <li>◎頸動脈狭窄症に対する外科的治療</li> <li>◎低侵襲血管内治療（脳動脈瘤・硬膜動静脈奇形・頸動脈狭窄症）</li> <li>◎もやもや病（虚血型・出血型）に対する脳血管バイパス術</li> </ul>
脳腫瘍	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎悪性脳腫瘍（原発性・転移性）の集学的治療</li> <li>◎間脳下垂体腫瘍の外科的治療</li> <li>◎良性脳腫瘍（髄膜腫・聴神経腫瘍）の外科的治療</li> <li>◎治療が困難な悪性脳腫瘍に対して各種モニタリングや覚醒下手術（覚醒下脳手術認定施設）を積極的に取り入れることにより、高い腫瘍摘出率と安全性を確保している。また、悪性神経膠腫に代表される原発性悪性脳腫瘍に対しては光線力学的療法も導入し、より優れた治療成績を目指している。脳腫瘍担当医は神経内視鏡手術にも習熟しており、間脳下垂体腫瘍のみならず他脳腫瘍においても積極的に導入し、低侵襲かつ根治性の高い治療を実践している。</li> </ul>
機能的脳外	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎外科手術にて神経機能の調節を行い、日常生活の向上を目指します。</li> <li>◎不随意運動やパーキンソン病、難治性疼痛に対する脳深部刺激術や脊髄刺激術</li> <li>◎てんかん診断のための頭蓋内電極留置による脳波ビデオモニタリング</li> <li>◎薬剤抵抗性のてんかんに対する外科治療（側頭葉海馬切除、脳梁離断術、迷走神経刺激術、神経機能温存のための覚醒下焦点切除術）</li> <li>◎痙縮に対する集学的治療（髄腔内バクロフェン投与療法、ボトックス療法）</li> <li>◎顔面けいれん、三叉神経痛に対する外科治療</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎水頭症の診断と治療</li> <li>◎神経外傷の集学的治療</li> <li>◎神経内視鏡支援下に、脳動脈瘤手術、頭蓋底手術、聴神経腫瘍手術を行い、非侵襲的で根治的な治療を目指している。</li> </ul>

### TOPICS 1 もやもや病に対する脳血管バイパス手術

もやもや病は、頭蓋内主幹動脈が進行性に狭窄・閉塞し、側副血行路として異常血管網が代償性に増生する厚生労働省指定難病です（国内推定患者数：約2万人）。小児では多くが脳虚血（脳梗塞、一過性脳虚血発作）で発症し、脳血管バイパス手術の有効性が確立されています。一方、成人では約半数が脳出血で発症し、異常血管網への長期負荷による破綻が原因とされますが、高率に再出血を繰り返す予後不良であるにもかかわらず、これまで有効な治療法は未確立でした。2001～2013年に

行われた全国多施設共同研究「Japan Adult Moyamoya (JAM) Trial」は、バイパス手術が明確な再出血防止効果を持つことを明らかにし、2020年まで数々の副次研究成果を発表してきました。当科教授の高橋はJAM Trialのデータ解析と世界に向けた発信の中核を担うとともに、稀少なもやもや病に対する国内最多級（520例超）の脳血管バイパス執刀経験を有し、本邦のもやもや治療の中心的存在です。今後、近畿大学がもやもや病治療・研究の一大拠点となることが期待されています。



- 1 循環器内科
- 2 内分泌・代謝・糖尿病内科
- 3 消化器内科
- 4 血液・膠原病内科
- 5 腎臓内科
- 6 脳神経内科
- 7 腫瘍内科
- 8 呼吸器・アレルギー内科
- 9 メンタルヘルス科
- 10 小児科・思春期科
- 11 外科
- 12 脳神経外科
- 13 心臓血管外科
- 14 整形外科
- 15 皮膚科
- 16 形成外科
- 17 泌尿器科
- 18 眼科
- 19 耳鼻咽喉・頭頸部外科
- 20 産婦人科
- 21 放射線診断科
- 22 放射線治療科
- 23 麻酔科
- 24 歯科口腔外科
- 25 漢方診療科
- 26 リハビリテーション科
- 27 救急災害センター
- 28 その他センター

## 担当医師

1 役職/職位 2 出身大学 3 専門分野 4 専門医資格

**大槻 俊輔**  
 1 教授 2 神戸大学  
 3 脳卒中内科  
 4 総合内科専門医・循環器専門医・神経内科専門医・老年病専門医・高血圧専門医

**中野 直樹**  
 1 准教授 2 近畿大学  
 3 てんかん外科治療、ジストニア、パーキンソン、不随意運動、脳深部電気刺激療法、機能的脳外科治療  
 4 脳神経外科専門医・てんかん専門医・リハビリテーション科専門医

**佐藤 徹**  
 1 准教授 2 京都大学  
 3 脳血管障害の血管内治療（脳動脈瘤、脳動静脈奇形、硬膜動静脈瘻、頸動脈狭窄症）  
 4 脳神経外科専門医・脳血管内治療専門医

**眞田 寧皓**  
 1 准教授 2 大阪大学  
 3 脳血管障害の外科治療（脳動脈瘤、脳動静脈奇形）、聴神経鞘腫、髄膜腫、三叉神経痛、顔面痙攣  
 4 脳神経外科専門医

**内山 卓也**  
 1 講師/外来医長 2 近畿大学  
 3 髄腔内バクロフェン療法、ボツリヌス療法、脳深部電気刺激療法、脊髄電気刺激療法（痛み）、水頭症治療  
 4 脳神経外科専門医

**布川 知史**  
 1 講師 2 近畿大学  
 3 脳血管障害の血管内治療  
 4 脳神経外科専門医・脳血管内治療専門医 救急科専門医・リハビリテーション科専門医

**奥田 武司**  
 1 講師/医局長/病棟医長 2 近畿大学  
 3 脳腫瘍、間脳下垂体腫瘍の外科的治療、神経内視鏡手術  
 4 脳神経外科専門医 内分泌代謝科（脳神経外科）専門医

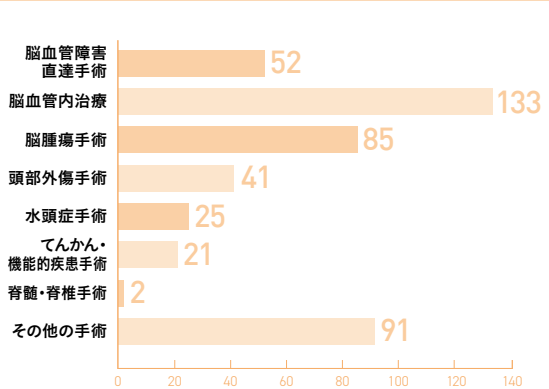
**辻 潔**  
 1 講師 2 近畿大学  
 3 脳血管障害の外科治療（脳動脈瘤、頸動脈狭窄、脳血管内治療）  
 4 脳神経外科専門医・脳血管内治療専門医

**吉岡 宏真**  
 1 医学部講師 2 近畿大学  
 3 脳腫瘍、水頭症  
 4 脳神経外科専門医

**田中 寛大**  
 1 医学部講師 2 大阪市立大学  
 3 脳卒中内科  
 4 総合内科専門医・神経内科専門医・脳卒中専門医 脳血管内治療専門医

医師名	役職/職位	出身大学	専門分野	専門医資格
岩倉 倫裕	助教	近畿大学	脳神経外科全般	—
藤島 一紘	助教	近畿大学	脳神経外科全般、脳血管障害	脳神経外科専門医・脳血管内治療専門医
古川 健太郎	助教	近畿大学	脳神経外科全般	脳神経外科専門医・脳血管内治療専門医
中尾 剛幸	助教	近畿大学	脳神経外科全般	—
濱田 有深	助教	近畿大学	脳神経外科全般	脳神経外科専門医

## 疾患別診療実績（2023年手術件数）



## TOPICS 2 脳血管内治療について

脳血管内治療とは、頭頸部の血管病変に対して皮膚を切ったり開頭したりすることなく、カテーテルを用いて血管の中からアプローチする治療法です。脳血管内治療の最大の利点は、何と言っても低侵襲であることです。近年、カテーテルやステントなどのデバイス技術は、目覚ましい進歩を遂げており、脳血管内治療の安全性・有効性は飛躍的に向上しています。当院では、急性期脳梗塞に対する血栓回収療法をはじめ、脳動脈瘤コイル塞栓術、頸動脈ステント留置術、硬膜動静脈瘻塞栓術、脳動静脈奇形塞栓術など、あらゆる脳血管内治療を行っています。また当院では、ハイブリッド手術室を備えており、開頭・血管内の複合治療も可能です。

## TOPICS 3 脳腫瘍に対する覚醒下手術を用いた摘出術

原発性脳腫瘍の代表である神経膠腫（グリオーマ）は難治性腫瘍であり、手術による腫瘍摘出率が予後に大きな影響を与えます。しかし、最大限の腫瘍摘出は脳機能を損傷する可能性があり、脳機能を保護しながら最大限の腫瘍摘出を目指す方法が必要となります。このため、術前から画像診断を駆使して脳機能を解析し、手術中は術中蛍光診断やニューロナビゲーションシステム、各種モニタリング装置を用いて脳機能を保護しています。更に近畿大学病院脳神経

外科では覚醒下手術を加えることにより、手術中にリアルタイムで脳機能を確認しながら腫瘍摘出を行っています。麻酔科の全面的な協力によって、手術中は問題なく安全かつ確実性の高い腫瘍摘出術が可能となりました。近畿大学病院脳神経外科は覚醒下脳手術の認定施設としても認められています。また、比較的新しい治療である光線力学的療法も導入しており、難治性腫瘍であるグリオーマに対するより良い治療成績を目指しています。





責任者/診療部長 坂口 元一 主任教授

出身大学 京都大学

専門分野 虚血性心疾患、大動脈疾患、弁膜症

専門医資格 心臓血管外科専門医・外科専門医

## 特殊〔専門〕疾患

心臓血管外科の対象となる全ての分野に対して高度で良質な手術を提供している。

具体的には

- 虚血性心疾患  
(狭心症、心筋梗塞の合併症)
- 心筋症
- 先天性心疾患に対する外科的治療
- 弁膜症
- 大動脈疾患(大動脈解離、大動脈瘤)
- 補助人工心臓
- 不整脈
- 末梢血管疾患(閉塞性動脈硬化症、急性動脈閉塞など)

## 診療内容

疾患名	治療方針
弁膜症	◎弁形成術を積極的に行っています。約5～6cmの小切開手術(MICS)やロボット支援下手術を行っています。大動脈弁狭窄症に対するカテーテル治療(TAVI)を多数行っています。
先天性心疾患	◎新生児期から成人期まで、比較的軽度の心疾患から高度の技術を要する複雑心奇形まで、全ての先天性心疾患に対する根治手術および姑息手術
虚血性心疾患	◎狭心症に対する冠動脈バイパス術、心筋梗塞の合併症(虚血性心筋症、左室瘤、心室中隔穿孔、僧帽弁閉鎖不全、心臓破裂など)に対する修復手術
大動脈疾患	◎胸部大動脈瘤、胸腹部大動脈瘤、腹部大動脈瘤に対する手術、特に、破裂または切迫破裂例に対する緊急手術、ステントグラフト治療は、腹部大動脈瘤だけでなく、複雑な胸部大動脈瘤にも積極的に行っています。
末梢血管	◎急性、慢性動脈閉塞に対する血行再建術、カテーテルによる血管形成治療、下肢静脈瘤に対してレーザー治療を行っています。
植え込み型補助人工心臓	◎植え込み型補助人工心臓による重症心不全の補助

担当医師

1 役職/職位 2 出身大学 3 専門分野 4 専門医資格



岡本 一真

- 1 准教授/医局長 2 慶應義塾大学
- 3 弁膜症、大動脈疾患、虚血性心疾患
- 4 心臓血管外科専門医・外科専門医



小川 達也

- 1 准教授/外来医長 2 鳥取大学
- 3 虚血性心疾患、大動脈疾患、弁膜症
- 4 心臓血管外科専門医・外科専門医・循環器専門医



浅田 聡

- 1 講師 2 富山大学
- 3 先天性心疾患
- 4 心臓血管外科専門医・外科専門医



石垣 隆弘

- 1 講師 2 滋賀医科大学
- 3 虚血性心疾患心疾患、大動脈疾患疾患、弁膜症
- 4 心臓血管外科専門医・外科専門医

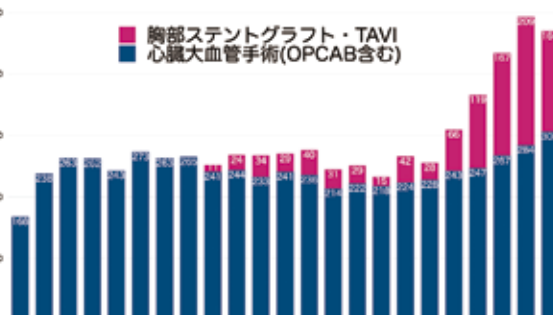
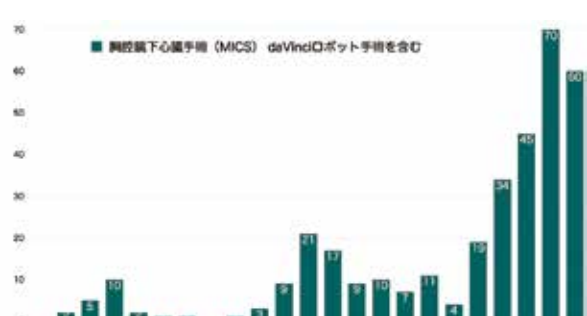
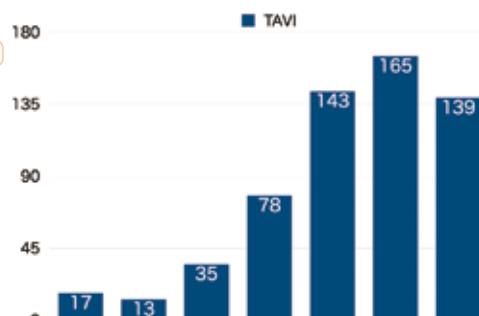
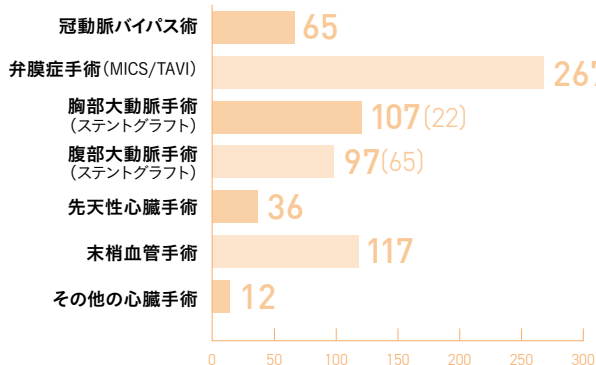


小谷 真介

- 1 医学部講師/病棟医長 2 大阪市立大学
- 3 虚血性心疾患心疾患、大動脈疾患疾患、弁膜症
- 4 心臓血管外科専門医・外科専門医・循環器専門医

医師名	役職/職位	出身大学	専門分野	専門医資格
濱田 隆介	助教	近畿大学	虚血性心疾患、大動脈疾患、弁膜症	外科専門医
玉井 夢果	助教	山形大学	先天性心疾患、虚血性心疾患、大動脈疾患	—

疾患別診療実績 (手術件数 2022年)



TOPICS 1

弁膜症治療は早期診断、早期治療が重要です。当科では低侵襲外科治療を積極的に導入しています。僧帽弁閉鎖不全症に対しては胸骨を切らない小切開僧帽弁形成術やロボット支援下手術を行っています。大動脈弁狭窄症に対しても小切開手術が可能です。また高齢の患者さんやリスクの高い患者さんには循環器内科と協同で経カテーテル大動脈弁埋め込み術を行っています。

TOPICS 2

近年、高齢化に伴って大動脈瘤症例が増えてきています。当科では10年以上前から大動脈瘤に対してのカテーテル治療（ステントグラフト治療）を数多く行ってきました。しかしステントグラフト治療では対処できない症例やステントグラフト治療後の再発症例に対しては開胸あるいは開腹での人工血管置換術が必要となってきます。当科ではこのような症例、特に弓部大動脈瘤、胸腹部大動脈瘤、解離性大動脈瘤の外科手術も積極的に行っています。患者さんの生命予後にとって最適の治療方法を選択することが大切です。



責任者／診療部長 後藤 公志 主任教授

出身大学 京都大学

専門分野 人工関節置換術・股関節外科

専門医資格 整形外科専門医

## 特殊〔専門〕疾患

運動器の障害や損傷に対する外科治療を通じて、日常生活活動 (ADL) や生活の質 (QOL) を改善し、また、積極的な社会参加をサポートすることにより、患者さんの健康と福祉に貢献します。

- 1) 関節疾患：変形性関節症 (股・膝・足・肩・肘など)、関節リウマチ、スポーツ活動に伴う関節障害や外傷、肩腱板損傷、関節の感染症、など
- 2) 脊柱疾患：腰部脊柱管狭窄症、椎間板ヘルニア、頸椎症性脊髄症・神経根症、脊柱変形による立位保持困難、骨粗しょう症、脊柱の感染症、など
- 3) 手・上肢疾患、末梢神経障害：手根管症候群、肘部管症候群、その他の末梢神経障害、顕微鏡下再建手術を要する損傷・外傷
- 4) 運動器腫瘍：骨・軟部の良性および悪性腫瘍、転移性骨腫瘍
- 5) 運動器外傷：四肢・骨盤・脊柱の損傷、多発外傷

## 診療内容

疾患名	治療方針
関節疾患	◎下肢人工関節置換術 (股関節と膝関節) は日本有数の高い技術力と症例数を誇っています。きめ細かい合併症対策の下で、安全・安心な治療を提供しています。内科疾患のある高齢患者にも特定機能病院の強みを生かして診療に当たります。股関節、膝関節は豊富な骨切り、関節鏡手術症例数を誇り、極めて良好な治療成績を上げています。
脊柱疾患	◎様々な原因による脊柱管狭窄による脊髄・神経根圧迫による痺れや麻痺に対応します。また、脊柱の変形による姿勢保持困難など難治性の症例にも、ハイブリッド手術室ナビゲーションシステムを用いて安全・確実な手術を実施しています。
手・上肢疾患	◎手は非常に繊細な運動器で、その治療には高度な専門性を必要とします。一般的な手外科手術に加えて、マイクロサージェリー (顕微鏡手術) による機能再建術・血行再建術を行なっています。
運動器腫瘍	◎骨・軟部の良性・悪性腫瘍の診断と治療は大学病院の重要な業務で、地域一帯から多くの患者さんが集まり、集学的な治療により良好な成績を上げています。がん拠点病院である当院では骨転移症例も多く、当科でもこれに対応しています。
運動器外傷	◎運動器外傷センター、救命救急センターと密接に連携しつつ地域で発生する全ての運動器外傷・損傷に対応しています。

担当医師

1 役職/職位 2 出身大学 3 専門分野 4 専門医資格



柿木 良介

- 1 教授 2 高知大学
- 3 手・上肢外科、運動器リハビリテーション
- 4 整形外科専門医、リハビリテーション専門医



大谷 和裕

- 1 教授 2 近畿大学
- 3 手・上肢外科、外傷外科、関節リウマチ
- 4 整形外科専門医・リウマチ専門医



池田 光正

- 1 准教授/外来医長 2 近畿大学
- 3 脊椎・脊髄外科、関節リウマチ
- 4 整形外科専門医・リウマチ専門医



橋本 和彦

- 1 医学部講師 2 近畿大学
- 3 骨・軟部腫瘍
- 4 整形外科専門医・リウマチ専門医



西村 俊司

- 1 医学部講師/病棟医長 2 近畿大学
- 3 骨・軟部腫瘍、外傷外科
- 4 整形外科専門医



中川 晃一

- 1 医学部講師/医局長 2 近畿大学
- 3 人工関節置換術・肩関節・スポーツ・外傷外科
- 4 整形外科専門医



山岸 孝太郎

- 1 医学部講師 2 近畿大学
- 3 人工関節置換術、下肢関節外科
- 4 整形外科専門医

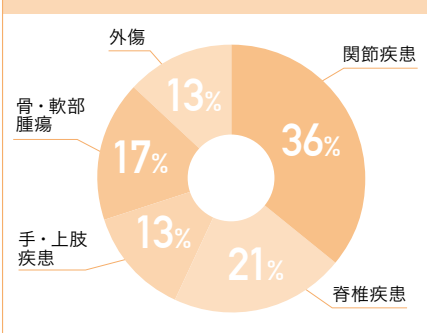


石濱 嘉紘

- 1 医学部講師 2 近畿大学
- 3 脊椎・脊髄外科、骨粗鬆症
- 4 整形外科専門医

医師名	役職/職位	出身大学	専門分野	専門医資格
森竹 章公	助教	近畿大学	人工関節置換術、下肢関節外科	整形外科専門医
吉元 孝一	助教	高知大学	手・上肢外科、外傷外科	整形外科専門医
橋本 晃明	助教	近畿大学	人工関節置換術、足の外科、関節リウマチ	整形外科専門医
家村 駿輝	助教	近畿大学	脊椎・脊髄外科、骨粗鬆症	整形外科専門医
鳥海 賢介	助教	札幌医科大学	脊椎・脊髄外科、再生医療	整形外科専門医
松村 大智	助教	近畿大学	外傷外科、人工関節置換術	整形外科専門医

疾患別診療実績 (患者数割合)

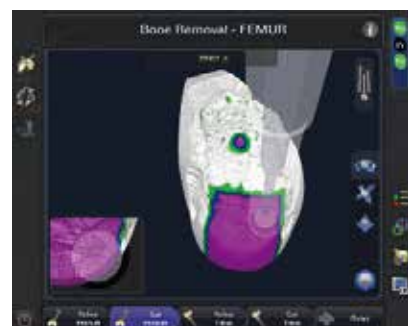
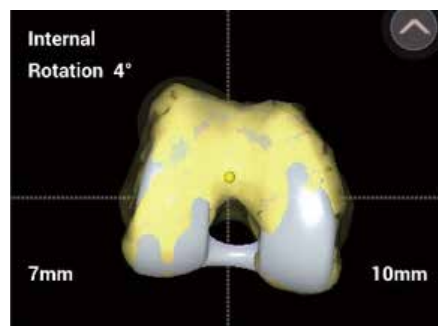


TOPICS

人工膝関節手術支援

ロボット CORI を用いた確実な手術

当科では2019年に我が国初となる人工膝関節手術支援ロボット NAVIO を導入し、その後次世代型ロボット CORI を導入しました。ナビゲーション下で骨を1mm・1°未満の誤差精度で掘削することにより、インプラントの理想的な設置を実現します。単顆人工膝置換術・非常に高い精度を求められる膝十字靭帯温存人工膝関節などに応用し、着実に症例を重ねております。高難度手術の成績も安定しており、今後の術後患者満足度の向上に貢献してくれるものと思われます。





責任者/診療部長 大塚 篤司 主任教授

出身大学 信州大学

専門分野 アトピー性皮膚炎の治療、悪性黒色腫の治療、乾癬の治療

専門医資格 アレルギー専門医・皮膚科専門医

## 特殊〔専門〕疾患

- アトピー性皮膚炎
- ポートワイン血管腫
- 足白癬(みずむし)・爪白癬
- 乾癬
- 蕁状血管腫などのアザ
- ざ瘡(にきび)
- 掌蹠膿疱症
- 皮膚悪性腫瘍
- お年寄りにみられる皮膚病
- 薬剤アレルギー
- (メラノーマ、有棘細胞がん、基底細胞がん、悪性リンパ腫)
- (そう痒症、乾皮症)
- 接触皮膚炎(かぶれ)
- 膠原病(強皮症など)
- 尋常性白斑
- 自己免疫性水疱症
- 日光黒子(老人斑)・肝斑・
- 円形脱毛症
- (天疱瘡、類天疱瘡)
- 雀卵斑(シミ・ソバカス)
- 角化異常疾患(魚鱗癬)
- 太田母斑
- 光線過敏症
- 異所性蒙古斑

## 診療内容

疾患名	治療方針
レーザー	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎各種紫外線(PUVA、ナローバンド UVB)、エキシマライトによる治療</li> <li>◎炭酸ガスレーザーを用いた皮膚腫瘍および母斑の治療</li> <li>◎シミ・ソバカスに対するレーザーを含む総合的治療</li> <li>◎他院ではあまり備えられていない各種のレーザー照射装置を完備している。Qスイッチルビーレーザー、色素レーザー、炭酸ガスレーザーによる治療を行っている。</li> <li>◎光老化皮膚にみられるシミに対してレーザーを含む光治療を行い、良好な効果を得ている。</li> <li>◎尋常性白斑に対して紫外線治療を行っている。</li> </ul>
アトピー・乾癬・天疱瘡	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎乾癬・アトピー性皮膚炎に対する生物学的製剤及び紫外線治療</li> <li>◎足白癬・爪白癬に対する内服・外用治療</li> <li>◎乾癬に対して各種紫外線治療や生物学的製剤を用いた治療を行っている。</li> <li>◎アトピー性皮膚炎に対して紫外線治療、生物学的製剤による治療、抗原回避のための生活指導を行っている。</li> </ul>
悪性腫瘍	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎皮膚悪性腫瘍に対する総合的治療</li> <li>◎皮膚悪性腫瘍に対して手術治療及び化学療法を積極的に行っている。</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎光線過敏症の治療と紫外線防御剤による予防</li> <li>◎膠原病の皮膚病変に対する診断と治療</li> <li>◎座瘡に対する総合的治療</li> <li>◎尋常性白斑に対する各種治療</li> <li>◎円形脱毛症に対する感作療法</li> <li>◎薬剤アレルギー・接触皮膚炎の原因(抗原)の同定と患者さんの指導</li> <li>◎糖尿病の足病変に対する診断と治療</li> <li>◎女性のスキンケア</li> </ul>



## 担当医師

1 役職/職位 2 出身大学 3 専門分野 4 専門医資格



## 中嶋 千紗

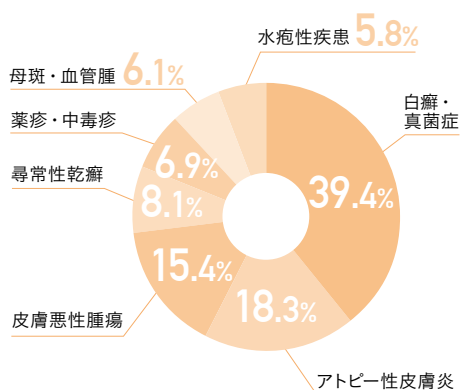
1 講師/医局長 2 大阪市立大学  
3 アトピー性皮膚炎の治療  
4 皮膚科専門医

## 小森 崇矢

1 医学部講師 2 富山大学  
3 皮膚悪性腫瘍の治療、皮膚外科  
4 皮膚科専門医

医師名	役職/職位	出身大学	専門分野	専門医資格
臼居 駿也	医学部講師 病棟医長 外来医長	金沢大学	皮膚悪性腫瘍の治療、皮膚病理	皮膚科専門医
廣田 菜々子	助教	近畿大学	皮膚科一般	乾癬の治療
香川 奈菜	助教	近畿大学	皮膚科一般	—
松尾 彩子	助教	兵庫医科大学	皮膚科一般	—

## 疾患別診療実績 (患者数割合)



## TOPICS 1

乾癬とアトピー性皮膚炎に対する  
新規の治療

乾癬は皮膚が赤くなって(紅斑)、皮がむける(鱗屑)病変が、肘・膝・お腹・背中・頭などに広がる病気です。指の関節が腫れて痛くなることもあります。乾癬の治療方法の中で注射薬として生物学的製剤が開発され、とても有効であることがわかってきました。現在10種類あり、それぞれの患者さんの状態に応じて一番合っているものを使うことができます。当科では特にこの治療に力を入れており、専門外来で治療しています。

アトピー性皮膚炎は子どもの頃に発症するアレルギーによる病気です。かゆみの強い湿疹が顔を含めて広がり、とてもつらい病気です。アトピー性皮膚炎の治療では、最近アレルギーを抑える生物学的製剤の注射薬やステロイドとは異なる飲み薬や塗り薬が開発され、使えるようになりました。当科ではアトピー性皮膚炎に対する治療にも力を入れており、専門外来で治療しています。これらの病気で悩まれている方は、是非当科を受診され、ご相談してください。

## TOPICS 2

## 皮膚悪性腫瘍と皮膚良性腫瘍に対する最先端の治療

皮膚のできものを腫瘍といいます。腫瘍には悪性と良性があります。悪性腫瘍としては、メラノーマ(悪性黒色腫)、有棘細胞がん、基底細胞がんなどがあります。良性腫瘍としては、色素性母斑(ほくろ)、脂漏性角化症、アテローム、脂肪腫などがあります。どの腫瘍も詳細な診察、様々な方法による検査、組織試験採取などで正確な診断をつけます。そして必要なものに対しては外科的に切除する治療方法をとります。当科と形成外科の運営によるスキンサージェ

リーセンターにおいて、専門のスタッフが皮膚悪性腫瘍と皮膚良性腫瘍に対しての正しい診断と高度な外科的治療に力を入れています。本センターは他の大学病院にはないもので、それぞれの患者さんにとって最適な手術をすることをモットーにしています。また、皮膚悪性腫瘍に対しては治療を含めた最先端の治療を行っています。皮膚のできもので心配されている患者さんがおられましたら、ご相談してください。



責任者／診療部長 富田 興一 主任教授

出身大学 大阪大学

専門分野 乳房再建、マイクロサージャリー

専門医資格 形成外科専門医

## 特殊〔専門〕疾患

身体全般にわたる体表面の先天性疾患をはじめとし、頭蓋、顔面、四肢の外傷、および腫瘍などの後天性疾患に対して、形態的のみならず機能的な外科的修復と再建を行っている。

## 診療内容

疾患名	治療方針
外傷	上肢・下肢の外傷（切断四肢再接着、外傷後の組織欠損（二次再建）、顔面骨折、顔面軟部組織損傷、頭部・頸部・体幹の外傷、熱傷、など
先天異常	頸部・四肢・体幹の先天異常、頭蓋・顎・顔面の先天異常（唇裂・口蓋裂）
腫瘍	悪性腫瘍、腫瘍の続発症、腫瘍切除後の組織欠損（一次・二次再建）、良性腫瘍、など
瘢痕・瘢痕拘縮・ケロイド	肥厚性瘢痕・ケロイド、瘢痕拘縮
難治性潰瘍	褥瘡、その他の潰瘍（下腿・足潰瘍を含む）、など
炎症・変性疾患	顔面神経麻痺、手足の炎症・変性疾患
その他	眼瞼下垂、腋臭症、など

## 担当医師

1 役職/職位 2 出身大学 3 専門分野 4 専門医資格



## 楠原 廣久

1 准教授/医局長 2 近畿大学  
3 手外科・マイクロサージャリー  
4 形成外科専門医

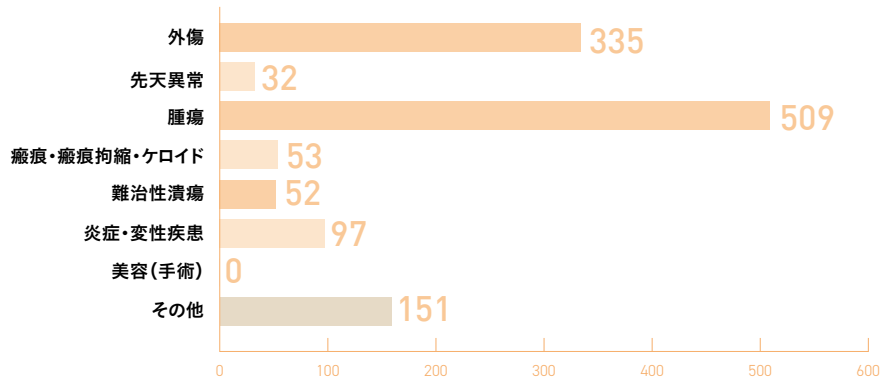
## 中尾 仁美

1 医学部講師/病棟医長 2 徳島大学  
3 眼瞼下垂  
4 形成外科専門医

## 末吉 遊

1 医学部講師/外来医長 2 近畿大学  
3 形成外科  
4 形成外科専門医

## 疾患別診療実績 (疾患大分類手技数)



## TOPICS 1

近畿大学形成外科では、教室伝統の「独創精神」を継承し、常に新しい手術技術の開発を目指しております。その代表として、遊離皮弁、有茎皮弁、脂肪注入、人工物といった様々な手法を用いた乳房再建術(富田 主任教授)や、マイクロサージャリーを駆使した手の外科、上・下肢リンパ浮腫治療(楠原 准教授、末吉 医学部講師)が挙げられます。その他、外科(食道再建)、耳鼻咽喉・頭頸部外科(頭頸部再建)、整形外科(四肢、腹壁再建)、脳神経外科

(頭蓋底再建)、婦人科および泌尿器科(腹壁、会陰部再建)など、多くの外科系教室と連携して再建外科治療を行うことで、患者さんのQOL(生活の質)を維持・向上できるよう努めております。さらには、近年注目が高まっている抗加齢医療にも力を注いでおります。特に、患者さんのQOL向上に直結する眼瞼下垂の治療においては、多くの実績を有しております(中尾 医学部講師)

## TOPICS 2

皮膚悪性腫瘍の罹患数は年間約30,000例発生し、特に高齢者(60歳以上)の罹患率は約2倍(2003年 vs 2013年の比較)に上昇している。今後、高齢化に伴い、皮膚腫瘍に対する診療ニーズは高まることが予測される。近畿大学病院は、皮膚良性・悪性腫瘍手術の取り扱い件数が全国で最も高い施設の1つである。これまでの臨床経験を基盤に、2020年、皮膚科および形成外科が共同運

営する、皮膚悪性腫瘍、悪性黒色腫、皮膚良性腫瘍の包括的かつ最先端治療を行う「スキンサージャリーセンター」が開設された。形成外科、皮膚科および関連科(麻酔科、腫瘍内科など)のスタッフが緊密に連携し、皮膚病変の診断から外科的治療、退院後の局所および全身管理などの一連の治療過程を、高いレベルで迅速に対応することを目指している。



責任者／診療部長 藤田 和利 主任教授

出身大学 大阪大学

専門分野 尿路悪性腫瘍・内視鏡手術・アンドロロジー

専門医資格 泌尿器科専門医・生殖医療専門医

## 特殊〔専門〕疾患

一般泌尿器科(血尿の精査・前立腺肥大症・尿路感染症など)はもちろんの事、特に尿路性器腫瘍(前立腺がん、膀胱がん・腎がん・精巣がん・陰茎がん・副腎腫瘍・他の後腹膜腫瘍など)の外科的治療(ロボット支援手術、腹腔鏡手術など)および薬物療法、排尿障害、尿路結石症、腎移植(献腎・生体)、男性不妊症に重点をおいた診療を行っています。また、現在開発中の新薬に関する多くの臨床試験(治験)にも参加し、先進的医療も含め常に最新の医療の提供に取り組んでいます。

## 診療内容

疾患名	治療方針
腫瘍	<p>◎尿路性器悪性腫瘍 ……根治が期待できる症例は手術療法が主体ですが、化学療法、放射線療法なども組み合わせた集学的治療計画を立てます。</p> <p>◎前立腺がんは最近増加傾向にあり、触診、腫瘍マーカー、エコーやMRIで疑わしい所見があれば積極的に針生検を行い早期発見に努めています。限局がんの場合は手術だけでなく前立腺がん小線源治療(Brachytherapy)や強度変調放射線治療法(IMRT)も行っています。</p> <p>◎悪性腫瘍に対する手術療法は腎がん、腎盂・尿管がん、前立腺がん、膀胱がんを中心に体腔鏡やダヴィンチ手術支援ロボットによる治療も積極的に行っています。</p>
移植	<p>◎腎移植 ……大阪府下における献腎移植(登録)施設の1つとして認定されています。また、生体腎移植を希望される方にも対応しています。</p>
その他	<p>◎血尿 ……理学的所見、検尿・尿沈査・血液検査やレントゲン検査などにより原因疾患を調べます。膀胱鏡検査を行うこともあります。</p> <p>◎排尿障害 ……排尿時疼痛、尿失禁、頻尿、尿線狭小化・途絶、尿勢減弱等々に関して理学的所見、神経学的検査、血液検査やレントゲン検査などにより原因を調べます。</p> <p>◎尿路性器の疼痛 ……結石や腫瘍などを鑑別するため、理学的所見、検尿・尿沈査、血液検査やレントゲン検査などを行います。</p> <p>◎前立腺肥大症 ……最近では薬物療法が進歩し第一選択になります。手術療法では経尿道的切除術が主体となります。</p> <p>◎神経因性膀胱 ……神経疾患、糖尿病、骨盤内手術後などに合併した排尿障害に対し、ウロダイナミクス(尿流量率、尿道内圧、膀胱内圧測定、括約筋筋電図により蓄尿、排尿機能を総合的に判定します)などの結果をもとにQOLを念頭において膀胱、腎機能温存を第一の目的とした最適な尿路管理法を検討します。</p> <p>◎尿失禁 ……中高年女性に比較的多い尿失禁に対しては、薬物療法や骨盤底筋群体操などを第一選択とし、手術適応例には積極的に尿失禁防止手術を施行します。</p> <p>◎尿路結石症 ……経尿道的尿路結石除去術が主体ですが、結石発生原因を検索し再発予防に重点をおいた治療をしています。</p> <p>◎膀胱尿管逆流症 ……軽症例に対しては、内視鏡的逆流防止術を積極的に行っており、入院期間も数日です。</p> <p>◎男性不妊 ……「顕微授精」を行うことを目的として精子を採取する精巣内精子採取術を行います。</p>



## 担当医師

1 役職/職位 2 出身大学 3 専門分野 4 専門医資格



## 吉村 一宏

1 教授 2 和歌山県立医科大学  
3 尿路結石・内視鏡手術・泌尿器悪性腫瘍  
4 泌尿器科専門医

## 南 高文

1 准教授 2 近畿大学  
3 尿路悪性腫瘍  
4 泌尿器科専門医

## 森 康範

1 医学部講師 2 近畿大学  
3 腎移植・腎不全  
4 泌尿器科専門医

## 杉本 公一

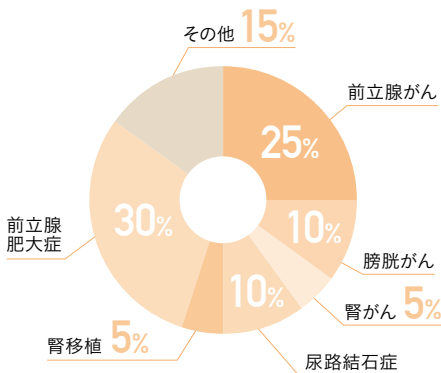
1 医学部講師 2 近畿大学  
3 尿路悪性腫瘍  
4 泌尿器科専門医

## 橋本 士

1 医学部講師/外来医長・医局長 2 三重大学  
3 下部尿路機能障害  
4 泌尿器科専門医

医師名	役職/職位	出身大学	専門分野	専門医資格
菊池 堯	助教	近畿大学	腎移植、腎不全	泌尿器科専門医
豊田 信吾	助教/病棟医長	近畿大学	泌尿器全般	泌尿器科専門医
藤本 西蔵	助教	徳島大学	泌尿器全般	泌尿器科専門医
北 博行	助教	大阪市立大学	泌尿器全般	—

## 疾患別診療実績 (患者数割合)



## TOPICS 1 ロボット支援下内視鏡手術

ロボット支援下手術は腹腔鏡手術と同じように小さな切開創で、医師の操作に従って内視鏡・メス・鉗子を動かして行う内視鏡手術です。ダヴィンチ Xi サージカルシステムはより複雑な手術を可能とするため開発されました。

本術式は、傷が小さく痛みが軽度で、手術中の出血量が少なく、手術後の感染リスクが低下し回復が早く、入院期間が短いという利点があります。

2012年前立腺全摘除術、2016年腎部分切除術、2018年膀胱全摘除術、2022年腎全摘除術・腎尿管全摘除術・副腎摘出術が保険適応となっています。

当科においても積極的に施行しており、今後その適応疾患はより広がるものと考えています。

## TOPICS 2 不妊治療

2022年4月から、人工授精等の「一般不妊治療」、体外受精・顕微授精等の「生殖補助医療」が、保険適用となりました。当院においては、産婦人科と泌尿器科が連携して治療を行っております。

男性不妊の原因として、無精子症や高度乏精子症、精子無力症(精巣の中の精子の総運動率が低い病態)など、精液の中に精子が十分に存在しない病態が挙げられます。泌尿器科において行っている精巣内精子採取術は、「顕微

授精」を行うことを目的として精子を採取する手術のことを指します。造精機能がある程度保たれている場合は、精巣を少し切開して精細管を採取する方法(精巣精子採取術(TESE: testicular sperm extraction))で精子を採取できます。造精機能が障害されている場合は、顕微鏡を使って、精巣中の精細管を観察し、精子が造られていそうな太く白い精細管を限定的に回収する方法(顕微鏡下精巣精子採取術(MD-TESE: microdissection TESE))があります。



責任者／診療部長 日下 俊次 主任教授

出身大学 大阪大学

専門分野 網膜硝子体疾患、白内障

専門医資格 眼科専門医

## 特殊〔専門〕疾患

- 眼科一般
- 網膜硝子体疾患（サージカル網膜）
- 斜視弱視
- 角膜疾患
- 網膜硝子体疾患（メディカル網膜）
- ぶどう膜炎
- 白内障
- 緑内障
- コンタクトレンズ

## 診療内容

疾患名	治療方針
網膜	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎未熟児網膜症をはじめとする難治性小児網膜疾患の手術治療</li> <li>◎網膜剥離、増殖性硝子体網膜症、増殖糖尿病網膜症の手術治療</li> <li>◎加齢黄斑変性その他の疾患に対する抗 VEGF 治療、光線力学療法</li> <li>◎網膜変性疾患の診断</li> <li>◎難治性小児網膜疾患の手術治療は国内外広く紹介を受ける</li> <li>◎院内倫理委員会の承認を得て、抗 VEGF 治療の適応を拡大し、治療を行っている</li> <li>◎電気生理学的手法および分子生物学的手法を用いた網膜変性疾患の診断</li> </ul>
緑内障	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎線維柱帯切開、線維柱帯切除、tube インプラント手術等、病状に合わせた手術加療</li> <li>◎視野検査と眼底画像解析を用いた病状評価</li> <li>◎緑内障性視野障害の早期発見、視野障害進行の検出が可能な視野検査方法の開発</li> </ul>
角膜	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎全層移植、深層層状移植、デスメ膜内皮移植など症例に応じた角膜移植術</li> <li>◎再発翼状片や瘢痕性角結膜上皮症など難治性前眼部疾患に対する羊膜移植術</li> <li>◎前眼部や外眼部の良性および悪性腫瘍に対する手術治療</li> <li>◎塗抹検鏡やメタゲノム解析など幅広い検査を用いた眼感染症の迅速かつ厳密な診断と治療</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎眼炎症疾患に対する診断および治療</li> <li>◎斜視弱視疾患の診断と治療</li> <li>◎眼瞼下垂、眼瞼皮膚弛緩症、眼瞼内反症など眼瞼退行性疾患に対する手術治療</li> </ul>

担当医師

1 役職/職位 2 出身大学 3 専門分野 4 専門医資格



**國吉 一樹**  
 1 教授 2 大阪市立大学  
 3 網膜硝子体疾患  
 4 眼科専門医



**江口 洋**  
 1 准教授 2 徳島大学  
 3 角膜疾患、結膜疾患、眼瞼疾患  
 4 眼科専門医



**野本 裕貴**  
 1 准教授/病棟医長 2 近畿大学  
 3 緑内障、網膜硝子体疾患  
 4 眼科専門医



**七部 史**  
 1 講師/外来医長 2 近畿大学  
 3 斜視弱視、緑内障  
 4 眼科専門医



**岩橋 千春**  
 1 講師/医局長 2 大阪大学  
 3 ぶどう膜炎疾患  
 4 眼科専門医



**坂本 万寿夫**  
 1 医学部講師 2 近畿大学  
 3 ぶどう膜炎疾患、網膜硝子体疾患  
 4 眼科専門医



**眞野 福太郎**  
 1 医学部講師 2 大阪医科大学  
 3 網膜硝子体疾患  
 4 眼科専門医

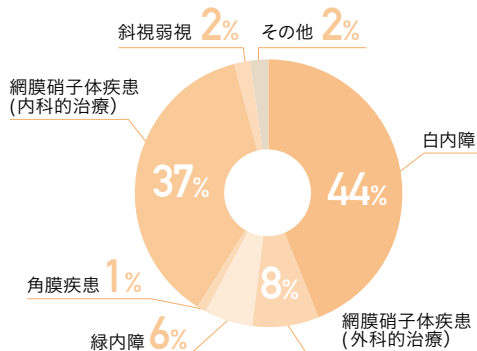


**堀田 芙美香**  
 1 医学部講師 2 徳島大学  
 3 角膜疾患  
 4 眼科専門医

医師名	役職/職位	出身大学	専門分野	専門医資格
歌村 翔子	助教	愛知医科大学	斜視弱視、小児眼科	眼科専門医
西田 功一	助教	金沢医科大学	斜視弱視	眼科専門医
石橋 眞里佳	助教	近畿大学	網膜硝子体疾患(メディカル網膜)	眼科専門医
佐藤 朋子	助教	近畿大学	網膜硝子体疾患(メディカル網膜)	眼科専門医
栗原 智樹	助教	大阪大学	網膜硝子体疾患	—
若山 典子	助教	帝京大学	眼科一般	—

疾患別診療実績(患者数割合)

2023年1月~12月分



TOPICS 1 南大阪エリアにおける唯一の施設

眼は体の中では小さな器官ですが、角膜、水晶体、硝子体、網膜等の様々な組織により構成されています。そのため病気によっては専門性の高い治療が必要になってきます。また、眼の病気には保存的(内科的)加療が必要なもの、手術加療が必要なものと様々なものがあります。近畿大学病院眼科は南大阪エリアでは唯一、角膜、網膜硝子体、緑内障、斜視弱視、ぶどう膜炎に対して保存的、手術加療が行える施設となっています。特に手術加療については積極的に行っており、2023年は3,756件の手術を行っております。外傷、網膜剥離等の緊急手術が必要な場合はご連絡いただけましたら時間外でも対応致します。

TOPICS 2 難治性眼疾患に対する手術加療

未熟児網膜症を代表とする小児の網膜硝子体疾患は眼疾患の中でも難治性の高いものとなっております。近畿大学病院眼科では小児科及び麻酔科医師の協力体制のもと、国内外より多くの小児網膜硝子体疾患患者さんをご紹介頂き手術加療を行っております。また、網膜動脈閉塞症や難治性黄斑円孔に対する硝子体手術、血管新生緑内障に対

する硝子体手術併用チューブインプラント手術、角膜疾患に対するデスメ膜内皮移植術(DMEK)、硝子体手術併用角膜移植手術等を行っております。経過でお困りの方がいらっしゃいましたら、近畿大学病院眼科外来までお問い合わせ下さい。



責任者／診療部長 安松 隆治 主任教授

出身大学 山口大学

専門分野 頭頸部腫瘍

専門医資格 耳鼻咽喉科専門医

## 特殊〔専門〕疾患

- 頭頸部疾患……口腔がん、咽頭がん、喉頭がん、甲状腺腫瘍、唾液腺腫瘍、音声・嚥下障害、扁桃炎など
- 中耳疾患……慢性化膿性中耳炎、真珠腫性中耳炎、耳硬化症、中耳奇形など
- 難聴疾患……突発性難聴、遺伝性難聴、加齢性難聴、外リンパ瘻など
- めまい疾患……メニエール病、良性発作性頭位めまい、前庭神経炎、聴神経腫瘍など
- 顔面神経麻痺…ベル麻痺、ハント症候群、外傷性顔面神経麻痺など
- 側頭骨病変……中耳・外耳の良性腫瘍、外耳がん、中耳がんなど
- 鼻副鼻腔疾患…アレルギー性鼻炎、急性・慢性鼻副鼻腔炎、鼻副鼻腔がん、鼻出血など

## 診療内容

疾患名	治療方針
腫瘍	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎頭頸部腫瘍の診断と治療……………頭頸部がんに対する集学的治療、唾液腺腫瘍・甲状腺腫瘍に対する外科治療</li> <li>◎経口的咽喉頭悪性腫瘍手術、ロボット手術、頭頸部アルミノックス治療（光免疫療法）の導入</li> <li>◎頭頸部がん専門医とがん治療専門医による集学的治療の推進</li> </ul>
難聴	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎伝音難聴の診断と治療……………慢性中耳炎・真珠腫性中耳炎に対する鼓室形成術、耳硬化症・中耳奇形に対するアブミ骨手術、難治性伝音難聴に対する人工中耳手術、中耳腫瘍に対する側頭骨外科手術</li> <li>◎感音難聴の診断と治療……………先天聾・高度感音難聴に対する人工内耳手術、突発性難聴に対するステロイド治療、遺伝性難聴の遺伝子診断、感音難聴に対する補聴器適合検査、聴覚・言語障害のリハビリテーション</li> </ul>
めまい	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎めまい疾患の診断と治療……………メニエール病に対する薬物治療と内リンパ嚢開放術・迷路破壊術、良性発作性頭位めまい症に対する耳石置換法と半規管遮断術、外リンパ瘻に対する内耳窓閉鎖術、慢性めまいに対する前庭リハビリテーション／平衡訓練</li> </ul>
鼻・副鼻腔	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎鼻・副鼻腔疾患の診断と治療……………慢性副鼻腔炎・アレルギー性鼻炎に対する内科治療と内視鏡下鼻・副鼻腔手術</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎顔面神経麻痺の診断と治療……………ベル麻痺・ハント症候群に対する内科治療と顔面神経減荷術</li> <li>◎鼻・副鼻腔疾患の診断と治療……………慢性副鼻腔炎・アレルギー性鼻炎に対する内科治療と内視鏡下鼻・副鼻腔手術</li> <li>◎音声障害、嚥下障害の診断と治療…音声障害に対する音声外科手術、嚥下障害のリハビリテーション</li> <li>◎最先端で高度な感覚器医療（人工内耳医療、人工中耳医療、遺伝子医療）の提供</li> <li>◎内視鏡手術、ナビゲーション手術、ロボット手術の導入</li> </ul>



## 担当医師

1 役職/職位 2 出身大学 3 専門分野 4 専門医資格



## 山中 敏彰

1 教授 2 奈良県立医科大学  
3 耳科・神経耳科手術、めまい平衡医学  
4 耳鼻咽喉科専門医

## 北野 陸三

1 講師/医局長 2 近畿大学  
3 頭頸部腫瘍、嚥下  
4 耳鼻咽喉科専門医

## 若崎 高裕

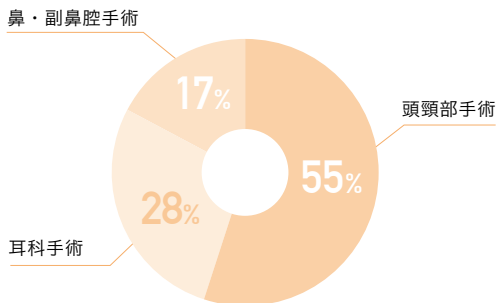
1 講師/病棟医長 2 九州大学  
3 頭頸部腫瘍  
4 耳鼻咽喉科専門医

## 佐藤 満雄

1 医学部講師 2 近畿大学  
3 頭頸部腫瘍、耳科  
4 耳鼻咽喉科専門医

医師名	役職/職位	出身大学	専門分野	専門医資格
安倍 大輔	助教	広島大学	耳鼻咽喉科一般	耳鼻咽喉科専門医
大山 寛毅	助教	奈良県立医科大学	鼻科、めまい平衡医学	耳鼻咽喉科専門医
木村 隆幸	助教/外来医長	近畿大学	頭頸部腫瘍	耳鼻咽喉科専門医
大平 乃理子	助教	近畿大学	耳鼻咽喉科一般	—
岩元 秀輔	助教	近畿大学	耳鼻咽喉科一般	—
宮本 一宏	助教	岩手医科大学	耳鼻咽喉科一般	—

## 疾患別診療実績 (患者数割合)



## TOPICS

最先端の耳鼻咽喉科診療  
—頭頸部がん診療と感覚器医療

耳鼻咽喉科が取り扱う疾患は、難聴、めまい、嗅覚・味覚障害、音声・嚥下障害、頭頸部腫瘍と多岐にわたり、いずれの疾患でも患者さんの日常生活のQOLが大きく低下することになる。近畿大学病院の耳鼻咽喉・頭頸部外科では、頭頸部がん診療と感覚器医療を中心に、耳・鼻・咽喉頭の各専門外来においてそれぞれ最先端の診療を行っている。

頭頸部がん診療では、耳鼻咽喉・頭頸部外科、腫瘍内科、放射線科との腫瘍カンファレンスで治療方針を決定した後、頭頸部外科手術全般に関しての高い手術技能と豊富な経験を生かし、エビデンスのある医療、集学的な頭頸部がん診療を提供している。最先端の放射線治療や、抗がん剤治療についても適切な対応が可能で、個々の患者さんのQOLを最優先とする最新の頭頸部がん診療を実施している。



責任者／診療部長 松村 謙臣 主任教授

出身大学 京都大学

専門分野 腫瘍、内視鏡手術、周産期

専門医資格 産婦人科専門医・婦人科腫瘍専門医

## 特殊〔専門〕疾患

- 子宮頸がん
- 子宮肉腫
- 卵巣のう腫
- 絨毛性疾患
- 子宮体がん
- 子宮筋腫
- 骨盤臓器脱
- 不妊症
- 卵巣がん
- 子宮内膜症
- 合併症妊娠
- 更年期障害
- 外陰・膣がん
- 子宮腺筋症
- 胎児異常

## 診療内容

疾患名	治療方針
婦人科腫瘍	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎婦人科がん手術</li> <li>◎婦人科がん化学療法</li> <li>◎腹腔鏡を用いた診断と治療</li> <li>◎子宮鏡を用いた診断と治療</li> <li>◎顕微鏡下手術</li> <li>◎卵管鏡を用いた診断と治療</li> <li>◎ロボット手術</li> <li>◎婦人科がん（子宮頸がん・子宮体がん・卵巣がん・その他）においては、婦人科腫瘍専門医による手術療法・がん化学療法・放射線療法などの集学的治療を行っている。手術療法は、子宮頸がんでは円錐切除のほかに初期では子宮頸部広汎性切除術による妊孕性温存治療、神経温存広汎子宮全摘による膀胱機能温存を行い、進行例には術前化学療法後の超広汎子宮全摘や骨盤除臓術まで含めた根治手術を行う。卵巣がんに対しては、手術とさまざまな化学療法の最適な組み合わせを行っている。また、子宮体がん・頸がんに対する腹腔鏡手術、ロボット手術も積極的に導入している。</li> <li>◎子宮筋腫及び良性卵巣腫瘍については、多くの症例で開腹を行わない腹腔鏡下手術を行っており術後の早期回復と早期退院が可能である。</li> </ul>
産科	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎合併症妊娠の管理</li> <li>◎体外受精・胚移植</li> <li>◎合併症妊娠については、カラードプラーを用いた胎児発育管理、及び小児科・内科・心臓小児科との共同管理を行っている。</li> <li>◎不妊症治療については総合的診断のもとに各個人に最適な治療法を選択しており、また不妊症に伴う合併症疾患についても、不妊・内視鏡・腫瘍の各専門班が協力して診断と治療を担当する。</li> </ul>
更年期	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎更年期の診断と治療</li> <li>◎骨盤臓器脱の診断と治療</li> </ul>

## 担当医師

1 役職/職位 2 出身大学 3 専門分野 4 専門医資格



### 小谷 泰史

- 1 講師/婦人科病棟医長・医局長
- 2 近畿大学
- 3 内視鏡手術、女性医学、腫瘍
- 4 産婦人科専門医・婦人科腫瘍専門医



### 高矢 寿光

- 1 医学部講師
- 2 京都府立医科大学
- 3 腫瘍、内視鏡手術
- 4 産婦人科専門医・婦人科腫瘍専門医

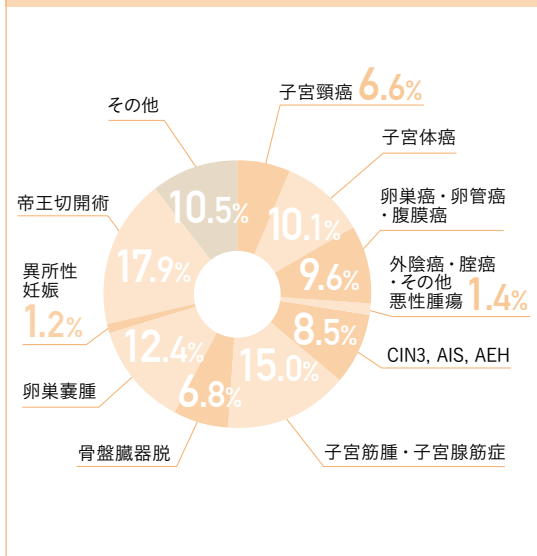


### 川崎 薫

- 1 医学部講師
- 2 京都大学
- 3 周産期
- 4 産婦人科専門医

医師名	役職/職位	出身大学	専門分野	専門医資格
中井 英勝	准教授/外来医長	近畿大学	腫瘍	産婦人科専門医・婦人科腫瘍専門医・細胞診専門医
貫戸 明子	医学部講師	近畿大学	女性医学	産婦人科専門医
葉 宜慧	医学部講師/産科病棟医長	近畿大学	周産期	産婦人科専門医
甲斐 冨	助教	関西医科大学	産婦人科一般	産婦人科専門医
森内 芳	助教	岡山大学	産婦人科一般	産婦人科専門医・超音波専門医
黄 彩実	助教	岐阜大学	産婦人科一般	産婦人科専門医
山本 貴子	助教	兵庫医科大学	産婦人科一般	産婦人科専門医
城 玲央奈	助教	大阪医科大学	産婦人科一般	産婦人科専門医
太田 真見子	助教	福井大学	産婦人科一般	産婦人科専門医・婦人科腫瘍専門医
加嶋 洋子	助教	徳島大学	産婦人科一般	産婦人科専門医
福田 奈穂	助教	近畿大学	産婦人科一般	産婦人科専門医
新垣 紀子	助教	熊本大学	産婦人科一般	—

## 疾患別診療実績 (患者数割合)



## TOPICS 1 腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術

子宮がんは子宮体がんと子宮頸がんに分かれています。近年、子宮がんに対する腹腔鏡下手術（腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術）が保険適用となりました。腹腔鏡下手術は、おなかの傷が小さく患者さんの回復が早いという特徴があります。子宮体がんについては、2014年に再発リスクの少ない早期例に対し、腹腔鏡下に子宮および卵巣・卵管を摘出し骨盤リンパ節郭清を行う手術が保険適用となり、この手術に関しては2018年からロボット支援下腹腔鏡手術も可能になりました。再発リスクが高い子宮体がんでは、上腹部にある傍大動脈リンパ節の郭清も行う必要がありますが、2020年にはその腹腔鏡下手術が保険適用となりました。子宮頸がんに対する手術は、子宮周囲の組織や腔壁を大きく摘出する広汎子宮全摘術を行うものであり、2018年には子宮頸がんに対する腹腔鏡下手術が保険適用となりました。近畿大学病院産婦人科は、すべての腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術について保険適用となる前から先進医療として行ってきて、日本有数の豊富な手術件数となっています。

## TOPICS 2 産科地域医療連携・周産期搬送

世界的にみて、年間数千件の分娩を取り扱う大規模分娩施設での分娩が増えていますが、日本では、きめ細やかなサービスを提供する開業の産科クリニックや、小・中規模医療機関が、高次医療機関と緊密な連携を組んで産科医療を提供する体制が作られてきました。近畿大学病院産婦人科は、2017年から、外部の医療機関から直接産婦人科当直医につながる電話「周産期コール」をもうけて、妊産婦の紹介を積極的に受け入れてきました。その紹介は

年間120件をこえており、その応需率は90%前後と高く保つことができています。近畿大学病院産婦人科は、内科合併症や産科疾患により高度な医療が必要な妊産婦を多数受け入れており、さらに大阪府から「最重症合併症妊産婦受入医療機関」として登録され、特に母児に生命の危機がせまった妊産婦を受け入れています。また、妊娠中に胎児の異常を診断するための外来ももうけており、出生後、NICUでただちに児の治療を行える体制を構築しています。



責任者/診療部長 石井 一成 主任教授  
 出身大学 神戸大学  
 専門分野 放射線診断学、核医学  
 専門医資格 放射線診断専門医・核医学専門医

### 特殊 [ 専門 ] 疾患

- 全身の総合画像診断
- 肝がんに対する経動脈的・経門脈的治療
- 消化管出血の動脈塞栓術
- アミロイド PET
- 胆管系疾患に対する低侵襲性治療（ドレナージ、ステントなど）
- 血管系病変に対するカテーテル治療

### 診療内容

疾患名	治療方針
画像診断 全ての疾患 インターベンショナル ラジオロジー (IVR) ・悪性腫瘍 ・消化器疾患 ・頭頸部疾患 ・婦人科疾患	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎単純レントゲン写真、CT、MRI、消化管造影などの全身の総合画像診断</li> <li>◎高性能マルチスライス CTを用いた3次元、4次元画像診断</li> <li>◎核医学、PET診断</li> <li>◎動脈塞栓療法や胆道ステントなどの画像診断装置を利用した低侵襲性治療（インターベンショナルラジオロジー・IVR）</li> <li>◎CT、MRI、SPECT、PETなど各種画像診断を有機的に結びつけて正確な診断を行なうことにより、適切な治療を実現している。</li> <li>◎近畿大学高度先端総合医療センター PET分子イメージング部において密接な連携を保ち、精度の高い全身画像診断を行なっている。</li> <li>◎画像診断装置を利用した低侵襲性治療（インターベンショナルラジオロジー・IVR）として肝がんに対する動脈塞栓術、動注療法を積極的に行なっている。また、動脈瘤のコイル塞栓療法や胆管系、血管系のステント治療も行なっている。</li> <li>◎脳核医学、心臓核医学、腫瘍核医学においてコンピュータを用いた最新の解析方法を取り入れている。</li> <li>◎MRI、SPECT、PETを用いた認知症の早期診断に取り組んでいる。</li> <li>◎院内外の各診療科専門医とカンファレンス交流を進め、画像診断のレベル向上を図っている。</li> </ul>



担当医師

1 役職/職位 2 出身大学 3 専門分野 4 専門医資格



**杉本 幸司**  
 1 教授 2 神戸大学  
 3 放射線診断学、IVR  
 4 放射線診断専門医



**甲斐田 勇人** PET 分子イメージング部  
 1 准教授 2 近畿大学  
 3 核医学  
 4 放射線診断専門医・核医学専門医



**河野 淳**  
 1 准教授 2 神戸大学  
 3 放射線診断学  
 4 放射線診断専門医・核医学専門医



**岡田 卓也**  
 1 准教授/外来医長・病棟医長 2 神戸大学  
 3 放射線診断学、IVR  
 4 放射線診断専門医



**任 誠雲**  
 1 講師/医局長 2 近畿大学  
 3 放射線診断学  
 4 放射線診断専門医・核医学専門医



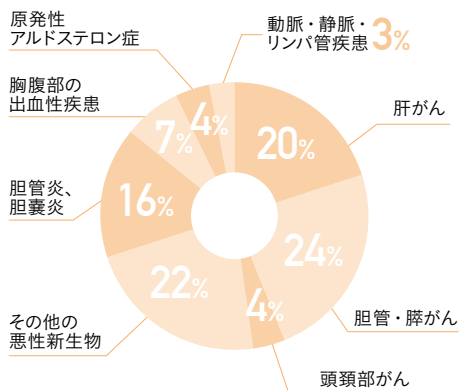
**山田 穰** PET 分子イメージング部  
 1 医学部講師 2 北海道大学  
 3 放射線診断学、核医学  
 4 放射線診断専門医・小児科専門医



**谷 龍一郎**  
 1 医学部講師 2 三重大学  
 3 放射線診断学、IVR  
 4 放射線診断専門医・核医学専門医・救急科専門医

医師名	所属	役職/職位	出身大学	専門分野	専門医資格
兵頭 朋子	中央放射線部	准教授	愛媛大学	放射線診断学	放射線診断専門医
松久保 祐子	PET 分子イメージング部	医学部講師	近畿大学	放射線診断学、核医学	放射線診断専門医・核医学専門医
平山 歩		医学部講師	滋賀医科大学	放射線診断学	放射線診断専門医
鈴木 絢子		助教	近畿大学	放射線診断学	放射線診断専門医

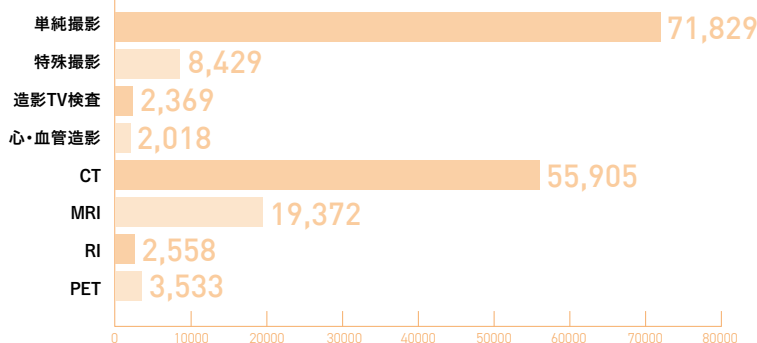
疾患別診療実績 (患者数割合)



TOPICS 子宮筋腫に対する子宮動脈塞栓術 (UAE)

子宮筋腫により起こりうる症状として、月経が長期間続く、経血量が多い、重い生理痛、貧血といった月経に関する症状、尿が近いや便秘などがあります。子宮筋腫に栄養を送る子宮動脈にカテーテルという細い管をいれ、塞栓物質を流して子宮動脈血流を一時遮断することにより、筋腫を衰えさせる治療法です。従来の開腹手術や腹腔鏡手術に代わる新しい方法としてすでに国内外で多く行われています。塞栓物質エンボスフィアが保険診療で使用可能となり効果が安定してきています。子宮動脈塞栓術を受けた方の64-94%に自覚症状の改善が認められ、筋腫の大きさは半年から一年で49-78%縮小(もとの半分から1/3の大きさに)するといわれています。当院では産婦人科医師および麻酔科医師と連携をとり、手技前後の全身管理および疼痛管理を行っています。まずは放射線診断科または産婦人科を受診していただき、この2科の受診にて適応判断を行います。

疾患別診療実績 (件数 2023年)





責任者/診療部長 **松尾 幸憲 主任教授**  
 出身大学 京都大学  
 専門分野 肺がん、消化器がん  
 専門医資格 放射線科専門医

## 特殊 [ 専門 ] 疾患

放射線治療は、手術や薬物療法とならんで、悪性腫瘍(がん)の重要な治療法であり、その適応範囲は頭部から骨盤部、早期から遠隔転移期、若年者から高齢者と非常に多岐にわたります。

### ●悪性腫瘍(がん)

脳腫瘍、頭頸部がん、食道がん、肺がん、乳がん、肝臓がん、膵臓がん、胆道がん、子宮がん、前立腺がん、膀胱がん、腎臓がん、直腸がん、皮膚がん、悪性リンパ腫  
 骨転移、脳転移、リンパ節転移  
 その他、悪性腫瘍全般

### ●良性疾患

ケロイド、翼状片

## 診療内容

疾患名	治療方針
悪性腫瘍	<p>早期がんに対する根治的放射線単独療法</p> <p>肺がん、肝臓がんに対する体幹部定位放射線治療 (SBRT)</p> <p>前立腺がんに対する強度変調放射線治療 (IMRT)</p> <p>その他に早期声門がん、食道がん、子宮頸がんなど</p> <p>手術後の再発予防目的の放射線治療</p> <p>脳腫瘍、頭頸部がん、肺がん、乳がん、食道がんなど</p> <p>局所進行期がんに対する集学的治療(化学療法や手術との併用)</p> <p>頭頸部がん、肺がん、乳がん、食道がん、膵臓がん、胆道がん、腎盂がん、膀胱がん、直腸がん、肛門がんなど</p> <p>少数個転移(オリゴ転移)に対する局所制御放射線治療</p> <p>脳転移に対する定位放射線治療</p> <p>肺転移、肝転移、骨転移、副腎転移に対する体幹部定位放射線治療 (SBRT)</p> <p>その他リンパ節転移など</p> <p>遠隔転移に対する緩和的放射線治療</p> <p>脳転移、骨転移など</p>
良性疾患	<p>再発予防照射: ケロイド、翼状片など</p>

## 担当医師

1 役職/職位 2 出身大学 3 専門分野 4 専門医資格



### 細野 眞

- 1 教授 2 京都大学
- 3 核医学、RI内用療法
- 4 放射線科専門医・核医学専門医



### 中松 清志

- 1 准教授/外来医長 2 近畿大学
- 3 脳腫瘍、婦人科腫瘍、前立腺がん、肺がんなど
- 4 放射線科専門医



### 土井 啓至

- 1 准教授/医局長 2 高知大学
- 3 消化器がん、肺がん、乳がん、骨軟部腫瘍など
- 4 放射線科専門医



### 稲田 正浩

- 1 医学部講師/病棟医長 2 近畿大学
- 3 頭頸部がん、食道がん、前立腺がんの密封小線源治療
- 4 放射線科専門医



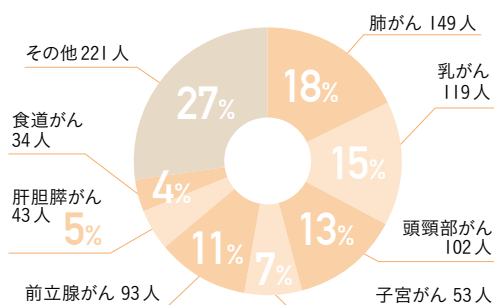
### 植原 拓也

- 1 医学部講師 2 近畿大学
- 3 婦人科腫瘍・頭頸部腫瘍・婦人科腫瘍の小線源治療
- 4 放射線科専門医

医師名	役職/職位	出身大学	専門分野	専門医資格
立野 沙織	助教	福井大学	放射線治療	放射線科専門医
石田 奈緒子	助教	宮崎大学	放射線治療	—

## 疾患別診療実績 (患者数割合)

患者数計 814 人



## TOPICS 1 放射線治療の特徴

年間がん罹患数は100万人におよび、その克服は国民的課題の一つとなっています。放射線治療は、手術および抗がん剤とならぶがん治療の3本柱の一つで、放射線治療には機能と形態の温存が可能であるという大きな特徴があります。がん患者の半数が治癒できるようになった現在、寿命を長らえるだけでなく社会復帰の可能な QOL (quality of life) の高い治療法への社会的要請が強まっています。

放射線治療は、高エネルギー X 線や電子線を発生する直線加速器 (リニアック)、あるいは放射性同位元素を体内に挿入する小線源治療装置で治療します。当科では5名の放射線治療専門医が外来を担当し、2台の最新型高精度リニアックを用いた強度変調放射線治療 (IMRT)、体幹部定位放射線治療 (SBRT)、画像誘導放射線治療 (IGRT)、またヨウ素125線源の永久挿入による前立腺がん小線源治療、子宮がん腔内照射などすべての高精度放射線治療が可能です。

## TOPICS 2 当院で実施している高精度放射線治療

- ・強度変調放射線療法 (IMRT) : 腫瘍の形状に合った線量分布ができる照射法
- ・脳および体幹部定位放射線治療 (SRT) : 小さな腫瘍をピンポイントで高線量照射する
- ・画像誘導放射線治療 (IGRT) : 直線加速器の治療台上で画像を撮影し、治療部位を合わせる
- ・<sup>192</sup>Ir 高線量率小線源治療 : 子宮がんの腔内照射
- ・<sup>125</sup>I 永久挿入密封小線源治療 : 前立腺がんに対する組織内照射
- ・呼吸同期・停止照射法 : 肺がんなどで呼吸の動きに合わせて照射する
- ・PET/CT シミュレーション、4D-CT シミュレーション : 正確な治療計画法
- ・RI 内用療法 : 骨転移などに対する放射線同位元素を用いた治療法



責任者/診療部長 中嶋 康文 主任教授  
 出身大学 京都府立医科大学  
 専門分野 手術麻酔管理、集中治療医学  
 専門医資格 麻酔科専門医

## 特殊〔専門〕疾患

手術麻酔管理は、低出生体重児から超高齢者までのすべての科の麻酔管理（特に、年間300例以上の開心術、ロボット支援手術、小児カテーテルアブレーション、未熟児網膜症などが特徴です）を行っています。集中治療部（ICU: Intensive Care Unit）の管理と疼痛制御センター（ペインクリニック）の業務も行っていきます。

## 診療内容

疾患名	治療方針
手術麻酔管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎手術室における全身麻酔・区域麻酔管理。血管造影室での小児カテーテルアブレーションの全身麻酔管理。</li> <li>◎麻酔科の主な仕事は、全身管理と疼痛管理です。手術麻酔管理では、患者さんの手術中の安全を確保し命を守ることを使命としています。</li> <li>◎術前外来を行い、全身麻酔を含む麻酔全般についての御説明（実際の麻酔のビデオ鑑賞を含む）を行い麻酔について理解していただくとともに、安全な麻酔管理を行うため、様々な病態についても患者さんから再度お聞きしています。</li> <li>◎様々な最新のモニター（心電図、血圧、パルスオキシメータ、カプノメータや bispectral index の他に、経食道心エコー、近赤外線分光法、運動誘発電位や感覚誘発電位等）を駆使して、安全な麻酔管理を行います。</li> <li>◎手術後の痛みは、患者さんが苦しいだけでなく、手術からの回復が遅れたり手術後の合併症が増えるといわれています。硬膜外鎮痛・各種神経ブロック・静脈内鎮痛薬持続投与など様々な手法を用いて、手術中のみならず手術後の痛みを軽減するようにしていますのでご安心下さい。</li> </ul>
集中治療部	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎大手術（開心術や食道手術等）後の管理や重症患者の手術後の管理。各病棟など院内発症の重症患者の管理。</li> <li>◎ICUは、厚生労働省が規定する特定集中治療室管理料1の施設基準を満たしています。ここでは、ICU専門医の資格を有する麻酔科医が中心となり、主治医、各科専門の医師、看護師、臨床工学士、薬剤師や作業療法士等が協力して、病院の最高の知識と最高の技術を提供し、24時間体制で重症患者の治療に当たっています。</li> </ul>
疼痛制御センター	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎難治性疼痛全般の治療</li> <li>◎疼痛制御センター（ペインクリニック）部門では、各種神経ブロック療法に加え、脊髄電気刺激療法などの高度な技術と知識を駆使して、難治性疼痛全般（帯状疱疹後神経痛などの神経障害性痛、頭痛、三叉神経痛、がん性痛など）の治療を行っています。</li> <li>また、運動器疼痛（腰椎、頸椎疾患など）に関しては手術と薬物治療の中間的治療により、日常生活動作の改善に尽力しています。</li> </ul>



## 担当医師

1 役職/職位 2 出身大学 3 専門分野 4 専門医資格



## 大田 典之

1 教授 2 大阪大学  
3 手術麻酔管理、集中治療医学  
4 麻酔科専門医

ICU 部



## 湯浅 晴之

1 准教授 2 近畿大学  
3 手術麻酔管理  
4 麻酔科専門医

## 冬田 昌樹

1 講師 2 近畿大学  
3 手術麻酔管理、集中治療医学、ペインクリニック  
4 麻酔科専門医・ペインクリニック専門医

感染症内科



## 岩元 辰篤

1 講師/医局長/病棟医長/外来医長 2 近畿大学  
3 手術麻酔管理、集中治療医学、ペインクリニック  
4 麻酔科専門医・ペインクリニック専門医

## 北浦 淳寛

1 医学部講師 2 近畿大学  
3 手術麻酔管理、集中治療医学  
4 麻酔科専門医

## 松島 麻由佳

1 医学部講師 2 近畿大学  
3 手術麻酔管理、ペインクリニック  
4 麻酔科専門医・ペインクリニック専門医

中央手術部



## 辻本 宜敏

1 医学部講師 2 信州大学  
3 手術麻酔管理、ペインクリニック  
4 麻酔科専門医

## 法里 慧

1 医学部講師 2 近畿大学  
3 手術麻酔管理  
4 麻酔科専門医

医師名	役職/職位	出身大学	専門分野	専門医資格
秋山 浩一	講師	京都府立医科大学	手術麻酔管理	麻酔科専門医
中山 力恒	講師	京都府立医科大学	手術麻酔管理	麻酔科専門医
木村 誠志	医学部講師	近畿大学	手術麻酔管理	麻酔科専門医
松本 知之	助教	近畿大学	手術麻酔管理、ペインクリニック	麻酔科専門医・ペインクリニック専門医
湯浅 あかね	助教	徳島大学	手術麻酔管理、ペインクリニック	
岡本 健	助教	神戸大学	手術麻酔管理、集中治療医学	—
高岡 敦	助教	近畿大学	手術麻酔管理	麻酔科専門医
古藤 大和	助教	近畿大学	手術麻酔管理	麻酔科専門医
坂本 悠篤	助教	関西医科大学	手術麻酔管理、集中治療医学	麻酔科専門医
眞鍋 理紗	助教	徳島大学	手術麻酔管理	—
吉野 由佳梨	助教	近畿大学	手術麻酔管理、ペインクリニック	—
平田 かの子	助教	大阪歯科大学	手術麻酔管理	—

## 診療実績 (2023年度)

手術麻酔管理	6,255 例
小児の麻酔	106 例
心血管外科の麻酔	605 例
脳神経外科の麻酔	139 例
帝王切開の麻酔	77 例
胸部外科の麻酔	379 例
ペインクリニック患者数	7,286 人
新規患者	256 人
集中治療室延べ患者数	3,142 人

## TOPICS

## 多様式鎮痛法 (multimodal analgesia) による手術後の痛みの軽減

手術後の痛みは、患者さんにとって苦痛であるとともに、様々な合併症を引き起こしたり免疫能を低下させるため、手術からの回復を遅らせる原因ともなります。多様式鎮痛法とは、メカニズムの異なる様々な鎮痛 (痛みの軽減) 法を駆使してより効果的な鎮痛を得るだけでなく、個々の鎮痛法の副作用も減らすことができます。その中には、様々な薬物による鎮痛、硬膜外麻酔による鎮痛、末梢神経ブロックによる鎮痛等が含まれ、手術後に傷が直るまでほとんど痛みを感じることもなく過ごすこともできます。また患者さんに合った鎮痛法を選択することもできますので、手術の前に行なう麻酔科の術前外来で御相談いただけたらと思っています。



責任者 **榎本 明史 教授**

出身大学 大阪大学

専門分野 口腔腫瘍、顎関節疾患、口腔インプラント、口腔感染症、  
口腔顎顔面外傷、口腔粘膜疾患など

専門医資格 口腔外科専門医

## 特殊〔専門〕疾患

口腔外科疾患ならびに一般歯科医院では対応困難な疾患を中心に診療を行っています。

- 親知らずなどの埋伏歯
- 口腔腫瘍
- 口腔顎顔面外傷
- 顎変形症
- 顎関節疾患
- 口腔感染症
- インプラント(人工歯根)
- 睡眠時無呼吸症
- 口腔粘膜疾患

## 診療内容

疾患名	治療方針
顎関節疾患	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎開口障害、顎関節脱臼、顎関節痛、顎関節雑音などに対し、多数例の経験に基づいた合理的な治療</li> <li>◎顎関節疾患については大阪府下でも有数の治療数を誇り、通常のスプリント療法や薬物療法にとどまらず、顎関節洗浄・顎関節鏡・顎関節手術を取り入れた治療も可能である。</li> </ul>
インプラント(人工歯根)	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎失った歯の代わりに人工歯根を顎骨に植立し咀嚼能力を回復</li> <li>◎通常のインプラントのみならず、骨移植や仮骨延長法、上顎洞底挙上術などによる骨造成法を併用してインプラントを植立することが可能である。保険によるインプラントである広範囲顎骨支持型装置にも対応している。</li> </ul>
睡眠時無呼吸症の歯科的治療	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎日本人に適した簡便な治療法である口腔内スプリントを用いた睡眠時無呼吸症の治療。</li> <li>◎睡眠時無呼吸症に対する治療法としての口腔内スプリントは、全国でも経験豊富な施設はまだ数少ない。当科では内科との連携によるデータに基づき多数例の合理的な治療がなされている。</li> </ul>
口腔感染症	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎菌性感染による、急性の重症な膿瘍や蜂窩織炎、顎骨骨髓炎に対しては早期のドレナージと抗菌薬の投与を行う。</li> <li>◎最近増加している骨吸収抑制剤関連顎骨壊死の難治例には顎骨切除を含めた積極的な治療を行っている。</li> </ul>
口腔顎顔面外傷	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎顎骨骨折に対しては、咬合の回復に力点を置き、ミニプレートなどを用いて顎間固定期間をなるべく短縮した治療を行っている。</li> <li>◎顔面皮膚切開による瘢痕形成、顔面神経損傷のリスクを避けるため、口内法で行うことを基本としている。下顎関節突起骨折も内視鏡支援下による口内法整復固定術を行っている。</li> </ul>
口腔腫瘍	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎口腔機能の温存に留意した治療を行っている。</li> <li>◎顎骨腫瘍に対しては切除～咬合機能回復(顎補綴、インプラント)まで一貫治療を行っている。</li> </ul>
顎変形症	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎院内もしくは院外の矯正歯科専門医と連携し、治療を行っている。</li> <li>◎顔貌の整容性のみならず、歯科の専門性を最大限に生かし、良好な顎関節運動と咬合関係の構築を行っている。</li> </ul>

## 担当医師

1 役職/職位 2 出身大学 3 専門分野 4 専門医資格



## 岩崎 早苗

1 医学部講師/医局長 2 大阪大学  
3 口腔顎顔面外傷、顎関節疾患、口腔感染症  
4 口腔外科専門医

## 李 篤史

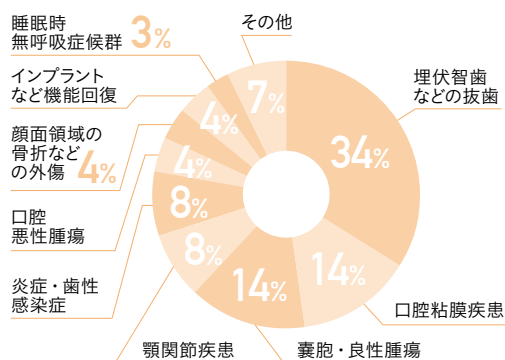
1 医学部講師/病棟医長 2 東北大学  
3 口腔腫瘍、口腔顎顔面外傷、顎変形症  
4 口腔外科専門医

## 下出 孟史

1 医学部講師/外来医長 2 広島大学  
3 口腔感染症、口腔インプラント、睡眠時無呼吸症、  
顎関節疾患、口腔腫瘍、口腔顎顔面外傷、口腔粘膜疾患  
4 口腔外科専門医

医師名	役職/職位	出身大学	専門分野	専門医資格
木下 優子	助教	大阪大学	口腔外科一般、口腔感染症、 睡眠時無呼吸症、顎関節疾患、口腔腫瘍、 口腔顎顔面外傷、口腔粘膜疾患	—
高田 雄斗	助教	朝日大学	口腔外科一般、口腔感染症、 睡眠時無呼吸症、顎関節疾患、口腔腫瘍、 口腔顎顔面外傷、口腔粘膜疾患	—

## 疾患別診療実績 (患者数割合)



## TOPICS 1

口腔外科疾患における  
日帰り手術

当科では2016年より口腔外科疾患に対しての日帰り手術を実施しています。主に低位埋伏智歯抜歯や顎骨嚢胞・腫瘍の摘出術、口腔インプラント埋入手術などを麻酔科医による鎮静のもと行っております。手術中の患者さんのストレス軽減には非常に有効で、手術当日の午前中に入院し、午後手術を行い、鎮静から回復すればすぐに帰宅することが可能となります。

## TOPICS 2 口腔インプラント治療

喪失した歯牙の代わりに人工歯根を顎骨に埋入し、咀嚼機能を回復・獲得する口腔インプラント治療を行っています。一般的な歯科インプラント治療だけでなく、口腔領域の外傷・腫瘍・先天異常により広範囲での歯牙・顎骨欠損が生じた症例に対して実施する口腔インプラント治療も行っております。口腔腫瘍治療のための外科手術実施のみにとどまらず、その後の口腔のQOLの回復を含めて骨移植を含めた包括的な治療を行っています。

## TOPICS 3

周術期・がん治療などにおける  
口腔機能管理

口腔衛生不良で口腔内細菌が増殖すると、肺炎や創部感染などの術後合併症が起こりやすくなることが知られています。当科では、肺や食道などのがんや人工関節の手術を受ける患者さんには、合併症を減らす目的で、治療の一環として口腔ケアを行っています。また、化学療法や放射線療法といったがん治療の副作用の中に口腔粘膜炎がありますが、口腔ケアを行うことで症状を軽減できます。手術やがん治療が順調に進み、苦痛が少なく治療を受けていただけるような口腔機能管理を行っています。

## TOPICS 4 口腔がん治療

がん拠点病院の歯科口腔外科として口腔がん治療に携わっています。診断から治療開始まで迅速に行える体制を整えています。耳鼻咽喉・頭頸部外科、放射線治療科、腫瘍内科、形成外科などの関係診療科と連携し、集学的治療を

行っています。単にがんを根治することにとどまらず、治療に伴う口腔機能障害に対し、口腔疾患のスペシャリストとしてリハビリテーションも積極的に行っています。



責任者/所長 武田 卓 教授

出身大学 大阪大学

専門分野 漢方全般、女性医学、腫瘍

専門医資格 漢方専門医・産婦人科専門医・内分泌代謝科専門医・  
婦人科腫瘍専門医

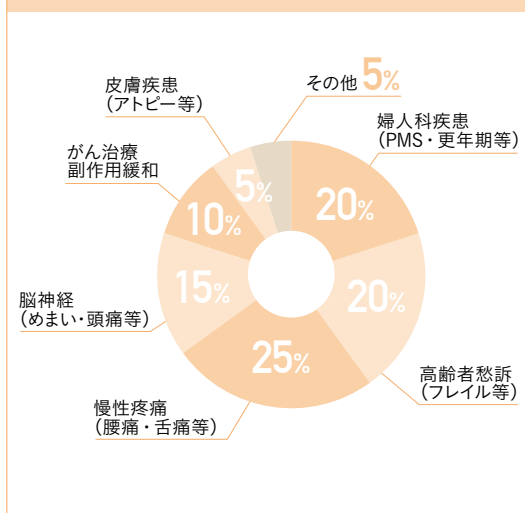
## 特殊〔専門〕疾患

漢方薬と鍼灸を用いた東洋医学的診療を幅広く行っている。外科的治療が優先されるような疾患(悪性腫瘍等)においても、治療(手術、抗がん剤、放射線治療)にともなう症状緩和が可能である。特に、女性疾患(更年期障害、月経前症候群、月経困難症等)、皮膚疾患(アトピー性皮膚炎等)、冷え症については専門外来として、西洋医学的専門性をもった治療を行っている。

## 診療内容

疾患名	治療方針
漢方全般	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎通常の西洋医学的診療とは異なる、患者さんの個々の細かな特性に基づいた東洋医学的な診断・治療。</li> <li>◎東洋医学研究所附属診療所では「自由診療」、近畿大学病院漢方診療科では通常の「保険診療」を実施。</li> <li>◎「自由診療」においては、保険診療の枠にとられないため、エキス剤においても保険病名に関係なしに有効な製剤が使用可能。煎じ薬(患者さんの状態に合わせた生薬のオーダーメイド処方)においては高品質なものが使用可能。</li> <li>◎独自の高品質の生薬を使用した煎じ薬の院内処方。</li> </ul>
女性漢方	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎月経困難症、更年期障害、月経前症候群(PMS)、不妊症、子宮筋腫、子宮内膜症などに対して独自の高品質な生薬で治療</li> </ul>
冷え性	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎冷え症外来では、保険診療では行わないような問診票等によるきめ細かい検査を実施。症状改善において必要であれば西洋薬との併用治療を行い、西洋医学・東洋医学の専門性をもった両者の利点を生かした診療を行う。</li> </ul>
鍼灸	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎漢方治療と鍼灸治療の併用</li> <li>◎医師の指示のもと鍼灸師がおこないます。</li> </ul>

疾患別診療実績(患者数割合)



## TOPICS フレイルに対する東洋医学の応用

「フレイル」をご存じでしょうか？ 超高齢化社会が進む中で、高齢者の虚弱が目まぐるしく注目されています。当科でも、なんとなく食欲がでないとか、歩く速度が遅くなったといった訴えで、受診される高齢者のかたが最近増えています。「フレイル」とは、「年齢に伴う筋力や心身の活力が低下した状態」をいいます。単なる筋力低下だけでなく、意欲がなくなるなどの精神面での機能低下も含んだ高齢者が陥りやすい心身の虚弱を広く表した概念です。さらに、新型コロナウイルス感染症による外出控えが、運動量の低下からの悪影響を及ぼしています。西洋医学では、確立された治療法はありません。当科では、単なる東洋医学的な診断だけではなく、体組成計による四肢筋肉量測定や筋力測定等も実施しています。治療には、食欲や意欲を出す漢方薬を処方することが多いですが、漢方薬は様々な生薬が複合されており、「フレイル」の様々な症状に対しても1種類の漢方薬で効果を発揮することが期待できます。また、痛みがある場合には、鍼灸治療を併用することによる活動性向上も期待します。当科では、このように世界標準的な最新の診断に東洋医学を組み合わせた多面的な診断治療を実施しています。





**責任者** 東本 有司 臨床教授  
**出身大学** 和歌山県立医科大学  
**専門分野** リハビリテーション、呼吸器疾患  
**専門医資格** リハビリテーション科専門医・総合内科専門医・呼吸器専門医・老年病専門医

- 1 循環器内科
- 2 内分泌・代謝・糖尿病内科
- 3 消化器内科
- 4 血液・膠原病内科
- 5 腎臓内科
- 6 脳神経内科
- 7 腫瘍内科
- 8 呼吸器・アレルギー内科
- 9 メンタルヘルス科
- 10 小児科・思春期科
- 11 外科
- 12 脳神経外科
- 13 心臓血管外科
- 14 整形外科
- 15 皮膚科
- 16 形成外科
- 17 泌尿器科
- 18 眼科
- 19 耳鼻咽喉・頭頸部外科
- 20 産婦人科
- 21 放射線診断科
- 22 放射線治療科
- 23 麻酔科
- 24 歯科口腔外科
- 25 漢方診療科
- 26 リハビリテーション科
- 27 救急災害センター
- 28 その他センター

## 特殊〔専門〕疾患

急性期疾患を主な対象として、

- 心大血管疾患
- 脳血管疾患
- 運動器疾患
- 呼吸器疾患

に対してリハビリテーションを実施している。

## 診療内容

疾患名	治療方針
急性期疾患に対するリハビリテーション	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎脳卒中の早期機能訓練、心大血管術後の早期離床、骨折後の機能訓練、スポーツ外傷に対するリハビリテーション、神経筋疾患、末梢神経障害、小児神経疾患などが中心である。</li> <li>◎慢性呼吸不全や急性心筋梗塞後に対しては、早期に社会復帰ができるよう心肺機能や運動能力の回復も行っている。</li> <li>◎治療手段として、運動療法、装具療法、義肢作製、薬物療法など。</li> <li>◎特定機能病院の特殊性である各科先端医療との連携を行っている。</li> <li>◎NIRSを利用したニューロリハビリテーション。</li> <li>◎健康医学、予防医学、スポーツ医学の観点から、疾病の管理・進展防止、発症予防、さらに健康の維持・増進をはかる。</li> </ul>

## 担当医師

1 役職/職位 2 出身大学 3 専門分野 4 専門医資格



**花田 一志**  
 1 講師 2 近畿大学  
 3 リハビリテーション、メンタルヘルス  
 4 精神科専門医・老年病専門医

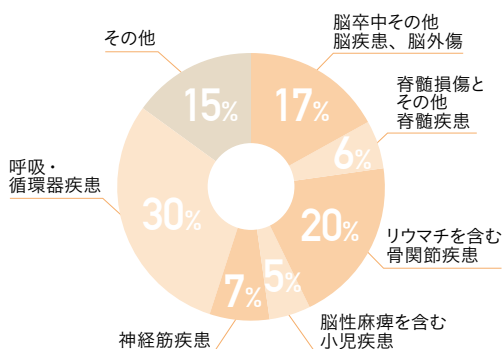


**糸数 万紀**  
 1 医学部講師 2 近畿大学  
 3 リハビリテーション、運動器疾患  
 4 リハビリテーション科専門医・整形外科専門医



**稲田 莉乃**  
 1 医学部講師 2 近畿大学  
 3 リハビリテーション、脳神経疾患  
 4 神経内科専門医・総合内科専門医

## 疾患別診療実績 (患者数割合)



## TOPICS HAL による歩行訓練

当院では、ロボットスーツ HAL® (Hybrid Assistive Limb® 医療用下肢タイプ) を活用したリハビリテーションを実施しています。HALは、脳から筋肉へ発令された動こうとする意志を、皮膚に貼ったセンサーで感知し、動作をアシストする歩行訓練装置です。普段より大きな力をだすことが可能となり、起立動作・歩行の改善が期待できます。保険適応が認められている神経難病の中の8疾患(脊髄性筋萎縮症(SMA)、球脊髄性筋萎縮症(SBMA)、筋萎縮性側索硬化症(ALS)、シャルコー・マリー・トゥース病(CMT)、遠位型ミオパチー、封入体筋炎(IBM)、先天性ミオパチー、筋ジストロフィー)に対して神経内科と連携して診療にあたっております。





# KINDAI UNIVERSITY HOSPITAL

## 各種センターのご案内

27 救急災害センター	78
救命救急センター／熱傷センター	78
心臓血管センター	80
脳卒中センター	81
28 その他センター	82
中央手術部(中央手術センター・低侵襲外科センター)	82
光学治療センター	82
PET分子イメージング部(高度先端総合医療センター)	82
早期認知症センター	83
てんかんセンター	83
アレルギーセンター	83
睡眠センター	84
人工関節センター	84
運動器外傷センター	84
リウマチセンター	85
スキンサージェリーセンター	85
周産期母子医療センター(NICU・分娩部)	85
がんセンター	86
ゲノム医療センター	86
遺伝子診療部	86

1 循環器内科
2 内分泌・代謝・ 糖尿病内科
3 消化器内科
4 血液・膠原病内科
5 腎臓内科
6 脳神経内科
7 腫瘍内科
8 呼吸器・ アレルギー内科
9 メンタルヘルス科
10 小児科・ 思春期科
11 外科
12 脳神経外科
13 心臓血管外科
14 整形外科
15 皮膚科
16 形成外科
17 泌尿器科
18 眼科
19 耳鼻咽喉・ 頭頸部外科
20 産婦人科
21 放射線診断科
22 放射線治療科
23 麻酔科
24 歯科口腔外科
25 漢方診療科
26 リハビリテーション科
27 救急災害センター
28 その他センター

## 救急災害センター

センター長 中澤 学 主任教授  
 出身大学 東邦大学  
 専門分野 心血管カテーテル治療、虚血性心疾患、心臓弁膜症、心房中隔欠損症、血管病理学  
 専門医資格 総合内科専門医・循環器専門医



## ●救命救急センター／熱傷センター

救急救命センター長 篠崎 広一郎 主任教授  
 出身大学 千葉大学  
 専門分野 救急 (ER)、集中治療  
 専門医資格 救急科専門医



### 特殊〔専門〕疾患

救命救急センター

#### 3次救急疾患全般

- 重度外傷
- 特殊救急疾病
- 脳血管障害
- 急性肝不全
- 重症急性膵炎
- 急性中毒
- 広範囲熱傷
- 四指切断
- 急性大動脈疾患等
- 重症敗血症 など

● 緊急の治療を要する急性疾患

熱傷センター

- 広範囲熱傷 (全身熱傷)
- 化学熱傷
- 複合熱傷

### 診療内容

疾患名	治療方針
救命救急センター 3次救急疾患全般	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎ 敗血症性ショック・多臓器不全に対する集中治療</li> <li>◎ 重度多発外傷に対する集中治療</li> <li>◎ 腹部実臓器損傷や骨盤骨折に対する IVRを含めた高度医療</li> <li>◎ 重度熱傷に対する戦略的治療</li> <li>◎ 重症急性膵炎に対する複数科連携による集中治療</li> <li>◎ 消化管出血に対する緊急消化管内視鏡検査と治療</li> <li>◎ 急性冠不全に対する治療</li> <li>◎ 院外心肺停止に対する高度医療</li> <li>◎ 脳卒中に対するインターベンションを含めた治療</li> <li>◎ 急性大動脈疾患に対する緊急医療</li> <li>◎ 切断指の再接着治療</li> </ul> <p>上記の様な重症疾病に対し、各診療科と協力しながら救急受入れならびに治療を行います。</p>
救命救急センター 救急外来 (ER)	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎ 原因疾患が明らかではない症状 (発熱や各種痛み) や急な治療を要する症状 (腹痛・意識障害) などに対して、初期診断と処置を行ない専門診療科へのスムーズな橋渡しを行う。</li> <li>◎ 特に心筋梗塞、脳卒中、消化管出血などの疾患を確実に専門治療につなげる。</li> <li>◎ プライマリ・ケア領域疾患については、初期診療を提供し、地域の医療機関の診療につなげる。</li> <li>◎ 急性期の状態にある患者さんの診断と初期治療に特化し、病院の窓口機能やセーフティネット機能、災害時におけるリザーバー機能をもつ。</li> <li>◎ 専門診療科や救命救急センターとの連携を軸に、コーディネート型の疾病救急を提供する。医学生や臨床研修医に診断推論やプライマリ・ケア教育を行い、他の医療専門職 (看護師・薬剤師・救急救命士など) にもチーム医療教育を提供し、次世代の優れた医療従事者の育成にも役割を果たす。</li> </ul>
熱傷センター 小児熱傷 会陰部熱傷 広範囲熱傷 気道熱傷 化学熱傷 高齢者熱傷	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎ 軽症熱傷から重症熱傷まで全ての「熱傷」患者を24時間365日診療します。</li> <li>◎ 他院からの処置困難な熱傷患者も受け入れます。</li> <li>◎ 軽症患者・小範囲熱傷はおもに ER・形成外科で対応し、重症・広範囲熱傷は救命救急センターで治療を行います。重症患者が軽快した後は形成外科にて晩期合併症 (熱傷潰瘍や拘縮) などの治療を行います。入院時より医師・看護師・ケースワーカー・作業療法士・言語療法士などの多職種にて患者さんの治療方針を組み立て、急性期から慢性期までの治療をチーム医療で行います。</li> </ul>

- ◎ 365日、24時間体制の3次救急施設
- ◎ 年間約1,000人の3次重症救急患者を治療している。外傷患者の割合は25%である。
- ◎ 院外心肺停止患者は年120例受け入れている。
- ◎ 救急外来(ER)と連携を密にして2次から3次までの救急患者に対応できるシステムをとっている。
- ◎ 災害拠点病院
- ◎ DMAT(災害時医療派遣チーム)を有する。
- ◎ 大阪府南河内地域メディカルコントロール体制の基幹センター

担当医師

1 役職/職位 2 出身大学 3 専門分野 4 専門医資格



重岡 宏典

- 1 教授 2 近畿大学
- 3 消化器外科、一般外科
- 4 外科専門医・消化器外科専門医



太田 育夫

- 1 准教授 2 近畿大学
- 3 救急全般、内科疾患
- 4 救急科専門医・胃腸科専門医



植嶋 利文

- 1 講師 2 近畿大学
- 3 救急全般、災害医療
- 4 救急科専門医・脳神経外科専門医



松島 知秀

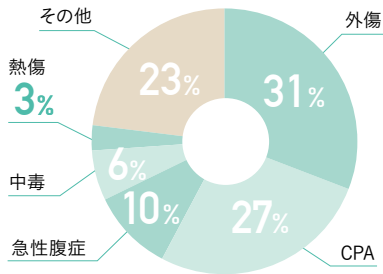
- 1 医学部講師 2 近畿大学
- 3 外傷、救急外科、熱傷
- 4 救急科専門医・熱傷専門医



石部 琢也

- 1 医学部講師 2 近畿大学
- 3 救急外科
- 4 救急科専門医

疾患別診療実績(患者数割合)



TOPICS 1

2020年に大阪府下初となる Rapid Car が配備されました。これは、乗用車タイプのドクターカーで機動性を生かすことにより、病院前からの積極的な救命医療を展開しはじめています。病院前診療から入院後の集中治療まで種々の重症救急に積極的に対応していきますので、気軽にご相談いただければ幸いです。

TOPICS 2

1982年に南大阪で初めての救命救急センターとして指定を受けて以来、今年で開所40年目に入りました。乳幼児から超高齢者まであらゆる年齢層の種々の重症疾患の患者さんに対して、大学病院である強みを生かすことにより各診療科と協力しながら急性期の初期治療から集中治療までの診療を担っています。また、近年発生が危惧されている南海トラフ巨大地震や巨大台風などの自然災害、そしてテロ活動などの人為災害に対する医療体制の構築にも積極的に取り組んでいます。

1 循環器内科

2 内分泌・代謝・糖尿病内科

3 消化器内科

4 血液・膠原病内科

5 腎臓内科

6 脳神経内科

7 腫瘍内科

8 呼吸器・アレルギー内科

9 メンタルヘルス科

10 小児科・思春期科

11 外科

12 脳神経外科

13 心臓血管外科

14 整形外科

15 皮膚科

16 形成外科

17 泌尿器科

18 眼科

19 耳鼻咽喉・頭頸部外科

20 産婦人科

21 放射線診断科

22 放射線治療科

23 麻酔科

24 歯科口腔外科

25 漢方診療科

26 リハビリテーション科

27 救急災害センター

28 その他センター

## 救急災害センター

センター長 中澤 学 主任教授

出身大学 東邦大学

専門分野 心血管カテーテル治療、虚血性心疾患、心臓弁膜症、心房中隔欠損症、血管病理学

専門医資格 総合内科専門医・循環器専門医



## ●心臓血管センター

センター長 栗田 隆志 教授

出身大学 福岡大学

専門分野 不整脈、カテーテルアブレーション、ペースメーカー、ICD、CRT

専門医資格 循環器専門医



### 特殊〔専門〕疾患

- 急性心筋梗塞
- 重症心不全
- 重症不整脈
- 劇症型心筋炎
- 動脈瘤切迫破裂
- 不安定狭心症
- 心原性ショック
- 急性肺血栓栓症
- 大動脈解離
- 重症弁膜症 など

### 診療内容

疾患名	治療方針
緊急性のある心臓疾患全般	<p>◎一刻も早い治療を要する急性冠症候群（急性心筋梗塞、不安定狭心症など）に対して、緊急冠動脈インターベンションを積極的に行っている。ほとんどの症例において Door to Balloon Time（患者さんが来院して冠動脈血流を再開させるまでの時間）90分以内を達成しており、今後も、十分な体勢を24時間整えていく。</p> <p>◎緊急搬送依頼に遅滞なく対応するため、CCU当直医がダイヤレクトコール（ハートコール）を24時間携帯し、あらゆる現場からの要請に応えている。</p> <p>◎重症心不全、心原性ショックに対して補助循環（IABP、PCPS、IMPELLAなど）を常に適応できる体勢を整えている。</p> <p>◎薬物抵抗性の重症心室不整脈に対する緊急カテーテルアブレーション</p> <p>◎循環器内科と心臓血管外科との連携を緊密に行い、急性冠症候群や大動脈解離に対する緊急手術を常に行える体勢を整えている</p> <p>◎緊急冠動脈インターベンション</p> <p>◎冠動脈狭窄のイメージング……血管内視鏡、IVUS、OCT</p> <p>◎補助循環……IABP、PCPS、LVAD、IMPELLA</p> <p>◎経カテーテル的大動脈弁植え込み術、経皮的僧帽弁クリップ術</p> <p>◎緊急心臓血管外科的治療</p> <p>◎心大血管緊急手術</p>

ハートコール：0120-145-810

### 担当医師

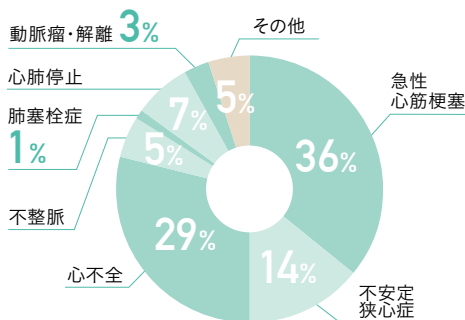
- 1 役職/職位 2 出身大学  
3 専門分野 4 専門医資格



小川 達也

- 1 准教授 2 鳥取大学  
3 虚血性心疾患、弁膜症  
4 循環器専門医・外科専門医

### 疾患別診療実績（患者数割合）



### TOPICS

“どんな患者さんも絶対に断らない”をポリシーに

CCU (cardiac care unit) は急性心筋梗塞や不安定狭心症などの重症冠動脈疾患だけでなく、重症心不全、重症不整脈、大動脈解離などの大動脈疾患、また心肺停止蘇生後など様々な疾患の患者さんに対して治療を行う循環器系集中治療部門です。当院では救急災害センターの4階にCCUは6床確保されており、循環器救急患者さんは絶対に断らないという理念のもと日々診療を行っております。

CCUは24時間365日体制で循環器内科、心臓血管外科医師が院内で待機しており、ハートコールといった医師直通のホットラインシステムを利用することで、一刻一秒を争う患者さんに速やかに対応が出来るようになっており、また心臓カテーテル検査室に於いても、心臓血管撮影装置2台が併設されていることで緊急治療を要するような急性心筋梗塞の患者さんの搬送が重なった場合にも、すぐに対応できる体制が整っております。

また、重症心不全、心肺停止蘇生後の患者さんなどに対する補助循環装置による高度で専門的な治療から高齢者に対するカテーテル治療を含めた低侵襲心血管治療まで最先端の治療を積極的に取り入れております。当センターでは循環器の専門医が中心となり、看護師、臨床工学技士、検査技師、放射線技師など多くの専門職がチームとなり治療にあたることで、患者さんに対してより高度で安全な医療を提供しております。



## ●脳卒中センター

センター長 大槻 俊輔 教授

出身大学 神戸大学

専門分野 脳卒中、神経救急

専門医資格 総合内科専門医・神経内科専門医・循環器専門医・老年病専門医



### 特殊〔専門〕疾患

●脳卒中

●一過性脳虚血発作

### 診療内容

疾患名	治療方針
緊急対応が必要な脳卒中	<p>◎脳卒中はSCU (Stroke Care Unit) を有する脳卒中センターに直接搬送されると、24時間365日迅速な画像診断と高度治療が専門医により施され、救命率のみならず神経機能回復を改善させます。</p> <p>◎救急隊・一次救急病院 ER・近隣病院院内発症からの発症直後の緊急搬送依頼に対して、専門医が脳卒中コール(専門医へのダイレクトホットライン)にて常に迅速応需しています。</p> <p>◎脳梗塞超急性期に対する経静脈的血栓溶解療法および機械的血栓除去術、そのハイブリッド治療が治療成績を劇的に改善させています。</p> <p>◎脳内出血およびくも膜下出血に対し、直達手術もしくは血管内治療を患者さんに合わせた最適治療が選択され、救命率・機能転帰向上を得ています。</p> <p>◎脳卒中地域連携パスによる急性期から回復期へのリハビリテーションやかかりつけ医へのシームレスな連携が行われ、高い在宅復帰率・復職率を得ています。かかりつけ医と再発予防治療の連携を推進しております。</p> <p>◎脳卒中コール 072-366-0920 (24時間365日専門医が即応、意識レベル、眼球共同偏倚、手足の麻痺、言語障害空間無視、血圧と脈拍不整のご確認をお願いします。脳卒中は時間が命です。専門医が受け入れの準備を開始します。)</p>

脳卒中コール：072-366-0920

#### 担当医師

1 役職/職位 2 出身大学 3 専門分野 4 専門医資格



佐藤 徹

1 准教授 2 京都大学  
3 脳血管障害、脳血管内治療  
4 脳神経外科専門医・脳血管内治療専門医



布川 知史

1 講師 2 近畿大学  
3 脳血管障害、脳血管内治療  
4 脳神経外科専門医・脳血管内治療専門医  
救急科専門医・リハビリテーション科専門医



辻 潔

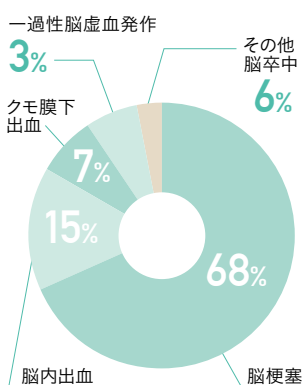
1 講師 2 近畿大学  
3 脳血管障害、脳血管内治療  
4 脳神経外科専門医・脳血管内治療専門医



田中 寛大

1 医学部講師 2 大阪公立大学  
3 脳血管障害、脳神経超音波検査、脳血管内治療  
4 神経内科専門医・脳血管内治療専門医

#### 疾患別診療実績 (患者総数 446)



#### TOPICS 1 改定脳卒中治療ガイドライン・脳卒中クリティカルパス

開設10年目のSCU (Stroke Care Unit) 診療において、質の洗練化のみならずハイボリューム化が順調に進み、先生方のご紹介増加と広域救急隊からの信頼の高まりに賜るものとこの場を借りて御礼申し上げます。2023年度は急性期脳卒中受け入れ年間450例と前年比10%増加しました。経静脈的血栓溶解療法は28件、機械的血栓回収術33件と地域からの依頼に応需を丁寧に重ねました。昨年度より新しく改定された南河内圏域脳卒中クリティカルパスと脳卒中治療ガイドライン改定2023を軸に、一例一例の患者さんへのオーダーメイド治療を脳卒中専門内科医と外科医が対応、多職種かつ多施設連携により、最新かつ最先端レベルで地域の皆様の健康をがっちり守ります。

#### TOPICS 2 一次脳卒中センターコア プラス脳卒中相談窓口

2019年度より近畿大学病院脳卒中センターが日本脳卒中学会から一次脳卒中センター認定、2020年度より一次脳卒中センターコアの指定を受けました。脳卒中急性期に対する科学的根拠に基づく診断と高度な治療を迅速に行なう診療システムの医療資源とその治療成績が高く評価され、近隣一次脳卒中センターから緊急脳血管外科治療が必要と判断された症例を応需する南河内・堺泉北圏域の中心施設"コア"と指定されています。また、学会認定脳卒中療養相談士を養成し、多職種構成員による脳卒中相談窓口を2022年度より開設しております。自宅退院される患者や家族に対する在宅支援や復職・就学支援を、脳卒中回復期や生活期の医療機関の支援センターに繋ぐ情報提供を行っており、脳卒中後生涯にわたるシームレスなアフターケアを提供して参ります。

## 中央手術部（中央手術センター・低侵襲外科センター）

中央手術部長 **川村 純一郎** 主任教授  
 出身大学 京都大学  
 専門分野 下部消化管・内視鏡外科  
 専門医資格 外科専門医、消化器外科専門医



低侵襲外科センター長 **吉村 一宏** 教授  
 出身大学 和歌山県立医科大学  
 専門分野 尿路結石・内視鏡手術  
 専門医資格 泌尿器科専門医



## 光学治療センター

センター長 **工藤 正俊** 主任教授  
 出身大学 京都大学  
 専門分野 肝疾患、特に B 型肝炎、C 型慢性肝炎、肝硬変、  
 肝細胞がんの診断と治療、門脈圧亢進症、消化器疾患全般  
 消化器病専門医・肝臓専門医  
 専門医資格 超音波専門医・消化器内視鏡専門医  
 核医学専門医



## PET 分子イメージング部(高度先端総合医療センター)

高度先端総合  
 医療センター長 **東田 有智** 病院長  
 出身大学 近畿大学  
 専門分野 呼吸器内科、アレルギー内科  
 専門医資格 呼吸器専門医・アレルギー専門医  
 気管支鏡専門医・気管食道科専門医



PET 分子  
 イメージング部長 **石井 一成** 主任教授  
 出身大学 神戸大学  
 専門分野 放射線診断学、核医学  
 専門医資格 放射線科専門医・核医学専門医



# 早期認知症センター

センター長 **橋本 衛** 主任教授  
 出身大学 大阪大学  
 専門分野 精神医学全般、老年精神医学（認知症を  
 含む）、高次脳機能障害学  
 専門医資格 精神科専門医・認知症専門医



# てんかんセンター

センター長代行 **中野 直樹** 准教授  
 出身大学 近畿大学  
 専門分野 てんかん外科治療、ジストニア、パーキンソン、  
 不随意運動、脳深部電気刺激療法、機能的  
 脳外科治療  
 専門医資格 脳神経外科専門医・てんかん専門医・  
 リハビリテーション専門医



# アレルギーセンター

センター長 **東田 有智** 病院長  
 出身大学 近畿大学  
 専門分野 呼吸器内科、アレルギー内科  
 専門医資格 呼吸器専門医・アレルギー専門医  
 気管支鏡専門医・気管食道科専門医



## 睡眠センター

センター長代行 東田 有智 病院長  
 出身大学 近畿大学  
 専門分野 呼吸器内科、アレルギー内科  
 専門医資格 呼吸器専門医・アレルギー専門医  
 気管支鏡専門医・気管食道科専門医



## 人工関節センター

センター長 後藤 公志 主任教授  
 出身大学 京都大学  
 専門分野 整形外科、股関節外科  
 専門医資格 整形外科専門医



## 運動器外傷センター

センター長 大谷 和裕 教授  
 出身大学 近畿大学  
 専門分野 上肢外科、外傷外科  
 専門医資格 整形外科専門医・リウマチ専門医



## リウマチセンター

センター長代行 野崎 祐史 准教授  
 出身大学 近畿大学  
 専門分野 リウマチ・膠原病一般、腎臓病一般  
 専門医資格 リウマチ専門医・腎臓専門医・アレルギー専門医



## スキンサージェリーセンター

センター長代行 大塚 篤司 主任教授  
 出身大学 信州大学  
 専門分野 アトピー性皮膚炎の治療、悪性黒色腫の治療  
 乾癬の治療  
 専門医資格 アレルギー専門医・皮膚科専門医



## 周産期母子医療センター(NICU・分娩部)

NICU部 和田 紀久 教授  
 出身大学 愛知医科大学  
 専門分野 新生児疾患  
 小児科専門医  
 専門医資格 周産期(新生児)専門医



分娩部 松村 謙臣 主任教授  
 出身大学 京都大学  
 専門分野 腫瘍・内視鏡手術・周産期  
 産婦人科専門医  
 専門医資格 婦人科腫瘍専門医





## がんセンター

センター長 中川 和彦 特任教授  
 出身大学 熊本大学  
 専門分野 肺がんの早期診断、肺がんの治療  
 固形がんの薬物療法  
 新規抗がん剤の臨床試験  
 がんの分子標的治療  
 縦隔腫瘍の診断と治療



## ゲノム医療センター

センター長 中川 和彦 特任教授  
 出身大学 熊本大学  
 専門分野 肺がんの早期診断、肺がんの治療  
 固形がんの薬物療法  
 新規抗がん剤の臨床試験  
 がんの分子標的治療  
 縦隔腫瘍の診断と治療



## 放射線医学（放射線診断学部門）

センター長 石井 一成 主任教授  
 出身大学 神戸大学  
 専門分野 放射線診断学、核医学  
 専門医資格 放射線診断専門医・核医学専門医



## 遺伝子診療部

診療部長 松村 謙臣 主任教授  
 出身大学 京都大学  
 専門分野 腫瘍・内視鏡手術・周産期  
 専門医資格 産婦人科専門医・  
 婦人科腫瘍専門医



# 掲載専門医資格について

本冊子に掲載されている専門医資格は、医療に関する情報公開を進め、患者さんの選択を拡大する観点から医師等の専門性に関して告示で定める基準を満たし、厚生労働省への届出が受理された以下の学会が認定する資格を掲載しています。

## 医師の専門性資格

【団体名】	【資格名】	【団体名】	【資格名】
(公社) 日本整形外科学会	整形外科専門医	(NPO) 日本胸部外科学会	心臓血管外科専門医
(公社) 日本皮膚科学会	皮膚科専門医	(NPO) 日本血管外科学会	心臓血管外科専門医
(公社) 日本麻酔科学会	麻酔科専門医	(NPO) 日本心臓血管外科学会	心臓血管外科専門医
(公社) 日本医学放射線学会	放射線科専門医	(NPO) 日本胸部外科学会	呼吸器外科専門医
(公社) 日本眼科学会	眼科専門医	(NPO) 日本呼吸器外科学会	呼吸器外科専門医
(公社) 日本産科婦人科学会	産婦人科専門医	(一社) 日本消化器内視鏡学会	消化器内視鏡専門医
(一社) 日本耳鼻咽喉科学会	耳鼻咽喉科専門医	(NPO) 日本小児外科学会	小児外科専門医
(一社) 日本泌尿器科学会	泌尿器科専門医	(一社) 日本神経学会	神経内科専門医
(一社) 日本形成外科学会	形成外科専門医	(一社) 日本リウマチ学会	リウマチ専門医
(一社) 日本病理学会	病理専門医	(一社) 日本乳癌学会	乳腺専門医
(一社) 日本内科学会	総合内科専門医	(一社) 日本人類遺伝学会	臨床遺伝専門医
(一社) 日本外科学会	外科専門医	(一社) 日本東洋医学会	漢方専門医
(一社) 日本糖尿病学会	糖尿病専門医	(NPO) 日本レーザー医学会	レーザー専門医
(一社) 日本肝臓学会	肝臓専門医	(NPO) 日本呼吸器内視鏡学会	気管支鏡専門医
(一社) 日本感染症学会	感染症専門医	(一社) 日本アレルギー学会	アレルギー専門医
(一社) 日本救急医学会	救急科専門医	(一社) 日本核医学会	核医学専門医
(一社) 日本血液学会	血液専門医	(NPO) 日本気管食道科学会	気管食道科専門医
(一社) 日本循環器学会	循環器専門医	(一社) 日本大腸肛門病学会	大腸肛門病専門医
(一社) 日本呼吸器学会	呼吸器専門医	(公社) 日本婦人科腫瘍学会	婦人科腫瘍専門医
(一財) 日本消化器病学会	消化器病専門医	(一社) 日本ペインクリニック学会	ペインクリニック専門医
(一社) 日本腎臓学会	腎臓専門医	(一社) 日本熱傷学会	熱傷専門医
(公社) 日本小児科学会	小児科専門医	(NPO) 日本脳神経血管内治療学会	脳血管内治療専門医
(一社) 日本内分泌学会	内分泌代謝科専門医	(公社) 日本臨床腫瘍学会	がん薬物療法専門医
(一社) 日本消化器外科学会	消化器外科専門医	(一社) 日本周産期・新生児医学会	周産期(新生児)専門医
(公社) 日本超音波医学会	超音波専門医	(一社) 日本生殖医学会	生殖医療専門医
(公社) 日本臨床細胞学会	細胞診専門医	(一社) 日本小児神経学会	小児神経専門医
(一社) 日本透析医学会	透析専門医	(NPO) 日本心療内科学会	心療内科専門医
(一社) 日本脳神経外科学会	脳神経外科専門医	(一社) 日本総合病院精神医学会	一般病院連携精神医学専門医
(公社) 日本リハビリテーション医学会	リハビリテーション科専門医	(公社) 日本精神神経学会	精神科専門医
(一社) 日本老年医学会	老年病専門医		

## 歯科医師の専門性資格

【団体名】	【資格名】	【団体名】	【資格名】
(公社) 日本口腔外科学会	口腔外科専門医	(公社) 日本小児歯科学会	小児歯科専門医
(NPO) 日本歯周病学会	歯周病専門医	(NPO) 日本歯科放射線学会	歯科放射線専門医
(一社) 日本歯科麻酔学会	歯科麻酔専門医		

# 関連病院紹介

近畿大学病院は、以下の関連機関と共により良い医療を目指し、今後も大学病院として先進医療機能の充実を計るとともに、地域の皆様に安心して受診いただける医療が提供出来る様に努力して参ります。

## 近畿大学奈良病院



### 理念

患者本位の開かれた病院として、安全で質の高い先進医療を提供します

### 基本方針

- ①大学病院として、医学医療の進歩に関与し、社会に貢献します
- ②教育病院として、人に愛され、信頼され、尊敬される医療人を育成します
- ③奈良県における基幹病院として地域医療に貢献します
- ④働きがいのある病院として、チーム医療と環境整備に努力します

### 病院の概要

高度急性期病院（平成 11 年 10 月開院）  
地域災害拠点病院（平成 16 年 3 月認可）  
地域がん診療連携拠点病院（平成 20 年 2 月認可）  
地域医療支援病院（令和 4 年 4 月認可）

病院長	村木 正人
所在地	〒630-0293 奈良県生駒市乙田町 1248 番地 1
T E L	0743-77-0880
E-mail	infonara@med.kindai.ac.jp
H P	<a href="https://www.med.kindai.ac.jp/nara/">https://www.med.kindai.ac.jp/nara/</a>
診療科目	循環器内科／消化器内科／内分泌・代謝・糖尿病内科／血液内科 リウマチ・膠原病内科／腎臓内科／呼吸器・アレルギー内科／腫瘍内科／脳神経内科 消化器外科／乳腺・内分泌外科／呼吸器外科／脳神経外科／産婦人科／小児科／眼科 皮膚科／泌尿器科／耳鼻咽喉・頭頸部外科／形成外科・美容外科／メンタルヘルス科 歯科口腔外科／整形外科／放射線科（腫瘍部門・診断部門） 麻酔科／病理診断科／救命救急科／緩和ケア科／小児外科／心臓血管外科
病床数	518 床



# 緊急患者紹介方法について

地域連携課 **直通 TEL**

**072-366-0257** (受付時間 平日 9:00~17:00)

直ちに専門医療が必要な症例、病院事務から専門医に電話回送

救命救急センター

※ **072-366-0250** **24時間体制、年中無休**

重度外傷・重症疾病、中毒・熱傷、その他の高度な救急医療

緊急時要請出動ドクターカーシステム

**0120-145-810** (ハートコール/心臓血管センター)

**072-366-0221** 3138 (内線) (心臓血管外科)

医療機関からの要請により当院医師がドクターカーに同乗して患者さんをお迎えにあがります。

**主な対象** 心臓血管系・循環器疾患の重症患者さん

**体制** 心臓血管センター(循環器内科)・

心臓血管外科・脳神経外科

平日 9:00~17:00

土 9:00~12:45

※日・祝、12/29~1/3、11/5(創立記念日)は除く

脳卒中コール

※ **072-366-0920** **24時間体制、年中無休**

脳卒中(発症24時間以内の麻痺、言語や意識障害、急性頭痛を呈する軽症から重症の患者さん)、くも膜下出血、脳腫瘍、又はその疑い

TIAクリニック

**072-366-0221** (病院代表から「救急事務」へ)

2日以内の一過性の麻痺、言語障害、頭痛、視野障害、意識消失発作  
平日 13:00~16:00 事前連絡の上、当日受診

ハートコール

※ **0120-145-810** **24時間体制、年中無休**

狭心症、心筋梗塞、心不全、不整脈、大動脈解離、又はその疑いなどの重症循環器疾患

周産期コール

※ **072-366-0133** **24時間体制、年中無休**

産科救急(母体救急、胎児救急)、婦人科救急

救急災害センター FAX

救命救急センター/脳卒中コール/ TIA クリニック/ハートコール

**072-365-8307**

※病院・診察所・救急隊からの連絡用です。

地域医療連携について

地域連携課

**TEL**

紹介予約に関するお問い合わせ

**072-366-0241**

(受付時間 平日 9:00~20:00)

その他お問い合わせ

**072-366-0257**

(受付時間 平日 9:00~17:00)

**FAX**

**072-365-7161**



近畿大学病院

KINDAI UNIVERSITY HOSPITAL

特定機能病院

〒589-8511 大阪府大阪狭山市大野東377-2

TEL (072) 366-0221 (代表) FAX (072) 365-7161

<https://www.med.kindai.ac.jp>